



# 1日目 11月7日(日)

## 第1会場(1F ホール)

### 特別講演

9:15～11:45

座長：小柳 義夫(京都大学ウイルス研究所)  
俣野 哲朗(東京大学医科学研究所)

#### 1 Immune evasion and counteraction of restriction factors by HIV-1 and other primate lentiviruses

Frank Kirchhoff  
Institute of Molecular Virology, University Hospital Ulm, Germany

#### 2 Broadly neutralizing antibodies and vaccines to highly mutable viruses

Dennis R. Burton  
The Scripps Research Institute and International AIDS Vaccine Initiative Neutralizing Antibody Center, USA

### 杉浦奨励賞受賞講演

13:40～14:30

座長：柳 雄介(九州大学大学院医学研究院)

#### 1 ウイルスベクターの開発とウイルスの感染機構解析への応用

谷 英樹  
大阪大学微生物病研究所

#### 2 コロナウイルス細胞侵入機構の解明

松山 州徳  
国立感染症研究所ウイルス第三部

### 特別シンポジウム

14:45～17:00

#### インフルエンザ研究の国際連携

座長：永井 美之(理化学研究所感染症研究ネットワーク推進センター)  
押谷 仁(東北大学大学院医学系研究科)

#### SS-1 WHO 世界インフルエンザ監視ネットワーク(GISN)

田代 真人  
国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター

#### SS-2 鳥、ブタ、そしてパンデミックインフルエンザを克服するために

喜田 宏  
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター

#### SS-3 インドネシアにおける鳥・ヒトインフルエンザウイルスのサーベイランス

新矢 恭子  
神戸大学新興・再興感染症国際研究インドネシア拠点

#### SS-4 重症 H5N1 感染への包括的治療戦略・成功例—ベトナムにて

工藤 宏一郎  
国立国際医療研究センターベトナム研究拠点

総合討論—国内外連携のさらなる強化に向けて

## シンポジウム1

17:45～20:00

## インフルエンザ研究、その最先端

座長：河岡 義裕（東京大学医科学研究所）

- S1-1** インフルエンザウイルスの抗原変異予測とバイオインフォマティクス  
伊藤 公人  
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター
- S1-2** インフルエンザウイルス RNA ゲノム-タンパク質複合体の可視化による細胞質内輸送機構の解析  
百瀬 文隆  
北里大学大学院感染制御科学府
- S1-3** インフルエンザウイルスの宿主適応と病原性発現機序  
新矢 恭子  
神戸大学大学院医学研究科
- S1-4** 薬剤耐性インフルエンザとその臨床  
齋藤 玲子  
新潟大学大学院医歯学総合研究科

## 第2会場(4F 大会議室)

## 一般口演

9:15～10:30

## オルソミクソ(1)

座長：生田 和良（大阪大学微生物病研究所）  
堀本 泰介（東京大学医科学研究所）

- O1-2-01** 高病原性鳥インフルエンザウイルスはII型膜結合型セリンプロテアーゼのMSPL/TMPRSS13によってヘマグルチニンが切断され、膜融合が活性化される  
高橋 悦久<sup>1)</sup>、奥村 裕司<sup>1,2)</sup>、大内 正信<sup>3)</sup>、Klenk Hans-Dieter<sup>4)</sup>、中屋 隆明<sup>5)</sup>、大道寺 智<sup>5)</sup>  
1) 徳島大学 疾患酵素学研究センター 応用酵素・疾患代謝研究部門、  
2) 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 生体栄養学分野、3) 川崎医科大学 微生物学、  
4) フィリップス大学 ウイルス学研究所、5) 大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター
- O1-2-02** カモとニワトリにおけるインフルエンザウイルスに対するシアル酸レセプターの局在  
本島 昌幸<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、日尾野 隆大<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>1,2)</sup>  
1) 北海道大学 大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
- O1-2-03** A型インフルエンザウイルス遺伝子複製酵素の温度変化への適応  
柏木 孝仁、原 好勇、中園 陽子、濱田 信之、岩橋 潤、今村 宜寛、渡邊 浩  
久留米大学 医学部 感染医学講座 臨床感染医学部門
- O1-2-04** A型インフルエンザウイルス RNA ポリメラーゼサブユニットの亜型間での親和性解析 - PB2 (H5N1) の親和性決定部位について -  
中園 陽子、原 好勇、柏木 孝仁、今村 宜寛、濱田 信之、渡邊 浩  
久留米大学 医学部 感染医学講座 臨床感染医学部門
- O1-2-05** NP によるインフルエンザウイルスゲノム複製促進と子孫ウイルス RNP 複合体形成機構  
川口 敦史<sup>1,2,3)</sup>、永田 恭介<sup>1)</sup>  
1) 筑波大学 大学院 人間総合科学、2) 北里大学 大学院 感染制御科学府、3) 日本学術振興会

## 一般口演

10:30~11:45

## オルソミクソ(2)

座長：永田 恭介(筑波大学大学院人間総合科学研究所)  
百瀬 文隆(北里大学大学院感染制御科学府)

- 01-2-06 バキュロウイルス - タンパク質発現システムにより作製した H5 型 HA と sulfatide の結合性  
鈴木 隆<sup>1,2)</sup>、高橋 忠伸<sup>1)</sup>  
1) 静岡県立大学 薬学部 生化学分野、2) 静岡県立大学グローバル COE
- 01-2-07 インフルエンザウイルス感染による選択的スプライシングの誘導  
清水 一史<sup>1,2)</sup>、佐々木 裕<sup>2)</sup>、芝田 敏克<sup>2,3)</sup>、田中 寅彦<sup>4)</sup>、黒田 和道<sup>3)</sup>、坂口 末廣<sup>5)</sup>、片峰 茂<sup>6)</sup>、山本 樹生<sup>2)</sup>  
1) 日本大学医学部総合医学研究所、2) 日本大学医学部産婦人科学分野、3) 日本大学医学部微生物学分野、  
4) 日本大学医学部生化学分野、5) 徳島大学疾患酵素学研究所、6) 長崎大学
- 01-2-08 インフルエンザウイルス M1 タンパク質の核内構造物 ND10 への集積  
芝田 敏克<sup>1,2)</sup>、清水 一史<sup>3)</sup>、早川 智<sup>1)</sup>、山本 樹生<sup>2)</sup>、黒田 和道<sup>1)</sup>  
1) 日本大学 医学部 病態病理学系微生物学分野、2) 日本大学 医学部 産婦人科学系産婦人科学分野、  
3) 日本大学 医学部 総合医学研究所
- 01-2-09 インフルエンザウイルス vRNP 核外輸送における複合体形成機構の解析  
清水 哲平<sup>1)</sup>、渡辺 健<sup>1)</sup>、小林 信之<sup>1,2)</sup>  
1) 長崎大学 大学院 医歯薬学総合研究科、2) (株) AVSS 中央研究センター
- 01-2-10 インフルエンザウイルス HA の極性輸送機構の解析  
大倉 喬、百瀬 文隆、森川 裕子  
北里大学大学院 感染制御科学府

## 一般口演

14:45~16:00

## レンチウイルス(1)

座長：櫻木 淳一(大阪大学微生物病研究所)  
森川 裕子(北里大学大学院感染制御科学府)

- 01-2-11 HIV-1 Gag を標的とする低分子化合物 BMMP によるウイルスエントリー阻害機構  
浦野 恵美子<sup>1)</sup>、倉持 紀子<sup>2)</sup>、市川 玲子<sup>1)</sup>、宮内 浩典<sup>1)</sup>、供田 洋<sup>2)</sup>、武部 豊<sup>1)</sup>、駒野 淳<sup>1)</sup>、森川 裕子<sup>3)</sup>  
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) 北里大学 薬学部、3) 北里大学大学院 感染制御科学府
- 01-2-12 HIV カプシドタンパク質の Ser<sup>16</sup> のウイルス粒子内のリン酸化に関する研究  
堂地 越生<sup>1)</sup>、井上 陸美<sup>1)</sup>、高宗 暢暁<sup>2)</sup>、杉本 幸彦<sup>2)</sup>、庄司 省三<sup>2,3)</sup>、三隅 将吾<sup>2)</sup>  
1) 熊本大学大学院 薬学教育部 薬学生化学分野、2) 熊本大学大学院 生命科学部 薬学生化学分野、  
3) 熊本保健科学大学
- 01-2-13 SIV 感染におけるプロリリンイソメラーゼ Pin1 依存性脱殻機構の寄与  
井上 陸美<sup>1)</sup>、岸本 直樹<sup>1)</sup>、堂地 越生<sup>1)</sup>、高宗 暢暁<sup>2)</sup>、杉本 幸彦<sup>2)</sup>、庄司 省三<sup>2,3)</sup>、三隅 将吾<sup>2)</sup>  
1) 熊本大学大学院 薬学教育部 薬学生化学分野、2) 熊本大学大学院 生命科学部 薬学生化学分野、  
3) 熊本保健科学大学
- 01-2-14 ヒト細胞におけるサルエイズウイルス感染増殖能を規定するウイルス側領域の解析  
武内 寛明、俣野 哲朗  
東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター
- 01-2-15 SIV CA の N ドメインと C ドメインの機能的相互作用に関わるアミノ酸残基の同定  
稲垣 奈都子<sup>1)</sup>、武内 寛明<sup>1)</sup>、横山 勝<sup>2)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>、梁 明秀<sup>3)</sup>、俣野 哲朗<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 感染症国際センター、2) 国立感染症研究所ゲノム解析研究センター、  
3) 横浜市立大学医学部微生物学教室

## 一般口演

16:00～17:00

## レンチウイルス(2)

座長：武内 寛明(東京大学医科学研究所)

増田 貴夫(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

## 01-2-16 HIV-1由来新規 antisense RNA, ALe の同定と機能解析

小林 美栄<sup>1)</sup>、山岸 誠<sup>1)</sup>、原 拓馬<sup>1)</sup>、松田 有加<sup>1)</sup>、三宅 在子<sup>2)</sup>、中野 和民<sup>1)</sup>、石田 尚臣<sup>3)</sup>、  
渡邊 俊樹<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院 新領域創成科学科 メディカルゲノム専攻 病態医療科学分野、

2) 徳島大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野、3) 早稲田大学 先進理工学部 生命医科学科

## 01-2-17 ヒト CPSF6-375 は HIV-1 の逆転写産物生成を阻害する

堀 恭徳、大迫 美穂、山岡 昇司

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野

## 01-2-18 HIV-1 インテグラーゼ(IN)C 末端領域(CTD)における1塩基置換によるウイルス増殖促進機構の解析

三宅 在子、土肥 直哉、藤原 佐知、足立 昭夫、野間口 雅子

徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野

## 01-2-19 HIV cDNA のインテグラーゼ非依存性組込みとウイルス複製

蝦名 博貴、鈴木 康嗣、金村 優香、津村 斐子、小柳 義夫

京都大学 ウイルス研究所

## シンポジウム2

17:45～20:00

## HIV 研究の新しい展開

座長：塩田 達雄(大阪大学微生物病研究所)

増田 貴夫(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

## S2-1 HIV の生体内侵入メカニズム

川村 龍吉

山梨大学医学部

## S2-2 宿主防御因子 APOBEC3 ファミリーと抗レトロウイルス機序

岩谷 靖雅

名古屋医療センター臨床研究センター

## S2-3 HIV-1 ゲノム逆転写過程の新規制御機構

増田 貴夫

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

## S2-4 HIV プロウイルスからの正および負の転写制御機構について

岡本 尚

名古屋市立大学大学院医学研究科

## S2-5 ポストバディンクに何が起きているか?

櫻木 淳一

大阪大学微生物病研究所

## 第3会場(4F 会議室2・3・4)

## 一般口演

9:15~10:30

## ヘルペス(1)

座長：川口 寧(東京大学医科学研究所)  
小山 一(和歌山県立医科大学医学部)

- 01-3-01 HSV-1 gB の細胞表面発現制御機構の解明  
今井 孝彦、箕輪 敦子、垣本 彩、川口 寧  
東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 ウイルス学分野
- 01-3-02 単純ヘルペスウイルス1型(HSV-1)のアクセサリ遺伝子 UL21 の機能解析  
武藤 義文、牛島 洋子、山内 洋平、西山 幸廣  
名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学
- 01-3-03 単純ヘルペスウイルス主要粒子構成因子 UL47 のリン酸化による制御と病態への関与  
箕輪 敦子、今井 孝彦、垣本 彩、加藤 哲久、川口 寧  
東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター ウイルス学
- 01-3-04 単純ヘルペスウイルス(HSV)感染における tankyrase1 の修飾と細胞内局在の変化  
李 専、山内 洋平、木村 宏、西山 幸廣  
名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学
- 01-3-05 DNA ポリメラーゼ変異によるアシクロビルやフォスカルネット耐性単純ヘルペスウイルス1型の他の抗ウイルス薬に対する薬剤感受性  
王 麗欣<sup>1)</sup>、木下 一美<sup>1)</sup>、中道 一生<sup>1)</sup>、伊藤(高山) 陸代<sup>1)</sup>、錫谷 達夫<sup>2)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、2) 福島県立医科大学微生物学教室

## 一般口演

10:30~11:45

## ヘルペス(2)

座長：井上 直樹(国立感染症研究所ウイルス第一部)  
村田 貴之(愛知県がんセンター研究所腫瘍ウイルス学部)

- 01-3-06 ヒトサイトメガロウイルスのウイルス DNA 複製に依存する後期遺伝子発現機構の解明  
磯村 寛樹、鶴見 達也  
愛知県がんセンター研究所 腫瘍ウイルス
- 01-3-07 *In vivo* で増殖可能な Guinea pig CMV (GPCMV) のゲノム配列の解析  
金井 亨輔、山田 壮一、山本 由美子、福井 良子、倉根 一郎、井上 直樹  
国立感染症研究所 ウイルス第一部
- 01-3-08 発育期大脳神経細胞におけるサイトメガロウイルス感染と脳発達障害：感染神経細胞における樹状突起の解析  
小杉 伊三夫<sup>1)</sup>、河崎 秀陽<sup>1)</sup>、新井 義文<sup>1)</sup>、岩下 寿秀<sup>1)</sup>、筒井 祥博<sup>2)</sup>  
1) 浜松医科大学 医学部 病理学第二講座、2) 浜松大学 保健医療学部
- 01-3-09 進行性多巣性白質脳症が疑われた患者の脳脊髄液におけるヘルペスウイルスの出現頻度の解析  
中道 一生<sup>1)</sup>、井上 直樹<sup>1)</sup>、伊藤(高山) 陸代<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>  
国立感染症研究所 ウイルス第一部
- 01-3-10 先天性サイトメガロウイルス感染の実態調査：ベトナム出生コホートにおける検討  
森内 昌子<sup>1)</sup>、宮川 雅美<sup>1,2)</sup>、西村 泰輔<sup>1,2)</sup>、本村 秀樹<sup>1,2)</sup>、吉野 弘<sup>3)</sup>、吉田 レイミント<sup>3)</sup>、有吉 紅也<sup>3)</sup>、Le Huu Tho<sup>4)</sup>、Dang Duc Anh<sup>5)</sup>、森内 浩幸<sup>1,2)</sup>  
1) 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 感染免疫学、2) 長崎大学 病院 小児科、3) 長崎大学 熱帯医学研究所 臨床部門、4) カンホア省保健局、5) ベトナム国立衛生疫学研究所

一般口演

14:45～16:00

ヘルペス(3)

座長：片野 晴隆(国立感染症研究所感染病理部)  
森 康子(神戸大学大学院医学研究科)

- 01-3-11 KSHV LANA の細胞内局在と複製・分配メカニズムとの関連動態解析  
大崎 恵理子、中野 和司、上田 啓次  
大阪大学大学院 医学系研究科 感染免疫医学講座 ウイルス学
- 01-3-12 カポジ肉腫関連ヘルペスウイルス(KSHV)のvIRF-3/LANA2の発現制御機構の解析  
中野 和司、大崎 恵理子、上田 啓次  
大阪大学大学院 医学系研究科 感染免疫医学講座 ウイルス学
- 01-3-13 ヒトヘルペスウイルス8関連疾患におけるウイルス micro RNA の発現  
坂本 康太<sup>1,2)</sup>、福本 瞳<sup>1,3)</sup>、佐藤 由子<sup>1)</sup>、水谷 隆太<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 感染病理部、2)東海大学大学院 工学研究科 工業化学、3)陸上自衛隊開発実験団 部隊医学実験隊
- 01-3-14 HHV-8がコードするマイクロ RNA miRK12-3は RapGef2の発現を抑制し潜伏感染維持に貢献する  
片野 晴隆、坂本 康太、武内 恵梨香、菅野 隆行、福本 瞳、佐多 徹太郎  
国立感染症研究所 感染病理部
- 01-3-15 MIR ファミリーによるK11/K63混合型ポリユビキチン鎖を介した免疫関連分子の制御機構  
後藤 栄治、水戸 麻里、青木 雅実、松木 洋平、星野 真理、梶川 瑞穂、石戸 聡  
理化学研究所 RCAI 感染免疫応答

一般口演

16:00～17:00

ヘルペス(4)

座長：藤室 雅弘(山梨大学医学部)  
山田 雅夫(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)

- 01-3-16 KSHV 感染によるアポトーシス制御因子 p32 の機能阻害  
藤室 雅弘<sup>1)</sup>、鈴木 千恵<sup>2)</sup>、南 亮介<sup>2)</sup>、横沢 英良<sup>2)</sup>  
1)山梨大学 医学工学総合研究部 分子細胞生物、2)北海道大学大学院薬学研究院生化学
- 01-3-17 ヒトヘルペスウイルス6(HHV-6)の細胞特異性とスプライシング関連因子 SART3の発現量に関する解析  
嶋田 和也、近藤 一博  
東京慈恵会医科大学 ウイルス学講座
- 01-3-18 新規ウイルス精製法を用いた、ヒトヘルペスウイルス6(HHV-6)再活性化機構の検討  
小林 伸行、清水 昭宏、嶋田 和也、近藤 一博  
東京慈恵会医科大学 ウイルス学講座
- 01-3-19 ヒトヘルペスウイルス6 glycoprotein Q1 に対する中和抗体の作製とその解析  
河端 暁子<sup>1,2)</sup>、林 麻佑子<sup>1,2)</sup>、小柳津 裕子<sup>1,2)</sup>、湯 華民<sup>2)</sup>、山西 弘一<sup>3)</sup>、森 康子<sup>1,2)</sup>  
1)神戸大学大学院 医学研究科 臨床ウイルス学、2)医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト、3)医薬基盤研究所



シンポジウム3

17:45～20:00

DNA ウイルスと核内イベント

座長：鶴見 達也(愛知県がんセンター研究所腫瘍ウイルス学部)  
川口 寧(東京大学医科学研究所)

- S3-1** ヘルペスウイルス蛋白 ICP27 の多能性と RNA 認識機構  
萩原 正敏  
京都大学大学院医学研究科
- S3-2** ウイルス侵入時に細胞表面に誘導されるユニークな単純ヘルペスウイルス新規受容体  
川口 寧  
東京大学医科学研究所
- S3-3** EB ウイルス産生感染における核内環境制御  
佐藤 好隆<sup>1,2)</sup>、鶴見 達也<sup>1)</sup>  
1) 愛知県がんセンター研究所腫瘍ウイルス学部、2) 神戸大学医学部
- S3-4** G2期停止による JC ウイルス複製の促進  
澤 洋文  
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター
- S3-5** HPV と角化細胞の分化  
清野 透  
国立がん研究センター研究所ウイルス部

第4会場(4F 会議室5)

一般口演

9:15～10:30

ブニヤ、アレナ、バキュロ(1)

座長：西條 政幸(国立感染症研究所ウイルス第一部)  
森川 茂(国立感染症研究所ウイルス第一部)

- 01-4-01** リフトバレー熱ウイルス L 蛋白のポリメラーゼ機能におけるロイシンジッパー様モチーフの重要性  
新倉 綾<sup>1,3)</sup>、池上 徹郎<sup>4)</sup>、森川 茂<sup>2)</sup>、山田 靖子<sup>1)</sup>、C. J. Peters<sup>3,4)</sup>、牧野 伸治<sup>3)</sup>  
1) 国立感染症研究所 動物管理室、2) 国立感染症研究所 ウイルス1部、3) テキサス大学 医学部 微生物・免疫、  
4) テキサス大学 医学部 病理
- 01-4-02** ハンタウイルス Glycoprotein の細胞内動態に及ぼす Nucleocapsid protein の影響  
清水 健太、吉松 組子、駒 貴明、安田 俊平、有川 二郎  
北海道大学 医学研究科 病原微生物学分野
- 01-4-03** Puumala ウイルスを感染させたシリアンハムスター (*Mesocricetus auratus*) の感染動態の解析  
真田 崇弘<sup>1)</sup>、荻和 宏明<sup>1)</sup>、永田 典代<sup>2)</sup>、谷川 洋一<sup>1)</sup>、Nur Hardy Abu Daud<sup>1)</sup>、瀬戸 隆弘<sup>1)</sup>、吉松 組子<sup>3)</sup>、  
有川 二郎<sup>3)</sup>、好井 健太郎<sup>1)</sup>、高島 郁夫<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学大学院 獣医学研究科 公衆衛生学、2) 国立感染症研究所 感染病理部、  
3) 北海道大学大学院 医学研究科 病原微生物学
- 01-4-04** ハンタウイルス持続感染メカニズム解明のための実験感染ラットを用いた細胞性免疫測定系の確立  
安田 俊平、吉松 組子、遠藤 理香、清水 健太、駒 貴明、有川 二郎  
北海道大学 大学院医学研究科 微生物学講座 病原微生物学分野
- 01-4-05** メキシコの野生げっ歯類が保有するハンタウイルスの抗原性解析  
吉田 喜香<sup>1)</sup>、荻和 宏明<sup>1)</sup>、真田 崇弘<sup>1)</sup>、Saasa Ngonda<sup>1)</sup>、瀬戸 隆弘<sup>1)</sup>、吉松 組子<sup>2)</sup>、有川 二郎<sup>2)</sup>、  
好井 健太郎<sup>1)</sup>、高島 郁夫<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学 獣医学部 公衆衛生学教室、2) 北海道大学大学院 医学研究科 病原微生物

## 一般口演

10:30～11:45

## ブニヤ、アレナ、バキュロ(2)

座長：有川 二郎(北海道大学大学院医学研究科)  
谷 英樹(大阪大学微生物病研究所)01-4-06 EVOLUTIONARY INSIGHTS FROM THE GENETIC DIVERSITY OF ASAMA VIRUS IN THE JAPANESE SHREW MOLE (*UROTRICHUS TALPOIDES*)新井 智<sup>1)</sup>、永野 昌博<sup>2)</sup>、浅川 満彦<sup>3)</sup>、木村 敏之<sup>4)</sup>、近 真理奈<sup>5)</sup>、多屋 馨子<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>1)</sup>、岡部 信彦<sup>1)</sup>、Richard Yanagihara<sup>6)</sup>

1) 国立感染症研究所、2) 十日町市立里山科学館、3) 酪農学園大学 獣医学部、4) 群馬県立自然史博物館、5) 埼玉県衛生研究所、6) University of Hawaii at Manoa, Honolulu, Hawaii, USA

## 01-4-07 3分節 RNA の塩基配列に基づく中国新疆ウイグル自治区におけるクリミア・コンゴ出血熱ウイルスの分子疫学と進化

西條 政幸、福士 秀悦、水谷 哲也、緒方 もも子、倉根 一郎、森川 茂

国立感染症研究所 ウイルス第1部

## 01-4-08 ザンビア共和国の齧歯類動物におけるアレナウイルスの調査

石井 秋宏、トーマス 由佳、中村 一郎、高田 礼人、澤 洋文

北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

## 01-4-09 バキュロウイルスの細胞侵入経路の解析

片岡 周子、要 祐喜、阿部 隆之、森石 恆司、谷 英樹、松浦 善治

大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野

## 01-4-10 バキュロウイルスベクターの遺伝子導入に伴う宿主自然免疫応答の解析

二宮 彰紀、温 暁玉、要 祐喜、谷 英樹、森石 恆司、阿部 隆之、松浦 善治

大阪大学 医学系研究科 予防環境医学

## 一般口演

14:45～16:00

## プリオン(1)

座長：坂口 末廣(徳島大学疾患酵素学研究中心)  
飛梅 実(国立感染症研究所感染病理部)

## 01-4-11 プリオン感染に関わる生体側因子の探索

飛梅 実<sup>1)</sup>、黒澤 明日香<sup>1)</sup>、山河 芳夫<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 国立感染症研究所 細胞科学部

## 01-4-12 プリオン感染では株により異なる補体因子が反応する

長谷部 理絵<sup>1)</sup>、堀内 基広<sup>1)</sup>、Caughey Byron<sup>2)</sup>

1) 北海道大学 大学院獣医学研究科 獣医衛生学教室、2) Rocky Mountain Laboratories, NIAID, NIH, USA

## 01-4-13 プリオン株における増殖性と細胞膜タンパク質への結合性の違い

布施 隆行、新 竜一郎、佐藤 克也、西田 教行

長崎大学 医歯薬学総合研究科 感染分子解析

01-4-14 クラスリン依存性エンドサイトーシス阻害剤処理による PrP<sup>Sc</sup> の細胞内局在の変化

山崎 剛士、鈴木 章夫、長谷部 理絵、堀内 基広

北海道大学大学院 獣医学研究科 応用獣医学講座 獣医衛生学教室

## 01-4-15 vCJD を用いた血漿分画製剤の工程評価

久保 純<sup>1,3,4)</sup>、大久保 裕士<sup>1)</sup>、中川 典子<sup>1)</sup>、佐々木 祐子<sup>1)</sup>、柚木 幹弘<sup>2,3,4)</sup>、Larisa Cervenakova<sup>5)</sup>、萩原 克郎<sup>4)</sup>、生田 和良<sup>3)</sup>

1) 株式会社ベネシス 研究開発本部、2) 株式会社ベネシス 安全管理部、3) 大阪大学微生物病研究所 ウイルス免疫分野、4) 酪農学園大学 獣医学部、5) American Red Cross, Transmissible Disease Department



一般口演

16:00～17:00

プリオン(2)

座長：西田 教行(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)  
堀内 基広(北海道大学大学院獣医学研究科)

- 01-4-16 異なるプリオン株に異なる感受性を示すプリオン蛋白：プリオン株産生メカニズムについての考察  
坂口 末廣<sup>1)</sup>、宮田 博規<sup>2)</sup>、山口 仁孝<sup>1)</sup>、村松 直美<sup>1)</sup>、森 剛志<sup>1)</sup>  
1) 徳島大学 疾患酵素学研究センター 神経変性疾患研究部門、2) 産業医科大学 産業医学研究支援施設 動物研究センター
- 01-4-17 プリオン蛋白構造変換におけるアミノ酸 91-104 領域の役割  
山口 仁孝、村松 直美、森 剛志、坂口 末廣  
徳島大学 疾患酵素学研究センター 神経変性疾患研究部門
- 01-4-18 プリオン蛋白の過剰発現は細胞死を誘導する  
森 剛志、村松 直美、犬伏 祥子、山口 仁孝、坂口 末廣  
徳島大学 疾患酵素学研究センター 神経変性疾患研究部門
- 01-4-19 培養細胞を用いたプリオンの細胞死誘導のメカニズム  
村松 直美、森 剛志、山口 仁孝、藤田 浩司、坂口 末廣  
徳島大学 疾患酵素学研究センター 神経変性疾患研究部門

第5会場(5F 小ホール)

一般口演

9:15～10:30

肝炎ウイルス(1)

座長：松浦 善治(大阪大学微生物病研究所)  
脇田 隆字(国立感染症研究所ウイルス第二部)

- 01-5-01 HCV エンベロープタンパク質に付加される N 型糖鎖の機能解析  
渡邊 則幸、村山 麻子、Saeed Mohsan、伊達 朋子、加藤 孝宣、相崎 英樹、脇田 隆字  
国立感染症研究所 ウイルス第二部
- 01-5-02 C 型肝炎ウイルスの感染性におけるアポリポロタン E の役割  
日紫喜 隆行<sup>1)</sup>、清水 裕子<sup>1)</sup>、杉山 和夫<sup>2)</sup>、舟見 健児<sup>1)</sup>、宇治野 真之<sup>1)</sup>、高久 洋<sup>3)</sup>、下遠野 邦忠<sup>1)</sup>  
1) 千葉工業大学 附属総合研究所、2) 慶應義塾大学 医学部、3) 千葉工業大学 工学部
- 01-5-03 C 型肝炎ウイルスの trans-packaging 型粒子を用いた感染機構の解析  
鈴木 亮介<sup>1)</sup>、斎藤 憲司<sup>1)</sup>、赤澤 大輔<sup>1)</sup>、石井 孝司<sup>1)</sup>、松浦 善治<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、鈴木 哲朗<sup>1,3)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 大阪大学 微生物病研究所 感染機構研究部門 分子ウイルス分野、  
3) 浜松医科大学 医学部 感染症学
- 01-5-04 C 型肝炎ウイルスの細胞侵入におけるフォスホリパーゼ C およびプロテインキナーゼ C 依存的なシグナル伝達経路の関与  
谷 英樹、阿部 隆之、森石 恆司、松浦 善治  
大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野
- 01-5-05 C 型肝炎ウイルス J6CF 株の培養細胞での増殖に必要なウイルス遺伝子変異の同定  
村山 麻子、伊達 朋子、加藤 孝宣、脇田 隆字  
国立感染症研究所 ウイルス第二部

## 一般口演

10:30~11:45

## 肝炎ウイルス(2)

座長：加藤 宣之(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)  
土方 誠(京都大学ウイルス研究所)

## 01-5-06 感染性粒子を放出する HCV 遺伝子型 1a クローン(HCV-RMT)の樹立

徳永 優子<sup>1)</sup>、新井 正明<sup>2)</sup>、高木 朝子<sup>2)</sup>、飛田 良美<sup>1)</sup>、立野 知世<sup>3)</sup>、小原 道法<sup>1)</sup>1) (財)東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所感染制御プロジェクト、2) 田辺三菱製薬株式会社、  
3) 株式会社フェニックスバイオ

## 01-5-07 がん抑制因子 PML は HCV のライフサイクルに必須である

黒木 美沙緒<sup>1,2)</sup>、有海 康雄<sup>1)</sup>、池田 正徳<sup>1)</sup>、團迫 浩方<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>3)</sup>、加藤 宣之<sup>1)</sup>1) 岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学、2) 日本学術振興会 特別研究員、  
3) 国立感染症研究所 ウイルス第二部

## 01-5-08 HCV JFH-1 株における NS5A の置換がウイルス増殖に及ぼす影響の解析

岡本 有加<sup>1,2)</sup>、政木 隆博<sup>1)</sup>、村山 麻子<sup>1)</sup>、加藤 孝宣<sup>1)</sup>、渡邊 治雄<sup>2,3)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 東京大学大学院 医学系研究科 病因・病理学専攻、3) 国立感染症研究所

## 01-5-09 C 型肝炎ウイルス複製複合体における ATP 制御の可視化と機能解析

安東 友美<sup>1)</sup>、今村 博臣<sup>2)</sup>、鈴木 亮介<sup>1)</sup>、相崎 英樹<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、鈴木 哲朗<sup>3)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 科学技術振興機構 さきがけ、3) 浜松医科大学 医学部 医学科

## 01-5-10 Core による S-S 結合型二量体は C 型肝炎ウイルスの粒子形成に必須である

久島 透嘉<sup>1,2)</sup>、脇田 隆字<sup>3)</sup>、土方 誠<sup>1,2)</sup>1) 京都大学 ウイルス研究所 ヒトがんウイルス研究分野、2) 京都大学 生命科学研究科 生体動態研究分野、  
3) 国立感染症研究所 ウイルス2部

## 一般口演

14:45~16:00

## 肝炎ウイルス(3)

座長：堀田 博(神戸大学大学院医学研究科)  
森石 恆司(山梨大学医学部)

## 01-5-11 Role of ERAD pathway in life cycle of hepatitis C virus

Saeed Mohsan<sup>1)</sup>、鈴木 亮介<sup>1)</sup>、渡邊 則幸<sup>1)</sup>、政木 隆博<sup>1)</sup>、加藤 孝宣<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、鈴木 哲郎<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第2部、2) 浜松医科大学 医学部 医学科

## 01-5-12 エネルギーセンサー AMPK の活性化による C 型肝炎ウイルス複製の抑制

中島 謙治<sup>1)</sup>、竹内 健司<sup>1)</sup>、千原 一泰<sup>1)</sup>、堀田 博<sup>2)</sup>、定 清直<sup>1,3)</sup>

1) 福井大学 医学部 微生物学、2) 神戸大学大学院 医学研究科 微生物学、3) 福井大学 ライフ機構

## 01-5-13 C 型肝炎ウイルスはオートファジーを誘導して持続感染を成立させる

寒原 裕登<sup>1)</sup>、田畝 修平<sup>1)</sup>、藤田 尚信<sup>2)</sup>、野田 健司<sup>2)</sup>、森石 恆司<sup>1)</sup>、吉森 保<sup>2)</sup>、松浦 善治<sup>1)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野、2) 大阪大学大学院医学系研究科遺伝学

## 01-5-14 HCV infection and replication in mouse hepatocytes

フセイン アリ、松本 美佐子、瀬谷 司

北海道大学 大学院医学研究科

## 01-5-15 HCV 感染におけるリポ蛋白代謝の解析

篠原 義康<sup>1,3)</sup>、藤田 浩司<sup>1)</sup>、米田 正人<sup>1)</sup>、野崎 雄一<sup>2)</sup>、今城 健人<sup>1)</sup>、鈴木 香峰理<sup>1)</sup>、馬渡 弘典<sup>1)</sup>、  
桐越 博之<sup>1)</sup>、船越 健悟<sup>3)</sup>、池田 正徳<sup>4)</sup>、加藤 宣之<sup>4)</sup>、前田 慎<sup>1)</sup>、中島 淳<sup>1)</sup>、斉藤 聡<sup>1)</sup>1) 横浜市立大学大学院医学研究科分子消化管内科学、2) 国立国際医療センター国府台病院消化器内科、  
3) 横浜市立大学大学院医学研究科神経解剖学、4) 岡山大学医歯薬学総合研究科腫瘍ウイルス学

## 一般口演

16:00～17:00

## 肝炎ウイルス(4)

座長：小原 恭子(熊本大学大学院生命科学研究所)  
勝二 郁夫(神戸大学大学院医学研究科)

## 01-5-16 糖代謝に及ぼす C 型肝炎ウイルスの影響及びその分子機序の解析

Deng Lin, 兼田 崇作, 井出 良浩, 勝二 郁夫, 堀田 博  
神戸大学 大学院 医学研究科 微生物学

## 01-5-17 核小体蛋白質 B23 は C 型肝炎ウイルスの複製を抑制する

加藤 大志<sup>1)</sup>、森 嘉生<sup>2)</sup>、寒原 裕登<sup>1)</sup>、要 祐喜<sup>1)</sup>、谷 英樹<sup>1)</sup>、阿部 隆之<sup>1)</sup>、神谷 亘<sup>1)</sup>、森石 恆司<sup>1)</sup>、  
松浦 善治<sup>1)</sup>  
1) 阪大微研分子ウイルス、2) 感染研ウイルス第三部

## 01-5-18 非免疫原性 HCV 由来ペプチドによる抗ウイルス CD8+T 細胞反応の誘導

赤塚 俊隆<sup>1)</sup>、高木 徹<sup>1)</sup>、守屋 修<sup>1)</sup>、小林 信春<sup>1)</sup>、松井 政則<sup>1)</sup>、種市 麻衣子<sup>2)</sup>、内田 哲也<sup>2)</sup>  
1) 埼玉医科大学 医学部 微生物学、2) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部

## 01-5-19 C 型肝炎ウイルス感染に対する自然防御について

江角 眞理子<sup>1)</sup>、石橋 眞理子<sup>1)</sup>、鶴田 浩一<sup>1)</sup>、山口 裕美<sup>1)</sup>、菊田 幸子<sup>1)</sup>、榊原 由子<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>2)</sup>  
1) 日本大学 医学部 病態病理学系病理学分野、2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部

## シンポジウム 4

17:45～20:00

## ゲノミクス、情報科学、計算科学とウイルス学

座長：佐藤 裕徳(国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター)  
金井 昭夫(慶應義塾大学先端生命科学研究所)

## S4-1 ゲノミクスと計算科学の手法に基づくノロウイルス進化の研究

本村 和嗣  
国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

## S4-2 ゲノミクスの手法に基づく HCV 感染者の IFV 治療効果の研究

杉山 真也  
名古屋市立大学大学院医学研究科

## S4-3 情報科学と実験科学の手法に基づく機能性 RNA 研究

金井 昭夫  
慶應義塾大学先端生命科学研究所

## S4-4 ゲノミクスと計算科学の手法に基づく薬剤耐性予測の研究

大出 裕高  
国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

## S4-5 ゲノミクス、計算科学、実験科学の手法に基づく HIV の中和抗体逃避機構の研究

横山 勝  
国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

## 第6会場(5F 会議室6)

## 一般口演

9:15～10:30

## レオ、ビルナ(1)

座長：恒光 裕(農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所)  
中込 治(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

- 01-6-01** 継代培養におけるロタウイルスの病原性に関する分子生物学的メカニズムの解析  
津川 毅<sup>1,2)</sup>、堤 裕幸<sup>2)</sup>  
1) 岩見沢市立総合病院 小児科、2) 札幌医科大学 医学部 小児科
- 01-6-02** VP4上のトリプシン切断領域にフューリン認識配列を導入した組換えロタウイルスの作製  
河本 聡志、和久田 光毅、前野 芳正、油井 晶子、佐々木 潤、守口 匡子、石川 球美子、谷口 孝喜  
藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学
- 01-6-03** 札幌市ロタウイルス G1P [8] 株 VP7 遺伝子の分子系統解析  
～ベイズ法による系統推定および蛋白立体構造予測による変異部位のマッピング～  
長岡 由修、辰巳 正純、堤 裕幸  
札幌医科大学 医学部 小児科
- 01-6-04** 造血幹細胞移植患児で観察された長期間、低レベルロタウイルス抗原血症の病態解明  
菅田 健<sup>1)</sup>、中井 英剛<sup>1)</sup>、油井 明子<sup>2)</sup>、谷口 孝喜<sup>2)</sup>、浅野 喜造<sup>3)</sup>、吉川 哲史<sup>1)</sup>  
1) 藤田保健衛生大学 医学部 小児科、2) 藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス寄生虫学教室、  
3) 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター
- 01-6-05** ブタ B 群ロタウイルス主要カプシド蛋白質 VP6 の遺伝学的および血清学的解析  
久我 和史<sup>1,2)</sup>、鈴木 亨<sup>2)</sup>、宮崎 綾子<sup>2)</sup>、井関 博<sup>2)</sup>、高木 道浩<sup>2)</sup>、真瀬 昌司<sup>1,3)</sup>、杉山 誠<sup>1)</sup>、恒光 裕<sup>1,2)</sup>  
1) 岐阜大学 連合獣医学研究科、2) 動物衛生研究所 ウイルス病研究チーム、3) 動物衛生研究所 人獣感染症研究チーム

## 一般口演

10:30～11:45

## レオ、ビルナ(2)

座長：小林 宣道(札幌医科大学医学部)  
谷口 孝喜(藤田保健衛生大学医学部)

- 01-6-06** ロタウイルスの遺伝子型特異的免疫に関する分子疫学的解析  
中込 とよ子<sup>1)</sup>、中込 治<sup>1)</sup>、有澤 孝吉<sup>2)</sup>  
1) 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 感染免疫学講座 分子疫学分野、  
2) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部予防疫学分野
- 01-6-07** Whole genomic analysis reveals artiodactyl origin of a human group A rotavirus strain from an asymptomatic infant in Kenya  
Ghosh Souvik<sup>1)</sup>、Zipporah Gatheru<sup>2)</sup>、足立 憲昭<sup>3)</sup>、小林 宣道<sup>1)</sup>  
1) 札幌医科大学 医学部 衛生学、2) Kenya Medical Research Institute、3) 市立釧路総合病院
- 01-6-08** 5'Cap および dinucleotide によるブルタングウイルス (BTV) ポリメラーゼ活性の促進  
松尾 栄子、Roy Polly  
London School of Hygiene and Tropical Medicine
- 01-6-09** アフリカ馬疫ウイルス (AHSV) における Reverse Genetics System の開発  
松尾 栄子、Celma Cristina、Roy Polly  
London School of Hygiene and Tropical Medicine
- 01-6-10** ハイポウイルスの多機能性蛋白質 p29 により誘導されるレオウイルスのゲノム再編成  
田中 徹、孫 麗英、鈴木 信弘  
岡山大学 資源植物科学研究所

## 一般口演

14:45~16:00

## トガ、フラビ(1)

座長：高崎 智彦(国立感染症研究所ウイルス第一部)  
高島 郁夫(北海道大学大学院獣医学研究科)

## 01-6-11 ダニ媒介性脳炎ウイルス Sofjin 株の感染性 cDNA の構築

高野 絢子、大森 優紀、好井 健太郎、横澤 香菜、苺和 宏明、高島 郁夫  
北海道大学 獣医学部 公衆衛生学教室

## 01-6-12 ダニ媒介性脳炎 / オムスク出血熱のキメラウイルスの作成と性状解析

好井 健太郎<sup>1)</sup>、寸田 祐嗣<sup>2)</sup>、苺和 宏明<sup>1)</sup>、Holbrook Michael<sup>3,4)</sup>  
1) 北大 院 獣医 公衆衛生、2) 北大 院 獣医 比較病理、3) テキサス大学、4) NIAID

## 01-6-13 ウエストナイルウイルスの E 蛋白糖鎖付加が鳥類における病原性に与える影響の解析

戸谷 理詩<sup>1)</sup>、好井 健太郎<sup>1)</sup>、村田 亮<sup>2)</sup>、秋田 紗希<sup>3)</sup>、田中 智久<sup>3,4)</sup>、苺和 宏明<sup>1)</sup>、梅村 孝司<sup>3)</sup>、高島 郁夫<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学 大学院獣医学研究科 環境獣医学講座 公衆衛生学教室、2) 東京農業大学 農学部 畜産学科 家畜衛生学研究室、  
3) 北海道大学 大学院獣医学研究科 診断治療学講座 比較病理学教室、4) 大阪大学微生物病研究会 グローバル COE プログラム

## 01-6-14 日本脳炎ウイルス感染における重症化機序の解析

早坂 大輔<sup>1)</sup>、藤井 克樹<sup>2)</sup>、永田 典代<sup>3)</sup>、ディン テュアン デュク<sup>1)</sup>、田中 香苗<sup>1)</sup>、岩田 奈緒子<sup>3)</sup>、  
北浦 一孝<sup>2)</sup>、木下 一美<sup>1)</sup>、佐多 徹太郎<sup>3)</sup>、鈴木 隆二<sup>2)</sup>、森田 公一<sup>1)</sup>  
1) 長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野 GCOE プログラム、2) 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 臨床研究センター、  
3) 国立感染症研究所 感染病理部

## 01-6-15 豚コレラウイルスの病原性解析に用いる感染性クローンの作出

吉野 史<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、野村 拓志<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>1)</sup>、杉田 征彦<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、Nicolas Ruggli<sup>2)</sup>、喜田 宏<sup>1,3)</sup>  
1) 北海道大学 獣医学研究科 微生物、2) Institute of Virology and Immunoprophylaxis, Switzerland、  
3) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

## 一般口演

16:00~17:00

## トガ、フラビ(2)

座長：竹上 勉(金沢医科大学総合医学研究所)  
森田 公一(長崎大学熱帯医学研究所)

## 01-6-16 Analysis of cross-reactive mouse monoclonal antibodies against dengue virus NS1 in vitro and in vivo

Masrinoul Promsin、黒須 剛、Magot Omokoko、Pambudi Sabar、生田 和良  
大阪大学 微生物病研究所

## 01-6-17 デング1型ウイルス感染増強活性あるいは中和活性のみを示すモノクローナル抗体の性状解析

武田 祥子、田淵 裕子、小西 英二  
神戸大学大学院 保健学研究科

## 01-6-18 ダニ媒介性脳炎ウイルス感染時におけるマウスの生死と脳内浸潤 T 細胞クローンの相違性

藤井 克樹<sup>1,2)</sup>、早坂 大輔<sup>3)</sup>、北浦 一孝<sup>1,2)</sup>、高崎 智彦<sup>1)</sup>、鈴木 隆二<sup>2)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、2) (独)国立病院機構相模原病院 臨床研究センター、  
3) 長崎大学熱帯医学研究所 ウイルス学分野

## 01-6-19 マウスにおけるデングウイルス及び日本脳炎ウイルス感染機序

黒須 剛<sup>1)</sup>、Khamlert Chidchanok<sup>1)</sup>、Phanthanawiboon Supranee<sup>1)</sup>、青枝 大貴<sup>3)</sup>、大畑 敬一<sup>3,4)</sup>、  
Arias F Juan<sup>1)</sup>、中村 祥子<sup>1)</sup>、Anantapreecha Surapee<sup>2)</sup>、石井 健<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所、2) National Institute of Health, -Department of Medical Sciences, Thailand、  
3) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター、4) 日本全業工業株式会社

## ポスター会場(3F 大展示室)

## ポスター発表

17:00～17:45

11月7日

- P1-001** ポリオウイルスの血液脳関門透過機構  
二瓶 浩一<sup>1)</sup>、野本 明男<sup>1,2)</sup>  
1)財団法人 微生物化学研究会 微生物化学研究所、2)千葉大学 真菌医学研究センター
- P1-002** 呼吸器感染症患者からのヒトライノウイルス C の検出および流行解析  
改田 厚、久保 英幸、入谷 展弘  
大阪市立環境科学研究所 微生物保健
- P1-003** Human parechovirus from stools in Japan, Thailand, and Sri Lank, 2005–8  
Pham Thi Kim Ngan<sup>1)</sup>、Chanit Wisoot<sup>1)</sup>、Khamrin Pattara<sup>2)</sup>、清水 英明<sup>3)</sup>、沖津 祥子<sup>2)</sup>、牛島 廣治<sup>2)</sup>  
1)東京大学 大学院 医学系研究科 国際保健学専攻 発達医学、2)藍野大学藍野健康科学センター、3)川崎市衛生研究所
- P1-004** 無菌性髄膜炎を疑う熱性痙攣小児患者からのエンテロウイルスの検出  
町田 早苗<sup>1,2)</sup>、西村 順裕<sup>2)</sup>、清水 博之<sup>2)</sup>  
1)埼玉医科大学 医学研究センター、2)国立感染症研究所 ウイルス2部
- P1-005** 流入下水から分離されるエンテロウイルスについて  
水谷 絵美、安達 啓一、藤原 範子、伊藤 雅、山下 照夫、藤浦 明、皆川 洋子  
愛知県衛生研究所 生物学部 ウイルス研究室
- P1-006** ポリオウイルス同定のための新規ゼラチン粒子凝集法の開発  
有田 峰太郎<sup>1)</sup>、増島 操治<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、清水 博之<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 ウイルス第二部 第二室、2)富士レビオ株式会社 商品第一設計部試薬設計第2グループ
- P1-007** 日本のブタから分離したブタエンテロウイルス8の解析  
李 天成<sup>1)</sup>、方 荅<sup>1)</sup>、片岡 紀代<sup>2)</sup>、宮村 達男<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 ウイルス第二部、2)国立感染症研究所病理部
- P1-008** ファージディスプレイ法による、ヒト型抗ノロウイルス抗体の単離  
守口 匡子<sup>1)</sup>、白土 東子<sup>2)</sup>、染谷 雄一<sup>2)</sup>、奥野 良信<sup>3)</sup>、黒澤 良和<sup>4)</sup>、谷口 孝喜<sup>1)</sup>  
1)藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学、2)国立感染症研究所 ウイルス第二部 第一室、3)大阪府立公衆衛生研究所、4)藤田保健衛生大学 総合医学研究所
- P1-009** 関西で同時多発的に発生したノロウイルス食中毒事例の解析  
野田 衛<sup>1)</sup>、入谷 展弘<sup>2)</sup>、中田 恵子<sup>3)</sup>、斎藤 博之<sup>4)</sup>、田中 忍<sup>5)</sup>、西川 篤<sup>6)</sup>、北堀 吉映<sup>7)</sup>、三谷 亜里子<sup>8)</sup>、三瀬 敬治<sup>9)</sup>、山下 和予<sup>10)</sup>、岡 智一郎<sup>10)</sup>、片山 和彦<sup>10)</sup>、岡部 信彦<sup>10)</sup>  
1)国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部、2)大阪市立環境科学研究所、3)大阪府立公衆衛生研究所、4)秋田県環境保健センター、5)神戸市環境保健研究所、6)奈良市保健所、7)奈良県保健環境研究センター、8)京都府山城北保健所、9)札幌医科大学 医療人育成センター、10)国立感染症研究所
- P1-010** 愛知県におけるノロウイルスの検出状況：2009/10シーズン  
藤原 範子、安達 啓一、水谷 絵美、伊藤 雅、安井 善宏、小林 慎一、山下 照夫、藤浦 明、皆川 洋子  
愛知県 衛生研究所 生物学部 ウイルス研究室
- P1-011** 食中毒事例から検出されたサボウイルスの遺伝子解析  
小林 慎一、藤原 範子、安井 善宏、山下 照夫、藤浦 明、皆川 洋子  
愛知県衛生研究所 生物学部
- P1-012** 2009/10シーズンに大阪府で認められた GII. 2型ノロウイルス流行  
入谷 展弘<sup>1)</sup>、改田 厚<sup>1)</sup>、久保 英幸<sup>1)</sup>、関口 純一郎<sup>1)</sup>、小倉 壽<sup>2)</sup>、勢戸 祥介<sup>3)</sup>  
1)大阪市立環境科学研究所、2)大阪市大・院・ウイルス学、3)大阪府大生命環境科学・獣医微生物
- P1-013** サボウイルス、ノロウイルスが同時に検出された飲食店における食中毒疑い事例の解析  
柴田 伸一郎、小平 彩里  
名古屋市衛生研究所 微生物部 ウイルス室

- P1-014** 熊本県における感染性胃腸炎の起因病原体調査とサポウイルス genogroup の年次変化  
原田 誠也<sup>1)</sup>、西村 浩一<sup>1)</sup>、岡 智一郎<sup>2)</sup>、片山 和彦<sup>2)</sup>  
1) 熊本県保健環境科学研究所 微生物科学部、2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部
- P1-015** アストロウイルス血清型8型による集団感染性胃腸炎事例  
吉田 徹也<sup>1)</sup>、森 功次<sup>2)</sup>、秋場 哲哉<sup>2)</sup>、永野 美由紀<sup>2)</sup>、宇宿 秀三<sup>3)</sup>、熊崎 真琴<sup>3)</sup>、宮坂 たつ子<sup>1)</sup>、  
畔上 由佳<sup>1)</sup>、内山 友里恵<sup>1)</sup>、笠原 ひとみ<sup>1)</sup>、上田 ひろみ<sup>1)</sup>、長瀬 博<sup>1)</sup>、藤田 暁<sup>1)</sup>  
1) 長野県環境保全研究所 感染症部、2) 東京都健康安全研究センター 微生物部、3) 横浜市衛生研究所 ウイルス室
- P1-016** 最近のネコカリシウイルス分離株の病原性および抗原性の多様性  
前田 健<sup>1)</sup>、寺田 豊<sup>1)</sup>、亀尾 由紀<sup>1)</sup>、下田 宙<sup>1)</sup>、田丸 精治<sup>1)</sup>、望月 雅美<sup>3)</sup>、大野 耕一<sup>4)</sup>、宇根 有美<sup>5)</sup>、  
下島 昌幸<sup>1)</sup>  
1) 山口大学 農学部 獣医微生物学教室、2) 共立製薬(株)、3) 東京大学 農学部 獣医内科学教室、4) 日本大学 獣医微生物学教室、  
5) 麻布大学 獣医病理学教室
- P1-017** 非晶性リン酸カルシウム微粒子を用いた食品からのウイルス回収法の構築  
篠原 美千代<sup>1,2)</sup>、富岡 恭子<sup>1)</sup>、内田 和江<sup>1)</sup>、島田 慎一<sup>1)</sup>、鈴木 典子<sup>1)</sup>、峯岸 俊貴<sup>1)</sup>、河橋 幸恵<sup>1)</sup>、  
大橋 典男<sup>2)</sup>  
1) 埼玉県衛生研究所、2) 静岡県立大学
- P1-018** サポウイルスに対する単クローン抗体の解析  
北元 憲利<sup>1)</sup>、岡 智一郎<sup>2)</sup>、片山 かずひこ<sup>2)</sup>、Grant S. Hansman<sup>2)</sup>、三好 龍也<sup>3)</sup>、田中 智之<sup>3)</sup>  
1) 兵庫県立大学 環境人間学部、2) 国立感染症研究所 ウイルス第2部、3) 堺市衛生研究所
- P1-019** 遺伝子診断法を用いたノロウイルスの検出感度比較  
林 伸行<sup>1)</sup>、原 正幸<sup>1)</sup>、高橋 邦明<sup>2)</sup>、柴田 伸一郎<sup>3)</sup>、小平 彩里<sup>3)</sup>、宇田川 悦子<sup>4)</sup>  
1) 北里環境科学センター、2) ロシユ・ダイアグノスティクス株式会社、3) 名古屋市衛生研究所、  
4) 国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室
- P1-020** マウスノロウイルス(MNV)のマウス由来培養細胞での増殖性についての検討  
高木 弘隆<sup>1)</sup>、北島 正章<sup>2)</sup>、遠矢 幸伸<sup>3)</sup>、岡 智一郎<sup>4)</sup>、片山 浩之<sup>2)</sup>、片山 和彦<sup>4)</sup>、杉山 和良<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室、2) 東京大院 工学系研究科、3) 日本大学 農獣医学部、  
4) 国立感染症研究所 ウイルス第2部
- P1-021** 小学校集団胃腸炎事例から検出したサポウイルス Genogroup V の遺伝子解析  
宇宿 秀三、熊崎 真琴  
横浜市衛生研究所
- P1-022** 酵素を用いたカキからのノロウイルス濃縮法の検討  
高橋 由理<sup>1)</sup>、植木 洋<sup>1)</sup>、阿部 美和<sup>1)</sup>、佐藤 由紀<sup>1)</sup>、菅原 優子<sup>1)</sup>、沖村 容子<sup>1)</sup>、野田 衛<sup>2)</sup>、真砂 佳史<sup>3)</sup>、  
大村 達夫<sup>3)</sup>  
1) 宮城県 保健環境センター、2) 国立医薬品食品衛生研究所、3) 東北大学 大学院 工学研究科
- P1-023** 赤芽球系細胞に対する Dengue 2 型ウイルスの感受性受容体の同定  
岡本 健太<sup>1)</sup>、木下 一美<sup>1)</sup>、マリア デル カルメン パルケット<sup>1)</sup>、木村 大輔<sup>2)</sup>、由井 克之<sup>2)</sup>、長谷部 太<sup>1)</sup>、  
森田 公一<sup>1)</sup>  
1) 長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野、2) 長崎大学 医歯薬学総合研究科 免疫機能制御学分野
- P1-024** アルファウイルスのショウジョウバエ培養細胞への適応変異  
白子 幸男<sup>1)</sup>、Aliyari Roghiyh<sup>2)</sup>、Digirolamo Richard<sup>3)</sup>  
1) 東京大学 アジア生物資源環境研究センター、2) University of California, Riverside、3) 東京大学大学院 農学生命科学研究科
- P1-025** in vitro における Dengue 1 型ウイルスおよび日本脳炎ウイルスの増殖性および感染細胞側応答の比較  
田島 茂、高崎 智彦、倉根 一郎  
国立感染症研究所 ウイルス第1部
- P1-026** フラビウイルスレポーターレプリコンの構築  
加藤 文博<sup>1,2)</sup>、田島 茂<sup>1)</sup>、司馬 肇<sup>2)</sup>、細野 邦昭<sup>2)</sup>、高崎 智彦<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第1部 第2室、2) 日本大学 大学院 生物資源科学研究科
- P1-027** ウイルス性状における日本脳炎ウイルス E 蛋白質の1アミノ酸置換の影響  
山口 幸恵<sup>1,2)</sup>、田島 茂<sup>1)</sup>、小滝 徹<sup>1)</sup>、沢辺 京子<sup>3)</sup>、渡邊 治雄<sup>2,4)</sup>、高崎 智彦<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部 第二室、2) 東京大院 医学系研究科 感染病態学、3) 国立感染症研究所 昆虫医科学部、  
4) 国立感染症研究所

- P1-028** シンドビスウイルス RNA レプリコンのがん特異的細胞融解能  
元 清華、齊藤 謙悟、中本 晋吾、武藤 利彦、山畑 渚、白澤 浩  
千葉大学 医学部 分子ウイルス学
- P1-029** Chikungunya Virus Induced Moderate Cytopathic Effects in Mosquito Cells Line than in Mammalian Cell Line  
李 永剛<sup>1)</sup>、Siripanyaphinyo Uamporn<sup>1)</sup>、亀岡 正典<sup>1)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>、武田 直和<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学微生物病研究所海外拠点タイ拠点、2) 大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫
- P1-030** 日本脳炎ワクチン接種によって獲得されるウエストナイルウイルスに対する交差中和抗体の検討  
青山 幾子<sup>1)</sup>、弓指 孝博<sup>1)</sup>、高崎 智彦<sup>2)</sup>、林 昌宏<sup>2)</sup>、加瀬 哲男<sup>1)</sup>、高橋 和郎<sup>1)</sup>  
1) 大阪府立公衆衛生研究所 感染症部、2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部第2室
- P1-031** 日本脳炎ウイルス国内分離株の遺伝子解析 (2005～2009)  
小滝 徹、林 昌宏、田島 茂、高崎 智彦、倉根 一郎  
国立感染症研究所ウイルス1部
- P1-032** 熊本県における日本脳炎注意報発令と日本脳炎ウイルスの自然感染率に関する検討  
原田 誠也、西村 浩一、清田 直子  
熊本県保健環境科学研究所 微生物科学部
- P1-033** 熊本県におけるブタ及び日本脳炎患者から検出された日本脳炎ウイルスの遺伝子解析  
西村 浩一<sup>1)</sup>、原田 誠也<sup>1)</sup>、清田 直子<sup>1)</sup>、小滝 徹<sup>2)</sup>、高崎 智彦<sup>2)</sup>  
1) 熊本県保健環境科学研究所 微生物科学部、2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部
- P1-034** インドネシア住民におけるデングウイルス感染増強抗体の血清疫学  
田淵 裕子<sup>1)</sup>、山中 敦史<sup>2,3)</sup>、小西 英二<sup>1,2)</sup>  
1) 神戸大学大学院 保健学研究科 国際保健学、2) 神戸大学大学院 医学研究科 感染症センター、  
3) Indonesia-Japan CRC-ERID
- P1-035** 近年北海道で分離された牛ウイルス性下痢ウイルスの遺伝子と抗原性の解析  
迫田 義博<sup>1)</sup>、田村 友和<sup>1)</sup>、杉田 征彦<sup>1)</sup>、吉野 史<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>1,2)</sup>  
1) 北海道大学 獣医学研究科 微生物、2) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
- P1-036** 渡り鳥におけるフラビウイルス感染の調査  
只野 昌之  
1) 琉球大学大学院 医学研究科 微生物学・腫瘍学講座(旧病原生物学分野)
- P1-037** Molecular epidemiology of Japanese Encephalitis Virus from mosquito at Kyoto from 1979 to 1993  
佐山 勇輔<sup>1,2)</sup>、高崎 智彦<sup>1)</sup>、小滝 徹<sup>1)</sup>、押谷 仁<sup>2)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所ウイルス一部、2) 東北大学大学院医学系研究科微生物学分野
- P1-038** 2008年にインドネシア国スラバヤ市で起きたデング2型から1型への流行型シフト  
山中 敦史<sup>1,2)</sup>、小西 英二<sup>1,2,3)</sup>  
1) CRC-ERID アイルランガ大学 熱帯病研究所、2) 神戸大学大学院 医学研究科 附属感染症センター、  
3) 神戸大学大学院 保健学研究科 国際保健学
- P1-039** 風疹ウイルスによるモルモットでの抗体誘導は温度感受性と一致するわけではない  
大槻 紀之<sup>1)</sup>、阿保 均<sup>1)</sup>、久保田 耐<sup>1)</sup>、森 嘉生<sup>1)</sup>、海野 幸子<sup>2)</sup>、岡本 貴世子<sup>1)</sup>、竹田 誠<sup>1)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第三部、2) 独) 医薬品医療機器総合機構
- P1-040** 風疹ウイルス遺伝子検出による実験室診断技術の改良  
岡本 貴世子、阿保 均、大槻 紀之、森 嘉生、竹田 誠、駒瀬 勝啓  
国立感染症研究所 ウイルス第三部 第二室
- P1-041** 近年のチクングニヤ熱の流行と迅速診断法の検討  
林 昌宏<sup>1)</sup>、藤本 嗣人<sup>2)</sup>、小長谷 昌未<sup>2)</sup>、モイ メンリン<sup>1)</sup>、小滝 徹<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、高崎 智彦<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、2) 国立感染症研究所感染症情報センター

- P1-042** ウエストナイルウイルス(WNV)感染症特異的高感度競合 ELISA の開発  
広田 次郎<sup>1)</sup>、森田 公一<sup>2)</sup>、清水 真也<sup>1)</sup>  
1) 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所 次世代製剤開発チーム、2) 長崎大学 熱帯医学研究所
- P1-043** オキナワモズク由来フコイダンの抗日本脳炎ウイルス作用  
玉城 和美、只野 昌之、森 直樹  
琉球大学 大学院医学研究科 微生物学・腫瘍学講座
- P1-044** アジュバントを用いた Vero 細胞由来不活化日本脳炎ワクチンの防御効果について  
鳥庭 弘子<sup>1)</sup>、西川 直毅<sup>1)</sup>、飯田 由起子<sup>1)</sup>、齊藤 純子<sup>1)</sup>、Nikolai Petrovsky<sup>2)</sup>、小宮 智義<sup>1)</sup>  
1) 学校法人北里研究所 生物製剤研究所、2) パキシン社
- P1-045** Efficient Screening of Protease Inhibitor against dengue virus NS3 by Structure-based Study  
Pambudi Sabar<sup>1)</sup>、川下 理日人<sup>1,2)</sup>、柏田 理恵<sup>2)</sup>、高木 達也<sup>2)</sup>、黒須 剛<sup>1)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所、2) 大阪大学 大学院薬学研究科
- P1-046** 石川県内水田近辺で採取したコガタアカイエカからの日本脳炎ウイルス分離(2009-2010年度)  
村上学、竹上 勉  
金沢医科大学 総合医学研究所 分子腫瘍学研究部門
- P1-047** C型肝炎ウイルス感染における粒子表面コレステロールの役割  
山本 真民<sup>1,2)</sup>、相崎 英樹<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、鈴木 哲朗<sup>3)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第2部、2) 東京農工大学 連合農学研究科、3) 浜松医科大学 医学部 医学科
- P1-048** 培養細胞における B型肝炎ウイルスの感染能  
上田 啓次、大崎 恵理子、中野 和司  
大阪大学 大学院 医学系研究科 ウイルス学
- P1-049** Retinoid-related orphan receptor  $\alpha$  (ROR  $\alpha$ ) による B型肝炎ウイルス遺伝子発現の抑制  
黒木 和之<sup>1)</sup>、石川 隆<sup>2)</sup>  
1) 金沢大学 がん研究所 中央実験施設、2) 東京大学 保健・健康推進本部
- P1-050** HCV NS5A 蛋白のリン酸化に関与する新規セリン/スレオニンプロテインキナーゼの同定と機能解析  
政木 隆博<sup>1)</sup>、松永 智子<sup>2)</sup>、高橋 宏隆<sup>2)</sup>、加藤 孝宣<sup>1)</sup>、遠藤 弥重太<sup>2)</sup>、澤崎 達也<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、鈴木 哲朗<sup>1,3)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 愛媛大学 無細胞生命科学工学研究センター、3) 浜松医科大学 感染症学講座
- P1-051** C型肝炎ウイルス複製における Betaine/GABA transporter-1 (BGT-1) の役割  
佐藤 正明<sup>1)</sup>、笠間 由里<sup>1)</sup>、小原 道法<sup>2)</sup>、小原 恭子<sup>1)</sup>  
1) 熊本大学大学院生命科学研究所感染症阻止学寄付講座、2) 東京都臨床医学総合研究所
- P1-052** Hsp70 knockdown による C型肝炎ウイルス(HCV) ライフサイクルへの影響  
君塚 圭亮<sup>1)</sup>、鈴木 等<sup>1)</sup>、日紫喜 隆行<sup>2)</sup>、下遠野 邦忠<sup>2)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>  
1) 千葉工業大学大学院 生命環境科学専攻、2) 千葉工業大学付属総合研究所
- P1-053** 細胞内アネキシンは C型肝炎ウイルスの複製を制御する  
阿部 隆之  
大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野
- P1-054** 感染性 HCV 粒子産生に関わる新規細胞内シグナル経路の探索  
阿部 雄一<sup>1,2)</sup>、アリ フセイン<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>4)</sup>、下遠野 邦忠<sup>5)</sup>、土方 誠<sup>1,2)</sup>  
1) 京都大学 生命科学研究所 生体動態制御学講座、2) 京都大学 ウイルス研究所 ヒトがんウイルス研究分野、3) 北海道大学 医学部、4) 国立感染症研究所 ウイルス第2部、5) 千葉工業大学 附属総合研
- P1-055** ヒト初代培養肝細胞へのブタ由来 E型肝炎ウイルス感染実験  
大城 幸雄<sup>1)</sup>、服部 眞次<sup>2)</sup>、千葉 満<sup>1)</sup>、内藤 忠相<sup>3)</sup>、竹内 薫<sup>3)</sup>、永田 恭介<sup>3)</sup>、安江 博<sup>4)</sup>、大河内 信弘<sup>1)</sup>  
1) 筑波大学大学院 博士課程 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻 消化器外科・臓器移植学分野、2) 株式会社ベネシス研究開発本部 大阪研究所、3) 筑波大学大学院人間総合科学研究科 生命システム医学専攻 感染生物学分野、4) 独立行政法人 農業生物資源研究所 家畜ゲノム研究ユニット

- P1-056 C型肝炎ウイルスによる肝星細胞線維化への TGF- $\beta$  の関与**  
鈴木 等<sup>1)</sup>、君塚 圭亮<sup>1)</sup>、日紫喜 隆行<sup>2)</sup>、下遠野 邦忠<sup>2)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>  
1) 千葉工業大学大学院 生命環境科学専攻、2) 千葉工業大学附属総合研究所
- P1-057 キメラ HCV (遺伝子型 1b/2a) 持続感染細胞の樹立**  
杉山 和夫<sup>1)</sup>、清水 裕子<sup>2)</sup>、日紫喜 隆行<sup>2)</sup>、舟見 健児<sup>2)</sup>、宇治野 真之<sup>3)</sup>、高久 洋<sup>3)</sup>、下遠野 邦忠<sup>2)</sup>  
1) 慶應義塾大学 医学部 総合医科学研究センター、2) 千葉工業大学 附属総合研究所、3) 千葉工業大学 工学部 生命環境科学科
- P1-058 IL28B 遺伝子多型と肝移植後のインターフェロン感受性**  
福原 崇介<sup>1,2)</sup>、本村 貴志<sup>2)</sup>、二宮 彰紀<sup>1)</sup>、阿部 隆之<sup>1)</sup>、武富 紹信<sup>2)</sup>、前原 喜彦<sup>2)</sup>、松浦 善治<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野、2) 九州大学 消化器総合外科学
- P1-059 慢性 C 型肝炎患者血清および非感染者血清を用いた C 型肝炎ウイルス中和感受性決定部位の検討**  
笹山 美紀子<sup>1,4)</sup>、勝二 郁夫<sup>1)</sup>、Adianti Myrna<sup>1,2)</sup>、井出 良浩<sup>1)</sup>、Jiang Da-Peng<sup>1)</sup>、Deng Lin<sup>1)</sup>、堀田 博<sup>1,3)</sup>  
1) 神戸大学大学院 医学研究科 感染症センター 微生物学、2) アイルランガ大学 熱帯病研究所、3) JST/JICA SATREPS、4) 大阪大学 微生物病研究所 Mahidol-Osaka Center for Infectious Diseases (MOCID)
- P1-060 HCV コア領域変異と治療効果との関連の検討**  
中本 晋吾<sup>1,2)</sup>、齋藤 謙悟<sup>1)</sup>、元 精華<sup>1)</sup>、武藤 俊彦<sup>1)</sup>、山端 渚<sup>1)</sup>、神田 達郎<sup>2)</sup>、呉 霜<sup>2)</sup>、今関 文夫<sup>2)</sup>、横須賀 収<sup>2)</sup>、白澤 浩<sup>1)</sup>  
1) 千葉大学 大学院医学研究院 分子ウイルス学、2) 千葉大学 大学院医学研究院 腫瘍内科
- P1-061 ベトナムハイフォン市の静注薬物使用者における HCV 感染の自然経過観察**  
谷本 朋陽、石崎 有澄美、Phan Thi Thu Chung、Bi Xiuqiong、市村 宏  
金沢大学大学院 医学系研究科 環境医科学専攻 ウイルス感染症制御学講座
- P1-062 感染増殖能が上昇した C 型肝炎ウイルス変異株の分離と性状解析**  
白砂 圭崇<sup>1,5)</sup>、齋藤 恭子<sup>5)</sup>、村上 裕子<sup>2)</sup>、深澤 秀輔<sup>2)</sup>、鈴木 哲郎<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>4)</sup>、花田 賢太郎<sup>5)</sup>、深澤 征義<sup>5)</sup>  
1) 東京理科大学大学院 基礎工学研究科 生物工学専攻、2) 国立感染症研究所 生物活性物質部、3) 浜松医科大学 医学部 感染症学講座、4) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、5) 国立感染症研究所 細胞化学部
- P1-063 高純度 HCV 粒子精製方法の構築**  
横川 寛<sup>1,2)</sup>、赤澤 大輔<sup>1)</sup>、森山 正樹<sup>1,2)</sup>、中村 紀子<sup>1)</sup>、望月 英典<sup>1)</sup>、鈴木 哲朗<sup>3)</sup>、加藤 孝宣<sup>2)</sup>、石井 孝司<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>2)</sup>  
1) 東レ株式会社 医薬研究所、2) 国立感染症研究所 ウィルス第二部、3) 浜松医科大学 感染免疫部門
- P1-064 異なる細胞株を用いて開発した全長 HCV-RNA 複製系による抗 HCV 活性が報告されている薬剤等の再評価**  
上田 優輝<sup>1)</sup>、森 京子<sup>1,2)</sup>、池田 正徳<sup>1)</sup>、有海 康雄<sup>1)</sup>、加藤 宣之<sup>1)</sup>  
1) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学分野、2) 日本学術振興会 特別研究員
- P1-065 抗 HCV NS2 タンパク活性阻害剤 High throughput screening のための HCV subgenomic replicon 細胞の構築**  
藤本 雄介<sup>1)</sup>、前川 信哉<sup>2)</sup>、榎本 信幸<sup>2)</sup>、池田 正徳<sup>3)</sup>、加藤 宣之<sup>3)</sup>、伊藤 正彦<sup>1)</sup>、山下 篤哉<sup>1)</sup>  
1) 山梨大学大学院医学工学総合研究部 医学学域 微生物、2) 山梨大学大学院医学工学総合研究部 医学学域 第一内科、3) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学
- P1-066 C 型肝炎ウイルス (HCV) に阻害作用を示す物質の探索**  
深澤 秀輔<sup>1)</sup>、鈴木 哲朗<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>3)</sup>、村上 裕子<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 生物活性物質部、2) 浜松医科大学 医学部、3) 国立感染症研究所 ウィルス第二部
- P1-067 沖縄産ウミシダ (*Alloecomatella polycladia*) 抽出物の抗 HCV NS3 helicase 阻害活性による HCV 増殖抑制効果**  
山下 篤哉<sup>1)</sup>、古田 篤史<sup>2,3)</sup>、松田 泰嘉<sup>3)</sup>、谷 英典<sup>4)</sup>、藤田 統<sup>3)</sup>、秋光 信佳<sup>4)</sup>、田中 淳一<sup>5)</sup>、池田 正徳<sup>6)</sup>、加藤 宣之<sup>6)</sup>、前川 信哉<sup>7)</sup>、榎本 信幸<sup>7)</sup>、伊藤 正彦<sup>1)</sup>、常田 聡<sup>3)</sup>、関口 勇地<sup>2)</sup>、野田 尚宏<sup>2)</sup>  
1) 山梨大学大学院 医学工学総合研究部 微生物学、2) 産業技術総合研究所 生物機能工学研究部門、3) 早稲田大学大学院 先進理工学研究科 生命医科学専攻、4) 東京大学 アイソトープ総合センター、5) 琉球大学 理学部 海洋自然科学科、6) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学、7) 山梨大学大学院 医学工学総合研究部 第一内科

**P1-068 不活化 E 型肝炎ワクチンの検討**李 天成<sup>1)</sup>、方 荅<sup>1)</sup>、網 康至<sup>2)</sup>、須崎 百合子<sup>2)</sup>、宮村 達男<sup>1)</sup>、武田 直和<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 国立感染症研究所動物管理室、  
3) 大阪大学微生物病研究所、日本・タイ感染症共同研究センター**P1-069 多様な蛋白質組成下における E 型肝炎ウイルスの熱感受性に対する検討**田中 宏幸<sup>1)</sup>、高橋 一恵<sup>1)</sup>、大久保 祐士<sup>1)</sup>、服部 眞次<sup>1)</sup>、佐々木 祐子<sup>1)</sup>、辻川 宗男<sup>1,2)</sup>、柚木 幹弘<sup>1)</sup>、萩原 克郎<sup>2)</sup>、生田 和良<sup>3)</sup>1) 株式会社ベネシス 大阪研究所、2) 酪農学園大学獣医学部、3) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、  
4) 株式会社ベネシス 安全管理部**P1-070 Hepatic triglyceride lipase is a novel host factor affecting HCV infectivity**清水 裕子<sup>1)</sup>、日紫喜 隆行<sup>1)</sup>、杉山 和夫<sup>2)</sup>、舟見 健児<sup>1)</sup>、宇治野 真之<sup>1,3)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>、下遠野 邦忠<sup>1)</sup>1) 千葉工業大学 附属総合研究所、2) 慶應義塾大学 総合医科学研究センター、3) ウイルス肝炎研究財団、  
4) 千葉工業大学 工学部**P1-071 血液製剤における C 型肝炎ウイルスの不活化の検討**下池 貴志<sup>1)</sup>、野島 清子<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、岡田 義昭<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス二部、2) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部

**P1-072 神経病原性マウス肝炎ウイルス (MHV) の変異株 mu-3 の病原性の検討**

柿崎 正敏

創価大学 工学部 生命情報工学科

**P1-073 SARS コロナウイルス感染 hACE2Tg マウスの肺における初期宿主応答の解析**宇田 晶彦<sup>1)</sup>、棚林 清<sup>1)</sup>、永田 典代<sup>2)</sup>、藤田 修<sup>1)</sup>、堀田 明豊<sup>1)</sup>、山本 美江<sup>1)</sup>、山田 章雄<sup>1)</sup>

1) 感染研 獣医科学部、2) 感染研 感染病理部

**P1-074 SARS 発症マウスモデルにおける IFN- $\gamma$  の投与効果**永田 典代<sup>1)</sup>、岩田 奈織子<sup>1)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1)</sup>、佐藤 由子<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部

**P1-075 フィリピンにおけるコウモリコロナウイルスの検出および飼育食果コウモリを用いたウイルス感染実験**渡辺 俊平<sup>1,2)</sup>、Masangkay Joseph S<sup>3)</sup>、永田 典代<sup>4)</sup>、森川 茂<sup>5)</sup>、水谷 哲也<sup>5)</sup>、福士 秀悦<sup>5)</sup>、大松 勉<sup>5)</sup>、  
上田 直也<sup>6)</sup>、伊波 興一朗<sup>6)</sup>、谷口 怜<sup>6)</sup>、藤井 ひかる<sup>2)</sup>、津田 峻平<sup>2)</sup>、加藤 健太郎<sup>2)</sup>、遠矢 幸伸<sup>7)</sup>、  
久和 茂<sup>6)</sup>、吉川 泰弘<sup>6)</sup>、明石 博臣<sup>2)</sup>1) 九州大学大学院医学研究院 ウイルス学、2) 東京大 農 獣医微生物、3) フィリピン大、4) 国立感染症研究所 感染病理部、  
5) 国立感染症研究所 ウイルス第1部、6) 東京大 農 実験動物、7) 日本大学 生物資源科学部**P1-076 日本で初めて分離された欧州型豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルスの遺伝子解析及び国内浸潤状況調査**井関 博<sup>1)</sup>、高木 道浩<sup>1)</sup>、宮崎 綾子<sup>1)</sup>、黒田 淑子<sup>1)</sup>、三上 修<sup>2)</sup>、勝田 賢<sup>2)</sup>、恒光 裕<sup>1)</sup>

1) 動物衛生研究所 ウイルス病研究チーム、2) 動物衛生研究所 環境常在疾病研究チーム

**P1-077 SARS-CoV 感染動物モデルを用いた UV 不活化 SARS-CoV の副反応について**岩田 奈織子<sup>1)</sup>、永田 典代<sup>1)</sup>、辻 隆裕<sup>1)</sup>、長谷川 秀樹<sup>2)</sup>、佐藤 由子<sup>1)</sup>、横田 恭子<sup>3)</sup>、宇田 晶彦<sup>4)</sup>、  
水谷 哲也<sup>5)</sup>、西條 政幸<sup>5)</sup>、森川 茂<sup>5)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、3) 国立感染症研究所 免疫部、  
4) 国立感染症研究所 獣医科学部、5) 国立感染症研究所 ウイルス第一部

## 2日目 11月8日(月)

## 第1会場(1F ホール)

一般口演

9:00~10:15

## オルソミクソ(3)

座長：伊藤 壽啓(鳥取大学農学部)

小田切孝人(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)

## O2-1-01 高病原性鳥インフルエンザウイルス H5N1 はヒト呼吸器上皮細胞に対して広いトロピズムを示す

大道寺 智<sup>1)</sup>、Ibrahim Madiha S.<sup>2)</sup>、渡邊 洋平<sup>2)</sup>、上田 真世<sup>2)</sup>、楊 成松<sup>1,2)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>、中屋 隆明<sup>1)</sup>1) 大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター 高病原性感染症研究部門 ウイルス研究グループ、  
2) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野

## O2-1-02 “スペインかぜ” インフルエンザウイルス N1 型ノイラミニダーゼの low-pH 安定性とウイルス増殖に及ぼす影響

紅林 佑希<sup>1,2)</sup>、高橋 忠伸<sup>1,2)</sup>、福島 圭稜<sup>1,2)</sup>、河岡 義裕<sup>3)</sup>、鈴木 康夫<sup>4)</sup>、鈴木 隆<sup>1,2)</sup>1) 静岡県立大学 薬学部 生化学分野、2) 静岡県立大学 グローバル COE、  
3) 東京大学医科学研究所 ウイルス感染分野、4) 中部大学 生命健康科学部

## O2-1-03 台湾のニワトリから分離された低病原性 H5N2 インフルエンザウイルスの病原性獲得

曾田 公輔<sup>1)</sup>、Cheng Ming-Chu<sup>2,3)</sup>、遠藤 真由美<sup>1)</sup>、吉田 裕美<sup>1)</sup>、Lee Ming-Shiuh<sup>2)</sup>、Lee Shu-Hwae<sup>2)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、Wang Ching-Ho<sup>3)</sup>、喜田 宏<sup>1,4)</sup>1) 北海道大学 獣医学研究科 微生物、2) Animal Health Research Institute, Council of Agriculture, Executive Yuan、  
3) Department of Veterinary Medicine, National Taiwan University、4) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

## O2-1-04 H5N1 インフルエンザウイルス高病原性発揮のメカニズム

今井 博貴<sup>1,2)</sup>、新矢 恭子<sup>3)</sup>、高野 量<sup>1,2)</sup>、木曾 真紀<sup>1)</sup>、村本 裕紀子<sup>1,2)</sup>、坂部 沙織<sup>1,2)</sup>、村上 晋<sup>1)</sup>、伊藤 陸美<sup>1)</sup>、山田 晋弥<sup>1)</sup>、Mai Quynh Li<sup>1)</sup>、坂井 優子<sup>1)</sup>、高橋 慧<sup>1)</sup>、大森 康之<sup>1)</sup>、野田 岳志<sup>5)</sup>、下島 昌幸<sup>1)</sup>、角川 学士<sup>1)</sup>、五藤 秀男<sup>1)</sup>、岩附 研子<sup>1)</sup>、堀本 泰介<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>1,2,5)</sup>1) 東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、  
2) 独立行政法人 科学技術振興機構 ERATO 河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト、  
3) 神戸大学 医学部附属医学医療国際交流センター、4) ベトナムハノイ国立衛生疫学研究所、  
5) 東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター

## O2-1-05 2009 新型インフルエンザにおける宿主遺伝子発現 - DNA マイクロアレイによる解析-

山下 信子、斎藤 有希恵、津下 充、藤井 洋輔、長岡 義晴、八代 将登、塚原 宏一、森島 恒雄  
岡山大学 医歯薬学総合研究科 小児医科学

一般口演

10:15~11:30

## オルソミクソ(4)

座長：大内 正信(川崎医科大学医学部)

森島 恒雄(岡山大学大学院小児医科学)

## O2-1-06 パンデミックインフルエンザ A ウイルス(H1N1)ヘマグルチニンに対するモノクローナル抗体の性状解析

吉田 玲子<sup>1)</sup>、苔米地 大輔<sup>1)</sup>、五十嵐 学<sup>1)</sup>、宮本 洋子<sup>1)</sup>、加瀬 哲男<sup>2)</sup>、喜田 宏<sup>3,4,5)</sup>、高田 礼人<sup>1)</sup>1) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門、2) 大阪府立公衆衛生研究所 感染症部、  
3) 北海道大学 獣医学部 微生物学、4) OIE 高病原性鳥インフルエンザレファレンスラボラトリー、  
5) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

## O2-1-07 自然免疫系における核酸認識受容体を介したシグナルの新規調節因子と抗ウイルス作用

亀山 武志<sup>1)</sup>、早川 清雄<sup>1)</sup>、白鳥 聡一<sup>1,2)</sup>、大和 弘明<sup>1,3)</sup>、北辻 千展<sup>1)</sup>、榎木 美美<sup>1)</sup>、後藤 翔平<sup>1)</sup>、  
亀岡 章一郎<sup>1)</sup>、藤倉 大輔<sup>4)</sup>、水谷 龍明<sup>5)</sup>、数馬田 美香<sup>1)</sup>、佐藤 麻衣子<sup>1)</sup>、今村 雅寛<sup>2)</sup>、浅香 正博<sup>3)</sup>、  
大場 雄介<sup>5)</sup>、宮崎 忠昭<sup>4)</sup>、高岡 晃教<sup>1,6)</sup>1) 北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子生体防御、2) 北海道大学医学研究科血液内科、  
3) 北海道大学医学研究科消化器内科学分野、4) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、  
5) 北海道大学医学研究科病態医科学分野、6) 北海道大学遺伝子病制御研究所感染症センター

- 02-1-08 インフルエンザ感染におけるレドックス制御蛋白チオレドキシシン (TRX) の役割**  
八代 将登<sup>1)</sup>、藤井 洋輔<sup>1)</sup>、齊藤 有希恵<sup>1)</sup>、長岡 義晴<sup>1)</sup>、山下 信子<sup>1)</sup>、塚原 宏一<sup>1)</sup>、松川 明博<sup>2)</sup>、森島 恒雄<sup>1)</sup>  
1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 小児医科学、2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学 (免疫病理)
- 02-1-09 重症肺炎・急性脳症を併発した新型インフルエンザ小児例における炎症性メディエーターの検討**  
鳥居 ゆか<sup>1)</sup>、伊藤 嘉規<sup>1)</sup>、太田 里永子<sup>2)</sup>、河野 好彦<sup>1)</sup>、原 紳也<sup>3)</sup>、吉川 哲史<sup>4)</sup>、西村 直子<sup>5)</sup>、尾崎 隆男<sup>5)</sup>、木村 宏<sup>6)</sup>  
1) 名古屋大学大学院 小児科学、2) 名古屋市立大学大学院 免疫学、3) トヨタ記念病院 小児科、  
4) 藤田保健衛生大学 医学部 小児科、5) 江南厚生病院 こども医療センター、6) 名古屋大学大学院 ウイルス学
- 02-1-10 血管内皮細胞膜の透過性亢進の引き金を引く  
“インフルエンザサイトカイン-プロテアーゼサイクル” とインフルエンザ感染重症化**  
木戸 博、千田 淳司、Wang Siye、Pan Hai-Yan、Yao Min、山根 一彦  
徳島大学 疾患酵素学研究センター

## 一般口演

13:00~14:00

## オルソミクソ (5)

座長：多屋 馨子 (国立感染症研究所感染症情報センター)  
中屋 隆明 (大阪大学微生物病研究所)

- 02-1-11 唾液の抗インフルエンザウイルス活性**  
西川 智子<sup>1,2)</sup>、豊澤 恵子<sup>1)</sup>、黒田 和道<sup>4)</sup>、花田 信弘<sup>5)</sup>、山本 樹生<sup>1)</sup>、清水 一史<sup>1,3)</sup>  
1) 日本大学医学部産婦人科学分野、2) 鶴見大学歯学部口腔外科学第一講座、3) 日本大学医学部総合医学研究所、  
4) 日本大学医学部微生物学分野、5) 鶴見大学歯学部探索歯学講座
- 02-1-12 新型インフルエンザ脳症と季節型インフルエンザ脳症の臨床像の比較**  
長岡 義晴、斎藤 有希恵、藤井 洋輔、八代 将登、山下 信子、塚原 宏一、森島 恒雄  
岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科
- 02-1-13 北海道医療大学における新型インフルエンザの分子疫学**  
井上 恵美、前河 耕平、大澤 宜明、岡崎 克則  
北海道医療大学 薬学部 分子生命科学講座
- 02-1-14 新型インフルエンザの血中抗体価と症状調査**  
大黒 徹<sup>1)</sup>、武本 眞清<sup>1)</sup>、倉本 崇<sup>1,2)</sup>、吉田 与志博<sup>1)</sup>、松井 祥子<sup>3)</sup>、長谷川 ともみ<sup>4)</sup>、白木 公康<sup>1)</sup>  
1) 富山大学 医学部 ウイルス学、2) 富山大学 医学部 小児科、3) 富山大学保健管理センター、  
4) 富山大学 医学部保健学科 小児看護学

## 一般口演

14:00~15:00

## オルソミクソ (6)

座長：景山 誠二 (鳥取大学医学部)  
西藤 岳彦 (農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所)

- 02-1-15 愛知県で分離した新型インフルエンザウイルス AH1pdm の分子疫学的解析**  
安井 善宏、藤原 範子、小林 慎一、山下 照夫、藤浦 明、皆川 洋子  
愛知県衛生研究所 生物学部 ウイルス研究室
- 02-1-16 本格流行の4ヶ月間に同一地域6カ所の小学校で連続分離された  
2009年流行インフルエンザウイルスの伝播様式**  
常城 朱乃、景山 誠二  
鳥取大学 医学部 感染制御学講座 ウイルス学分野

**02-1-17 2009/10シーズンにおける抗インフルエンザ薬剤耐性 pandemic A/H1N1 株の検出と新規薬剤ペラミビルに対する交叉耐性**

高下 恵美<sup>1)</sup>、江島 美穂<sup>1)</sup>、藤崎 誠一郎<sup>1)</sup>、金 南希<sup>1)</sup>、岸田 典子<sup>1)</sup>、徐 紅<sup>1)</sup>、菅原 裕美<sup>1)</sup>、伊東 玲子<sup>1)</sup>、土井 輝子<sup>1)</sup>、本村 和嗣<sup>2)</sup>、佐藤 彩<sup>1)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>、氏家 誠<sup>1)</sup>、小淵 正次<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、小田切 孝人<sup>1)</sup>、全国 地方衛生研究所<sup>3)</sup>

1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、3) 全国地方衛生研究所

**02-1-18 オセルタミビル(Os)感受性季節性 H1N1、Os 耐性季節性 H1N1、及び Os 感受性新型 H1N1 に対するノイラミニダーゼ阻害剤の解熱効果**

鈴木 康司<sup>1)</sup>、齋藤 玲子<sup>1)</sup>、佐藤 勇<sup>2)</sup>、川島 崇<sup>3)</sup>、日比 成美<sup>4)</sup>、藤原 史博<sup>5)</sup>、生嶋 聡<sup>6)</sup>、橋田 哲夫<sup>7)</sup>、石谷 暢夫<sup>8)</sup>、小熊 妙子<sup>1)</sup>、山口 正浩<sup>1)</sup>、Dapat Clyde<sup>1)</sup>、Dapat Isolde<sup>1)</sup>、鈴木 貴子<sup>1)</sup>、近藤 大樹<sup>1)</sup>、鈴木 宏<sup>9)</sup>

1) 新潟大学大学院 歯学総合研究科 国際感染医学講座 公衆衛生学分野、2) よいこの小児科さとう、3) 川島内科クリニック、4) 日比小児科クリニック、5) ふじわら小児科内科医院、6) 生嶋こどもクリニック、7) はしだ小児科、8) 石谷小児科医院、9) 新潟青陵大学 看護福祉心理学部 看護学科

一般口演

15:00～16:00

オルソミクソ(7)

座長：迫田 義博(北海道大学大学院獣医学研究科)

信澤 枝里(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)

**02-1-19 タイ国中央部の豚で循環するインフルエンザウイルスの生態**

竹前 喜洋<sup>1,2)</sup>、Parchariyanon Sujira<sup>3)</sup>、Ruttanapumma Ruttapong<sup>3)</sup>、廣本 靖明<sup>1,2)</sup>、林 豪士<sup>1,2)</sup>、内田 裕子<sup>1,2)</sup>、津田 知幸<sup>1)</sup>、西藤 岳彦<sup>1,2)</sup>

1) 独) 農研機構 動物衛生研究所 人獣感染症研究チーム、2) 独) 農研機構 動物衛生研究所 人獣感染症共同研究センター、3) タイ家畜衛生研究所

**02-1-20 新型インフルエンザウイルス(H1N1pdm)の増殖性に関する検討**

浅沼 秀樹<sup>1)</sup>、信澤 枝里<sup>1)</sup>、白倉 雅之<sup>1)</sup>、許斐 奈美<sup>2)</sup>、山本 典生<sup>1)</sup>、中内 美名<sup>1)</sup>、網 康至<sup>1)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1)</sup>、相内 章<sup>1)</sup>、高下 恵美<sup>1)</sup>、小淵 正次<sup>1)</sup>、徐 紅<sup>1)</sup>、岸田 典子<sup>1)</sup>、小田切 孝人<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所、2) 日本大学・医(高橋医院)

**02-1-21 H3N2インフルエンザウイルス HA に付加された糖鎖は周辺エピトープを覆い隠していたか? ~糖鎖付加部位周辺アミノ酸残基の多様性変化の解析~**

五十嵐 学<sup>1)</sup>、高田 礼人<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>2,3,4)</sup>、伊藤 公人<sup>1,5)</sup>

1) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門、2) 北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室、3) OIE 高病原性鳥インフルエンザレファレンスラボラトリー、4) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、5) 科学技術振興機構 さきがけ

**02-1-22 インフルエンザウイルス抗原変異株出現のメカニズム**

信澤 枝里<sup>1)</sup>、中島 捷久<sup>2)</sup>、尾曲 克己<sup>2)</sup>、中島 節子<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2) 名古屋市立大学大学院医学研究科

一般口演

16:00～17:00

オルソミクソ(8)

座長：影山 努(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)

西村 秀一(国立病院機構仙台医療センター)

**02-1-23 エジプトで流行する H5N1 高病原性鳥インフルエンザウイルスのヒト型レセプター結合親和性獲得に関与する変異**

渡邊 洋平<sup>1)</sup>、Madiha S. Ibrahim<sup>1,4)</sup>、川下 理日人<sup>2)</sup>、Hany F. Ellakany<sup>4)</sup>、Nongluk Sriwilaijaroen<sup>3,5)</sup>、平松 宏明<sup>3)</sup>、鈴木 康夫<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>

1) 大阪大学微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) 大阪大学 微生物病研究所附属遺伝情報実験センター ゲノム情報解析分野、3) 中部大学生命健康科学部生命医科学科、4) Faculty of Veterinary Medicine, Alexandria University, Egypt、5) Faculty of Medicine, Thammasat University, Thailand

**02-1-24 超高速 RT-PCR による迅速亜型診断系の確立**

櫻井 陽

(財)東京都医学研究機構 東京都臨床医学総合研究所

**02-1-25 新型および季節性インフルエンザの迅速鑑別診断のための RT-LAMP 法パネルの開発と、その臨床応用の研究**久保 亨<sup>1)</sup>、Le. Q. Mai<sup>2)</sup>、吾郷 昌信<sup>3)</sup>、福島 喜代康<sup>4)</sup>、西村 秀一<sup>5)</sup>、吉川 亮<sup>3)</sup>、山口 顕徳<sup>3)</sup>、平野 学<sup>3)</sup>、井手 昇太郎<sup>4)</sup>、河野 茂<sup>6)</sup>、長谷部 太<sup>1)</sup>、森田 公一<sup>1)</sup>1) 長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野、2) National Institute of Hygiene and Epidemiology, Vietnam、  
3) 長崎県環境保健研究センター、4) 日本赤十字社 長崎原爆諫早病院、  
5) 国立病院機構 仙台医療センター 臨床研究部ウイルスセンター、6) 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 感染免疫学講座**02-1-26 三重鎖形成型ペプチド核酸を用いたインフルエンザウイルスの新規診断法**開発 邦宏<sup>1)</sup>、澤田 慎二郎<sup>1)</sup>、加藤 修雄<sup>1)</sup>、中村 昇太<sup>2)</sup>、安永 照雄<sup>2)</sup>、後藤 直久<sup>2)</sup>、中屋 隆明<sup>3)</sup>1) 大阪大学 産業科学研究所 医薬品化学研究分野、2) 大阪大学 微生物病研究所 附属遺伝情報実験センター、  
3) 大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター**シンポジウム5**

17:45～20:00

**革新的技術を応用した次世代ウイルス研究の展望**座長：梁 明秀 (横浜市立大学医学部)  
岩谷 靖雅 (国立病院機構名古屋医療センター)**S5-1 無細胞系を用いた機能プロテオミクス技術とウイルス研究への応用**

澤崎 達也

愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター

**S5-2 Zinc Finger 融合酵素を用いた革新的ウイルスゲノム改変技術の開発**

野村 渉

東京医科歯科大学生体材料工学研究所

**S5-3 NMR シグナルを用いた抗ウイルス因子活性のリアルタイムモニタリング**

片平 正人

京都大学エネルギー理工学研究所

**S5-4 多能性幹細胞を用いた免疫細胞療法**

千住 覚

熊本大学大学院生命科学研究部

**S5-5 Use of Digital Transcriptome Subtraction to identify A Human Tumor Virus**

習田 昌裕

ピッツバーグ大学がん研究所

**第2会場(4F 大会議室)****一般口演**

9:00～10:15

**レンチウイルス(3)**座長：駒野 淳 (国立感染症研究所エイズ研究センター)  
佐久間龍太 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)**02-2-01 HIV-1 MA 蛋白質と強く結合する低分子化合物の探索**安楽 健作<sup>1)</sup>、福田 亮太<sup>2)</sup>、大塚 雅巳<sup>2)</sup>、藤田 美歌子<sup>3)</sup>1) 熊本保健科学大学 保健科学部 衛生技術学科、2) 熊本大学大学院 生命科学研究部 生体機能分子合成学分野、  
3) 熊本大学 薬学部附属創薬研究センター

- 02-2-02 CypA 非依存的に増殖する HIV-1 変異株の分離**  
竹村 太地郎、川又 美弥子、村上 努  
国立感染症研究所エイズ研究センター
- 02-2-03 HIV-1 Gag/GagPol 蛋白の発現比率と相関する成熟産物の細胞内局在と粒子産生効率**  
原口 日和、周東 翔、森川 裕子  
北里大学大学院 感染制御科学府
- 02-2-04 HIV-1 インテグラーゼの細胞内多量体形成能評価系の確立**  
宮野 正史<sup>1)</sup>、林 隆也<sup>1)</sup>、望月 和歌菜<sup>1)</sup>、長谷川 温彦<sup>1)</sup>、小柳 義夫<sup>2)</sup>、神奈木 真理<sup>1)</sup>、増田 貴夫<sup>1)</sup>  
1) 東京医科歯科大学 大学院 歯医学総合研究科 免疫治療学分野、  
2) 京都大学 ウイルス研究所 ヒトレトロウイルス研究施設 ウイルス病態研究領域
- 02-2-05 HIV-1 preintegration complex 構成因子である integrase を標的としたプロテオーム解析**  
岸本 直樹<sup>1)</sup>、井上 睦美<sup>1)</sup>、高宗 暢暁<sup>2)</sup>、杉本 幸彦<sup>2)</sup>、庄司 省三<sup>2,3)</sup>、三隅 将吾<sup>2)</sup>  
1) 熊本大学大学院 薬学教育部 薬学生化学分野、2) 熊本大学大学院 生命科学部 薬学生化学分野、3) 熊本保健科学大学

## 一般口演

10:15 ~ 11:30

## レンチウイルス (4)

座長：岩谷 靖雅 (国立病院機構名古屋医療センター)  
中山 英美 (大阪大学微生物病研究所)

- 02-2-06 アカゲザル TRIM5 $\alpha$ からの HIV-1 エスケープクローンの解析**  
佐久間 龍太<sup>1)</sup>、助川 明香<sup>1)</sup>、大嶺 青河<sup>2)</sup>、山岡 昇司<sup>1)</sup>、池田 靖弘<sup>2)</sup>  
1) 東京医科歯科大学 歯医学総合研究科 ウイルス制御学分野、2) Department of Molecular Medicine, Mayo Clinic
- 02-2-07 アカゲザル TRIM5 $\alpha$  (Rht5 $\alpha$ ) による HIV-1 産生阻害に対する SOCS1 タンパク質の影響**  
助川 明香<sup>1)</sup>、佐久間 龍太<sup>1)</sup>、大嶺 青河<sup>2)</sup>、池田 靖弘<sup>2)</sup>、山岡 昇司<sup>1)</sup>  
1) 東京医科歯科大学 歯医学総合研究科 ウイルス制御学分野、2) Department of Molecular Medicine, Mayo Clinic
- 02-2-08 アカゲザル TRIM5 $\alpha$ は HIV-2/SIVmac キャプシドの複数領域を認識する**  
河野 健<sup>1)</sup>、横山 勝<sup>2)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>、塩田 達雄<sup>1)</sup>、中山 英美<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス感染制御分野、2) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- 02-2-09 HIV-1 Vif による細胞周期遅延反応の分子生物学的機序とそのウイルス学的意義の解明**  
泉 泰輔<sup>1,2)</sup>、井尾 克宏<sup>1)</sup>、松井 道志<sup>1)</sup>、篠原 正信<sup>1)</sup>、三沢 尚子<sup>3)</sup>、小柳 義男<sup>3)</sup>、高折 晃史<sup>1)</sup>  
1) 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学、2) 財団法人 エイズ予防財団、  
3) 京都大学ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域
- 02-2-10 HIV-1 及び SIV Nef の低発現性がウイルスの感染性増強に与える影響**  
原田 圭輔<sup>1)</sup>、入坂 由香梨<sup>1)</sup>、山本 充奈美<sup>1)</sup>、三隅 将吾<sup>1)</sup>、杉本 幸彦<sup>1)</sup>、庄司 省三<sup>1,2)</sup>、高宗 暢暁<sup>1)</sup>  
1) 熊本大学 大学院 生命科学部 薬学生化学分野、2) 熊本保健科学大学

## 一般口演

13:00 ~ 14:00

## レンチウイルス (5)

座長：徳永 研三 (国立感染症研究所感染病理部)  
梁 明秀 (横浜市立大学医学部)

- 02-2-11 HIV-1 Vpu 相互作用に必須な tetherin/Bst-2 膜貫通領域アミノ酸の同定**  
小林 朋子、芳田 剛、佐藤 佳、Peter Gee、山元 誠司、蝦名 博貴、小柳 義夫  
京都大学 ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域
- 02-2-12 HIV-1 Vpu による BST-2/tetherin の機能阻害に関与する cofactor の検索**  
岩部 幸枝<sup>1)</sup>、藤田 英明<sup>2)</sup>、田中 嘉孝<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>、徳永 研三<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 九州大学大学院 薬学研究院 細胞生物薬学分野



02-2-13 包括的キノーム解析による HIV-1 Vpu のリン酸化調節機構の解明

宮川 敬<sup>1,2)</sup>、澤崎 達也<sup>3)</sup>、松永 智子<sup>1)</sup>、山下 暁朗<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>4)</sup>、梁 明秀<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学医学部微生物学、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター、  
4) シンガポール大学医学部微生物学

02-2-14 ESCRT-0 エンドソーム因子 HRS の強発現により、BST-2 はエンドサイトーシスされる

星野 悠、奥長 浩之、森川 裕子

北里大学大学院 感染制御科学府

一般口演

14:00 ~ 15:00

レンチウイルス (6)

座長：塩田 達雄 (大阪大学微生物病研究所)

横田 (恒次) 恭子 (国立感染症研究所免疫部)

02-2-15 サル指向性 HIV-1 CA の1アミノ酸変異はサル細胞での増殖を促進する

土肥 直哉<sup>1)</sup>、齊藤 暁<sup>2)</sup>、明里 宏文<sup>2)</sup>、藤原 佐知<sup>1)</sup>、三宅 在子<sup>1)</sup>、横山 勝<sup>3)</sup>、大出 裕高<sup>3)</sup>、佐藤 裕徳<sup>3)</sup>、  
足立 昭夫<sup>1)</sup>、野間口 雅子<sup>1)</sup>

1) 徳島大学 大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野、2) 京都大学霊長類研究所・人類進化モデル研究センター、  
3) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

02-2-16 アカゲザルに存在する抗 HIV-1 因子 TRIM5 $\alpha$  と tetherin を回避するサル細胞指向性 HIV-1 の構築

野間口 雅子<sup>1)</sup>、土肥 直哉<sup>1)</sup>、藤原 佐知<sup>1)</sup>、三宅 在子<sup>1)</sup>、横山 勝<sup>2)</sup>、大出 裕高<sup>2)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>、足立 昭夫<sup>1)</sup>

1) 徳島大学 大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野、2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

02-2-17 HIV-1 Vpr と宿主細胞周期制御因子 WEE1 との細胞内相互作用の可視化

増田 道明、篠崎 由季、加藤 里実、水越 文徳

獨協医科大学 医学部 微生物学講座

02-2-18 HIV-1 タンパク質群は M2 マクロファージにより強く作用する

鈴 伸也、千原 隆、橋本 倫拓、日吉 真照

熊本大学 エイズ学研究センター

一般口演

15:00 ~ 16:00

レンチウイルス (7)

座長：有吉 紅也 (長崎大学熱帯医学研究所)

俣野 哲朗 (東京大学医科学研究所)

02-2-19 日本人慢性 HIV-1 感染者における HIV-1 特異的 CD4 T 細胞の解析

小柳 円、村越 勇人、滝口 雅文

熊本大学エイズ学研究センター 滝口プロジェクト研究室

02-2-20 日本人慢性 HIV-1 感染者における HIV-1 特異的 CTL 反応の解析

村越 勇人、小柳 円、滝口 雅文

熊本大学エイズ学研究センター 滝口プロジェクト研究室

02-2-21 免疫逃避変異と交差反応性を有する HIV-1 特異的細胞傷害性 T 細胞 (CTL) の解析

赤星 智寛、滝口 雅文

熊本大学 エイズ学研究センター 滝口プロジェクト研究室

02-2-22 日本人 HIV-1 慢性感染者における HLA-Associated Polymorphism の解析

近田 貴敬、端本 昌夫、田村 美子、Borghan Mohamed Ali、成戸 卓也、滝口 雅文

熊本大学 エイズ学研究センター 滝口プロジェクト研究室

## 一般口演

16:00～17:00

## レンチウイルス(8)

座長：明里 宏文(京都大学霊長類研究所)  
滝口 雅文(熊本大学エイズ学研究センター)

- 02-2-23 強い HIV-1 増殖抑制能を有した HLA-Cw \* 1202 拘束性細胞傷害性 T 細胞による逃避変異ウイルスの選択**  
本田 一貴、Nan Zheng、村越 勇人、端本 昌夫、阪井 恵子、小柳 円、近田 貴敬、田村 美子、Borgham M Ali、滝口 雅文  
熊本大学 エイズ学研究センター
- 02-2-24 予防エイズワクチンによる CTL dominancy の変化**  
石井 洋<sup>1)</sup>、岩本 南<sup>1)</sup>、成瀬 妙子<sup>2)</sup>、木村 彰方<sup>2)</sup>、俣野 哲朗<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター、2) 東京医科歯科大学 難治疾患研究所
- 02-2-25 自然感染で優位な Gag 特異的 CTL が誘導されない MHC-I ハプロタイプ共有サル群における Gag 特異的 CTL 誘導ワクチン効果の解析**  
高橋 尚史<sup>1)</sup>、石井 洋<sup>1)</sup>、高原 悠佑<sup>1)</sup>、成瀬 妙子<sup>2)</sup>、木村 彰方<sup>2)</sup>、俣野 哲朗<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター、2) 東京医科歯科大学 難治疾患研究所
- 02-2-26 サルエイズモデルにおける HAART 実施前後の CTL 反応の比較**  
高原 悠佑<sup>1)</sup>、松岡 佐織<sup>1)</sup>、石井 洋<sup>1)</sup>、堀池 麻里子<sup>2)</sup>、三浦 智行<sup>2)</sup>、五十嵐 樹彦<sup>2)</sup>、俣野 哲朗<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター、2) 京都大学 ウイルス研究所

## シンポジウム6

17:45～20:00

## ウイルス培養系を用いた C 型肝炎ウイルスの性状と病原性の解明

座長：堀田 博(神戸大学大学院医学研究科)  
協田 隆字(国立感染症研究所ウイルス第二部)

- S6-1 HCV の増殖適応変異とその意義**  
加藤 孝宣  
国立感染症研究所ウイルス第二部
- S6-2 HCV 粒子形成と脂質の役割**  
相崎 英樹  
国立感染症研究所ウイルス第二部
- S6-3 HCV による脂質代謝障害の分子機序**  
森石 恆司  
山梨大学医学部
- S6-4 HCV による糖代謝障害の分子機序**  
勝二 郁夫  
神戸大学大学院医学研究科
- S6-5 癌抑制因子と HCV のクロストーク**  
有海 康雄  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
- S6-6 臨床分離 HCV 株の培養と性状**  
土方 誠  
京都大学ウイルス研究所



第3会場(4F 会議室2・3・4)

一般口演

9:00~10:15

ヘルペス(5)

座長：木村 宏(名古屋大学大学院医学系研究科)  
丸尾 聖爾(北海道大学遺伝子病制御研究所)

- 02-3-01 EB ウイルス BGLF5のヌクレアーゼ活性とシャットオフ活性のウイルス学的検討**  
村田 貴之、遠山 恵則、中山 早苗、鶴見 達也  
愛知県がんセンター 研究所 腫瘍ウイルス学部
- 02-3-02 EBV ポリメラーゼ付随蛋白質の4量体形成の tail-to-tail 結合はウイルス複製に重要である**  
中山 早苗<sup>1,2)</sup>、村田 貴之<sup>1)</sup>、安井 善宏<sup>3)</sup>、村山 和隆<sup>4)</sup>、鶴見 達也<sup>1)</sup>  
1)愛知県がんセンター腫瘍ウイルス学部、2)フロリダ大学 医学部、3)愛知県衛生研究所 ウイルス部、  
4)東北大学 先進理工学研究機構
- 02-3-03 ERM/BiFC system を用いた EBV Latent membrane 会合宿主分子の包括的解析**  
安居 輝人、多田 智、森田 健太郎、水井 理之、菊谷 仁  
大阪大学 微生物病研究所 分子免疫制御分野
- 02-3-04 EBNA2欠損 EB ウイルスを保持する Daudi バーキットリンパ腫細胞株には Wp 型潜伏感染を示すものとI型潜伏感染を示すものが存在する**  
渡邊 亜美、丸尾 聖爾、高田 賢蔵  
北海道大学 遺伝子病制御研究所 癌ウイルス分野
- 02-3-05 EB ウイルス潜伏感染細胞内における EBNA1 蛋白質結合細胞性因子の解析**  
神田 輝、鶴見 達也  
愛知県がんセンター研究所 腫瘍ウイルス学部

一般口演

10:15~11:30

パラミクソ(1)

座長：甲斐知恵子(東京大学医科学研究所)  
鶴留 雅人(三重大学大学院医学系研究科)

- 02-3-06 麻疹ウイルス H タンパク質アミノ酸546番目のグリシン変異における上皮細胞への感染性および機能変化**  
關 文緒、染谷 健二、田原 舞乃、中津 祐一郎、駒瀬 勝啓、竹田 誠  
国立感染症研究所 ウイルス第三部
- 02-3-07 マウス神経細胞の麻疹ウイルス感染**  
古賀 律子、池亀 聡、大野 真治、渡辺 俊平、柳 雄介  
九州大学 大学院 医学研究院 ウイルス学
- 02-3-08 麻疹ウイルスの神経細胞間の伝播機序**  
甲斐 知恵子<sup>1)</sup>、寺尾 由里<sup>1)</sup>、鈴木 郁郎<sup>2)</sup>、小見 未央<sup>1)</sup>、相良 洋<sup>3)</sup>、寺園 英之<sup>4)</sup>、安田 賢二<sup>2)</sup>、米田 美佐子<sup>1)</sup>  
1)東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設、2)東京医科歯科大学生体材料工学研究所システム研究部門 情報分野、  
3)東京大学 医科学研究所 疾患プロテオミクスラボラトリー、  
4)神奈川科学技術アカデミー 安田「1細胞分子計測」プロジェクト
- 02-3-09 パラインフルエンザウイルスの膜融合誘導における受容体結合蛋白と膜融合蛋白の相互作用**  
鶴留 雅人<sup>1)</sup>、西尾 真智子<sup>1)</sup>、伊藤 守弘<sup>2)</sup>、河野 光雄<sup>1)</sup>、野阪 哲哉<sup>1)</sup>、駒田 洋<sup>3)</sup>、伊藤 康彦<sup>2)</sup>  
1)三重大学 大学院医学系研究科 病態解明医学講座 感染症制御医学・分子遺伝学分野、  
2)中部大学 生命健康科学部 生命医科学科 微生物・感染症研究分野、3)鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療栄養学
- 02-3-10 イヌジステンパーウイルス H タンパク質と受容体 SLAM との分子認識**  
伊藤 由梨<sup>1)</sup>、福原 秀雄<sup>1)</sup>、酒匂 幸<sup>2)</sup>、橋口 隆生<sup>3)</sup>、梶川 瑞穂<sup>2)</sup>、竹田 誠<sup>4)</sup>、柳 雄介<sup>3)</sup>、前仲 勝実<sup>1)</sup>  
1)北海道大学 薬学研究院 生体分子機能学、2)九州大学 生体防御医学研究所、3)九州大学大学院医学研究院 ウイルス学、  
4)国立感染症研究所

## 一般口演

13:00～14:00

## パラミクソ(2)

座長：加藤 篤(国立感染症研究所ウイルス第三部)  
竹田 誠(国立感染症研究所ウイルス第三部)

## 02-3-11 麻疹ウイルス M 蛋白の粒子形成に関わる機能領域の解析

脇本 浩史<sup>1)</sup>、下堂 正勝<sup>1)</sup>、竹内 薫<sup>2)</sup>、伊藤 正恵<sup>1)</sup>

1)長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科 微生物学、2)筑波大学大学院 人間総合科学研究科

## 02-3-12 麻疹ウイルスワクチン株 AIK-C、FF-8、CAM-70 の効率的なウイルス RNA 合成と AIK-C P 蛋白による感染性ウイルス産生の抑制

扇本 真治<sup>1)</sup>、Bhatta Luna<sup>1)</sup>、加藤 誠一<sup>2)</sup>、綾田 稔<sup>1)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>3)</sup>、竹内 薫<sup>2)</sup>、庵原 俊昭<sup>4)</sup>、小倉 壽<sup>1)</sup>1)大阪市立大学大学院 医学研究科 ウイルス学、2)筑波大学大学院 人間総合科学研究科、  
3)国立感染症研究所 ウイルス第三部、4)国立病院機構三重病院 小児科

## 02-3-13 ヒトパラインフルエンザ 2 型ウイルス (hPIV2) L 蛋白の転写能に必須であるアミノ酸の同定

西尾 真智子、鶴留 雅人、野阪 哲哉

三重大学大学院医学系研究科 病態解明医学講座 感染症制御医学・分子遺伝学分野

## 02-3-14 ムンプスウイルス SH タンパク質はウイルス感染 Vero 細胞の細胞死を抑制する

竹内 薫、西江 友美、加藤 誠一、永田 恭介

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 生命システム医学

## 一般口演

14:00～15:00

## パラミクソ(3)

座長：後藤 敏(滋賀医科大学医学部)  
坂口 剛正(広島大学大学院医歯薬学総合研究科)

## 02-3-15 パラミクソウイルス V 蛋白質は TRAF6 による IRF7 のユビキチン化を阻害する

北川 善紀<sup>1)</sup>、山口 まゆ<sup>1,2)</sup>、周 敏<sup>1)</sup>、小松 孝行<sup>3)</sup>、竹内 健司<sup>4)</sup>、西尾 真智子<sup>5)</sup>、伊藤 正恵<sup>2)</sup>、後藤 敏<sup>1)</sup>1)滋賀医科大学病理学講座微生物感染症学部門、2)長浜バイオ大学 バイオサイエンス 微生物研究室、  
3)愛知医科大学 医学部 微生物・免疫学講座、4)福井大学 医学部 病因病態医学講座 微生物学領域、  
5)三重大学 医学部 微生物学講座

## 02-3-16 パラミクソウイルス V 蛋白質による自然免疫誘導抑制機構の解明(2)

入江 崇、五十嵐 友季、吉田 明日香、川端 涼子、坂口 剛正

広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 ウイルス学研究室

## 02-3-17 センダイウイルスアクセサリー蛋白質 V と C の宿主細胞内増殖に及ぼす影響

加藤 篤、永田 志保、久保田 耐、竹田 誠

国立感染症研究所 ウイルス第3部

## 02-3-18 センダイウイルス C 蛋白質による TLR7/9 シグナル伝達の阻害

山口 まゆ<sup>1,2)</sup>、北川 善紀<sup>1)</sup>、周 敏<sup>1)</sup>、小松 孝行<sup>3)</sup>、竹内 健司<sup>4)</sup>、伊藤 正恵<sup>2)</sup>、後藤 敏<sup>1)</sup>1)滋賀医科大学 病理学講座 微生物感染症学部門、2)長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 微生物学研究室、  
3)愛知医科大学 医学部 微生物免疫学講座、4)福井大学 医学部 病因病態医学講座 微生物学領域

## 一般口演

15:00～16:00

## パラミクソ(4)

座長：伊藤 正恵(長浜バイオ大学バイオサイエンス学部)  
竹内 薫(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

## 02-3-19 センダイウイルス C タンパク質は麻疹ウイルスのマウス培養細胞での増殖を促進する

岩崎 正治、池亀 聡、白銀 勇太、柳 雄介

九州大学 大学院 医学研究院 ウイルス学



02-3-20 麻疹ウイルスアクセサリ蛋白質 C による STAT1 二量体化の阻害と IRF-1 発現誘導の抑制

横田 伸一、岡林 環樹、藤井 暢弘  
札幌医科大学 医学部 微生物学講座

02-3-21 麻疹ウイルス主要表面抗原 H タンパク質の抗原性変化

田原 舞乃<sup>1)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>1)</sup>、染谷 健二<sup>1)</sup>、関 文緒<sup>1)</sup>、中津 祐一郎<sup>1)</sup>、藤井 薫<sup>1)</sup>、柳 雄介<sup>2)</sup>、竹田 誠<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第3部、2) 九州大学大学院医学研究院 ウイルス学

02-3-22 麻疹ウイルスによるインフラマゾーム制御機構の解析

小宗 徳孝、一戸 猛志、岩崎 正治、伊藤 美菜子、柳 雄介  
九州大学 大学院 医学研究院 ウイルス学

一般口演

16:00 ~ 17:00

パラミクソ (5)

座長：小松 孝行 (愛知医科大学医学部)  
堤 裕幸 (札幌医科大学医学部)

02-3-23 RS ウイルス感染によるヒト鼻粘膜上皮細胞のシグナル応答

正木 智之<sup>1,2)</sup>、小島 隆<sup>2)</sup>、平川 賢史<sup>2,4)</sup>、岡林 環樹<sup>3)</sup>、藤井 暢弘<sup>3)</sup>、堤 裕幸<sup>4)</sup>、澤田 典均<sup>2)</sup>、氷見 徹夫<sup>1)</sup>  
1) 札幌医科大学 耳鼻咽喉科、2) 札幌医科大学 病理学第二講座、3) 札幌医科大学 微生物学講座、4) 札幌医科大学小児科

02-3-24 RS ウイルス感染鼻粘膜上皮細胞における III 型インターフェロンの重要性

岡林 環樹<sup>1)</sup>、小島 隆<sup>2)</sup>、正木 智之<sup>3)</sup>、横田 伸一<sup>1)</sup>、堤 裕幸<sup>4)</sup>、氷見 徹夫<sup>3)</sup>、澤田 典均<sup>2)</sup>、藤井 暢弘<sup>1)</sup>  
1) 札幌医科大学 医学部 微生物学講座、2) 札幌医科大学 医学部 病理学第二講座、3) 札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科学講座、4) 札幌医科大学 医学部 小児科学講座

02-3-25 SSPE Kobe-1 マウスモデルの神経病変にはアポトーシスが関与する

井出 良浩、姜 大鵬、勝二 郁夫、堀田 博  
神戸大学 医学研究科 感染症センター 微生物学分野

02-3-26 SLAM-blind 牛痘ウイルスの動物感染モデルでの病原性の解析

米田 美佐子、矢野 恵梨子、小見 美央、杉山 貴紹、中村 俊之、上間 亜希子、甲斐 千恵子  
東京大学 医科学研究所

シンポジウム7

17:45 ~ 20:00

アクセサリ蛋白質の多彩な機能

座長：坂口 剛正 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科)  
小柳 義夫 (京都大学ウイルス研究所)

S7-1 HIV Vpr/Vpx 蛋白質の役割

藤田 美歌子  
熊本大学薬学部附属創薬研究センター

S7-2 HIV のアクセサリ蛋白質 Vpu とその阻害蛋白テザリン

小柳 義夫  
京都大学ウイルス研究所

S7-3 HTLV-1 アクセサリ遺伝子 HBZ の機能と意義

松岡 雅雄  
京都大学ウイルス研究所

S7-4 宿主インターフェロンシステムとパラミクソウイルスアクセサリ蛋白質

後藤 敏  
滋賀医科大学医学部

S7-5 パラミクソウイルスアクセサリ蛋白質の多機能性

入江 崇  
広島大学大学院医歯薬学総合研究科

## 第4会場(4F 会議室5)

一般口演

9:00~10:15

ボルナ

座長：西野 佳以(京都産業大学総合生命科学部)  
水谷 哲也(国立感染症研究所ウイルス第一部)

- 02-4-01** ボルナ病ウイルスの核内寄生メカニズムの解明  
松本 祐介、堀江 真行、大東 卓史、藤野 寛、朝長 啓造  
大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- 02-4-02** ボルナ病ウイルスのインテグレーションに関する研究  
堀江 真行<sup>1)</sup>、本田 知之<sup>2)</sup>、大東 卓史<sup>1)</sup>、藤野 寛<sup>1)</sup>、松本 祐介<sup>1)</sup>、朝長 啓造<sup>1)</sup>  
1)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2)東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設
- 02-4-03** ボルナ病ウイルス膜糖蛋白質と粒子形成機構の解析  
大東 卓史、堀江 真行、藤野 寛、松本 祐介、朝長 啓造  
大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- 02-4-04** マトリックス及びエンベロープ遺伝子欠損型ボルナウイルスベクターの構築  
藤野 寛、大東 卓史、堀江 真行、松本 祐介、朝長 啓造  
大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- 02-4-05** わが国における鳥ボルナウイルスの持続感染  
堀江 真行<sup>1)</sup>、上田 謙吾<sup>2)</sup>、上田 亜希子<sup>2)</sup>、大東 卓史<sup>1)</sup>、藤野 寛<sup>1)</sup>、松本 祐介<sup>1)</sup>、朝長 啓造<sup>1)</sup>  
1)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2)フォーゲル動物病院

一般口演

10:15~11:30

ポリオーマ、パピローマ

座長：酒井 博幸(京都大学ウイルス研究所)  
中西 章(国立長寿医療研究センター老化制御研究部)

- 02-4-06** PGMY リバースプロットング法による我が国の HPV 遺伝子型分布の調査  
終元 巖<sup>1)</sup>、松尾 理加<sup>1)</sup>、近藤 一成<sup>2)</sup>、神田 忠仁<sup>3)</sup>  
1)国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、2)NTT 東日本関東病院 産婦人科、  
3)理化学研究所 新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター
- 02-4-07** Bowen 病における human papillomavirus 感染の検討  
清水 晶<sup>1)</sup>、田村 敦志<sup>1)</sup>、竹内 裕子<sup>1)</sup>、石川 治<sup>1)</sup>、中谷 陽子<sup>2)</sup>、星野 洪郎<sup>2)</sup>  
1)群馬大学 医学部 皮膚科、2)群馬大学 医学部 分子予防医学
- 02-4-08** 進行性多巣性白質脳症が疑われた血液疾患患者の脳脊髄液における JC ポリオーマウイルスゲノム DNA の検出  
中道 一生<sup>1)</sup>、伊藤(高山) 陸代<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>  
国立感染症研究所 ウイルス第一部
- 02-4-09** HIV-1 Tat は PML 型 JCV の増殖を促進する  
奴久妻 聡一<sup>1)</sup>、中道 一生<sup>2)</sup>、亀岡 正典<sup>3)</sup>、杉浦 重樹<sup>4)</sup>、奴久妻 智代子<sup>1)</sup>、三好 勇夫<sup>5)</sup>、竹上 勉<sup>6)</sup>  
1)神戸市環境保健研究所 微生物部、2)国立感染症研究所 ウイルス第一部 第三室、  
3)大阪大学 微生物病研究所 日本・タイ感染症共同研究センター、4)奈良県立医科大学 組換え DNA 実験施設、  
5)高知大学 医学部 内科、6)金沢医科大学 総合医学研究所 分子腫瘍学研究部門
- 02-4-10** SV40 の感染増殖過程で Vp4 が果たす機能の再検討  
中西 章、丹下 正一朗  
国立長寿医療研究センター

## 一般口演

13:00～14:00

## その他のレトロ(1)

座長：増田 道明(獨協医科大学医学部)  
安田 二郎(科学警察研究所法科学第一部)

- 02-4-11 マウス白血病ウイルスのスプライシング制御領域の解析  
待永 明仁、高瀬 明  
創価大学 工学部 生命情報工学科
- 02-4-12 マウスレトロウイルスアクセサリー蛋白 Glycosylated Gag による外被蛋白 SU の発現制御機構  
藤澤 隆一、増田 道明  
獨協医科大学 医学部 微生物学講座
- 02-4-13 ガンマレトロウイルスのゲノムパッケージングに必要とされる RNA 因子の立体構造解析  
宮崎 恭行、Michael F. Summers  
Howard Hughes Medical Institute at University of Maryland Baltimore County
- 02-4-14 SFFV Env と FV-2 産物複合体の構造および機能解析  
梅原 大吾、渡部 伸也、穴井 友加里、越智 春陽、西垣 一男  
山口大学 農学部 獣医学科 感染免疫学研究室

## 一般口演

14:00～15:00

## その他のレトロ(2)

座長：藤澤 隆一(獨協医科大学医学部)  
古田 里佳(大阪府赤十字血液センター研究部)

- 02-4-15 XMRV の XC 細胞におけるエンドソーム依存性かつ、その酸性化を必要としない感染機構について  
久保 嘉直<sup>1)</sup>、神山 陽香<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>1,2)</sup>  
1)長崎大学 熱帯医学研究所 エイズ感染防御分野、2)国立シンガポール大学 医学部 微生物学講座
- 02-4-16 Xenotropic murine leukemia virus-related virus (XMRV) 抗体特異性の解析  
古田 里佳<sup>1)</sup>、杉山 武毅<sup>2)</sup>、宮沢 孝幸<sup>3)</sup>、佐藤 英次<sup>3)</sup>、倉恒 弘彦<sup>4)</sup>、保井 一太<sup>1)</sup>、平山 文也<sup>1)</sup>  
1)大阪府赤十字血液センター研究部、2)兵庫県西脇市立西脇病院 泌尿器科、3)京都大学ウイルス研究所 信号伝達学研究分野、4)大阪市立大学大学院医学研究科 疲労クリニカルセンター
- 02-4-17 新規レトロウイルス XMRV の検出法と性状解析  
岡田 義昭、水澤 左衛子、野島 清子、浜口 功  
国立感染症研究所 血液・安全性研究部
- 02-4-18 慢性疲労症候群患者血液における xenotropic murine leukemia virus-related virus の核酸調査  
佐藤 英次<sup>1)</sup>、古田 里佳<sup>2)</sup>、倉恒 弘彦<sup>3)</sup>、庄嶋 貴之<sup>1)</sup>、中富 康仁<sup>3)</sup>、保井 一太<sup>2)</sup>、宮沢 孝幸<sup>1)</sup>  
1)京都大学 ウイルス研究所 細胞生物学研究部門 信号伝達学研究分野、2)大阪府赤十字血液センター、3)大阪市立大学医学部疲労クリニカルセンター

## 一般口演

15:00～16:00

## その他のレトロ(3)

座長：間 陽子(理化学研究所分子ウイルス学特別研究ユニット)  
宮沢 孝幸(京都大学ウイルス研究所)

- 02-4-19 マウス白血病ウイルス A8 の神経病原性発現に関与する Env 蛋白質の領域の同定  
間 洋平、平野 直樹、水倉 美早穂、渡辺 里仁、高瀬 明  
創価大学 工学部 生命情報工学科

- 02-4-20 牛白血病ウイルス (BLV)-Tax のアミノ酸置換と転写活性化能の関連**  
 大澤 宜明、井上 恵美、岡崎 克則  
 北海道医療大学 薬学部 分子生命科学講座 免疫微生物学教室
- 02-4-21 牛白血病ウイルス Tax の Pro235 → Leu235 変異は白血病の発症を早めるのか?**  
 岡崎 克則<sup>1,2)</sup>、井上 恵美<sup>1)</sup>、大澤 宜明<sup>1)</sup>  
 1) 北海道医療大学 薬学部 免疫微生物学教室、2) 北海道医療大学 個体差健康科学健康科学研究所
- 02-4-22 ウシ内在性レトロウイルスのエンベロープタンパク質の発現と機能解析**  
 仲屋 友喜<sup>1)</sup>、越 勝男<sup>2,3)</sup>、木崎 景一郎<sup>2,3)</sup>、馬場 健司<sup>4)</sup>、今川 和彦<sup>5)</sup>、橋爪 一善<sup>2,3)</sup>、宮沢 孝幸<sup>1)</sup>  
 1) 京都大学 ウイルス研究所 細胞生物学研究部門 信号伝達学研究分野、2) 岩手大学 獣医生理学研究室、  
 3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科、4) 山口大学 獣医寄生虫病学研究室、  
 5) 東京大学大学院 農学生命科学研究科 動物育種繁殖学研究室

第5会場 (5F 小ホール)

一般口演

9:00 ~ 10:15

肝炎ウイルス (5)

座長：石井 孝司 (国立感染症研究所ウイルス第二部)  
 市村 宏 (金沢大学医薬保健研究域医学系)

- 02-5-01 慢性 C 型肝炎患者末梢 CD5 陽性 B 細胞のアポトーシス抵抗性**  
 水落 利明<sup>1,2)</sup>、伊藤 昌彦<sup>2)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部、2) 浜松医科大学医学部 感染症学講座
- 02-5-02 不死化ヒト肝細胞株である Hc 細胞に対する患者血清由来 HCV の持続感染システム**  
 塩川 舞、福原 崇介、後藤 志典、二宮 彰紀、谷 英樹、阿部 隆之、森石 恆司、松浦 善治  
 大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス
- 02-5-03 マウスモデルを用いた C 型肝炎ウイルス誘発性 B リンパ腫発生機序の解析**  
 笠間 由里<sup>1)</sup>、関口 敏<sup>2)</sup>、齊藤 誠<sup>1)</sup>、佐藤 正明<sup>1)</sup>、桑原 一彦<sup>1)</sup>、竹屋 元裕<sup>1)</sup>、阪口 薫雄<sup>1)</sup>、小原 道法<sup>2)</sup>、  
 小原 恭子<sup>1)</sup>  
 1) 熊本大学 大学院生命科学研究部、2) 東京都臨床医学総合研究所
- 02-5-04 次世代シーケンサーを用いた臨床検体 (血清) のメタゲノミック診断**  
 中屋 隆明<sup>1,2)</sup>、中村 昇太<sup>2)</sup>、飯田 哲也<sup>1,2)</sup>、堀井 俊宏<sup>1,2)</sup>、柚木 幹弘<sup>3,4)</sup>、生田 和良<sup>3)</sup>、岡本 仁子<sup>5)</sup>、  
 永井 美之<sup>5)</sup>  
 1) 大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター、2) 大阪大学 微生物病研究所 感染症メタゲノム研究分野、  
 3) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、4) 株式会社 ベネシス、  
 5) 理化学研究所 新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター
- 02-5-05 HCV genotype 2a および 2b の NS5A 多様性はペグインターフェロン / リバビリン併用療法の治療効果と相関する**  
 El-Shamy Ahmed<sup>1)</sup>、金 守良<sup>2)</sup>、井出 良浩<sup>1)</sup>、Deng Lin<sup>1)</sup>、勝二 郁夫<sup>1)</sup>、堀田 博<sup>1)</sup>  
 1) 神戸大学 医学研究科 感染症センター 微生物学分野、2) 神戸朝日病院 消化器科

一般口演

10:15 ~ 11:30

肝炎ウイルス (6)

座長：池田 正徳 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)  
 鈴木 哲朗 (浜松医科大学医学部)

- 02-5-06 異なる HCV 株、細胞株を用いた HCV RNA 複製培養細胞での薬剤評価**  
 池田 正徳<sup>1)</sup>、森 京子<sup>1,3)</sup>、武田 緑<sup>1)</sup>、中澤 貴秀<sup>2)</sup>、有海 康雄<sup>1)</sup>、団迫 浩方<sup>1)</sup>、加藤 宣之<sup>1)</sup>  
 1) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学分野、2) 北里大学東病院 消化器内科、3) 日本学術振興会 特別研究員

**02-5-07** マイクロRNA経路のC型肝炎ウイルス複製における意義とその創薬標的としての役割渡士 幸一<sup>1)</sup>、下遠野 邦忠<sup>2)</sup>、Jeang kuan-Teh<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 千葉工業大学、3) National Institutes of Health, USA

**02-5-08** リバビリンの抗HCV活性を決定する因子の解析森 京子<sup>1,3)</sup>、池田 正徳<sup>1)</sup>、有海 康雄<sup>1)</sup>、團迫 浩方<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>2)</sup>、加藤 宣之<sup>1)</sup>

1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・腫瘍ウイルス学、2) 国立感染症研究所ウイルス第2部、3) 日本学術振興会・特別研究員

**02-5-09** 脂肪酸合成酵素を介したパルミチン酸によるC型肝炎ウイルスの複製制御棟方 翼<sup>1)</sup>、野本 明男<sup>2)</sup>、小原 道法<sup>1)</sup>

1) 東京都医学研究機構 東京都臨床医学総合研究所 感染制御プロジェクト、2) 微生物化学研究会

**02-5-10** C型肝炎ウイルス感染細胞特異的なウイルス排除システムの構築温 暁玉<sup>1)</sup>、阿部 隆之<sup>1)</sup>、久木原 博<sup>1)</sup>、田畝 修平<sup>1)</sup>、森 嘉生<sup>1)</sup>、谷 英樹<sup>1)</sup>、加藤 宣之<sup>2)</sup>、鈴木 哲朗<sup>3)</sup>、巽 正志<sup>4)</sup>、森石 恆司<sup>1)</sup>、松浦 善治<sup>1)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野、2) 岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍制御分野、3) 浜松医科大学 医学部 感染症講座、4) 感染研 エイズセンター

## 一般口演

13:00～14:00

## トガ、フラビ(3)

座長：加藤 茂孝(理化学研究所新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター)  
小西 英二(神戸大学大学院保健学研究科)**02-5-11** デング再感染患者血清中ウイルス力価の検討：  
感染性抗体-デングウイルス複合体はFcγR発現細胞においてのみ検出された

モイ メンリン、林 昌宏、小滝 徹、高崎 智彦、倉根 一郎

国立感染症研究所 ウイルス1部

**02-5-12** インドネシア流行株およびプロトタイプに基づくデングワクチンの中和抗体誘導能の比較

瀧澤 山人、小西 英二

神戸大学大学院 保健学研究科 国際保健学

**02-5-13** デングウイルスEタンパク質を標的とする低分子侵入阻害剤江良 翔太<sup>1)</sup>、左 一八<sup>1)</sup>、渡辺 一平<sup>1)</sup>、池田 潔<sup>2)</sup>、杉浦 信夫<sup>3)</sup>、木全 弘治<sup>3)</sup>、森田 公一<sup>4)</sup>、鈴木 隆<sup>1)</sup>

1) 静岡県立大学 薬学研究科 生化学分野、グローバルCOE、2) 広島国際大学 薬学部、3) 愛知医科大学 分子医科学研究所、4) 長崎大学 熱帯医学研究所

**02-5-14** ウエストナイルウイルスの感染に関わるC型レクチンの探索高橋 慧<sup>1)</sup>、下島 昌幸<sup>2)</sup>、海老原 秀喜<sup>3)</sup>、河岡 義裕<sup>1)</sup>

1) 東京大学医科学研究所ウイルス感染分野、2) 山口大学農学部獣医学科、3) アメリカ国立衛生研究所 国立アレルギー・感染症研究所

## 一般口演

14:00～15:00

## トガ、フラビ(4)

座長：林 昌宏(国立感染症研究所ウイルス第一部)  
中山 哲夫(北里大学北里生命科学研究所)**02-5-15** 日本脳炎ウイルスの非構造蛋白NS4a変異と宿主応答の差異竹上 勉<sup>1)</sup>、村上 学<sup>1)</sup>、奴久妻 聡一<sup>2)</sup>

1) 金沢医科大学 総合医学研究所 分子腫瘍、2) 神戸市環境保健研究所

**02-5-16** Culex flavivirusの解析及び日本脳炎ウイルスの増殖への干渉小原 真弓<sup>1)</sup>、山内 健生<sup>1)</sup>、渡辺 護<sup>2)</sup>、長谷川 澄代<sup>1)</sup>、岩井 雅恵<sup>1)</sup>、堀元 栄詞<sup>1)</sup>、倉田 毅<sup>1)</sup>、滝澤 剛則<sup>1)</sup>

1) 富山県衛生研究所、2) 国立感染症研究所

**02-5-17** ベネズエラウマ脳炎ウイルスレプリコン発現システムを用いた日本脳炎ウイルス NS1 発現系の構築およびその性状解析

石川 知弘、小西 英二  
神戸大学 大学院 保健学研究科

**02-5-18** 牛ウイルス性下痢ウイルス 2b 亜型 (BVDV-2b) 株の性状

田村 友和<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、吉野 史<sup>1)</sup>、杉田 征彦<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、長井 誠<sup>2)</sup>、伊藤 美加<sup>3)</sup>、青木 博史<sup>4)</sup>、喜田 宏<sup>1,5)</sup>  
1) 北海道大学 大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2) 石川県畜産総合センター、3) 石川県南部家畜保健衛生所、4) 日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医保健看護学科 基礎部門、5) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

一般口演

15:00 ~ 16:00

カリシ、アストロ (1)

座長：佐藤 裕徳 (国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター)  
染谷 雄一 (国立感染症研究所ウイルス第二部)

**02-5-19** ノロウイルスのヒト腸管由来培養細胞への結合様式の解析

村上 耕介<sup>1)</sup>、岡 智一郎<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、松田 幹<sup>2)</sup>、片山 和彦<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部 第一室、2) 名古屋大学大学院 生命農学研究科 応用分子生命科学専攻 分子生体制御学研究分野

**02-5-20** ノロウイルス様中空粒子アセンブリに影響を与えるドメイン間相互作用

染谷 雄一、白土 東子、脇田 隆字  
国立感染症研究所 ウイルス第2部

**02-5-21** X線結晶構造解析によるノロウイルスと血液型抗原の結合解析

白土 東子<sup>1)</sup>、熊谷 安希子<sup>1)</sup>、伊藤 浩美<sup>2)</sup>、古川 早苗<sup>2)</sup>、成松 久<sup>2)</sup>、石井 孝司<sup>1)</sup>、染谷 雄一<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、久保田 智己<sup>2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 産業技術総合研究所 糖鎖医工学研究センター

**02-5-22** アストロウイルスリバーシジェネティック系の改良

丹下 正一朗<sup>1)</sup>、Chapellier Benoit<sup>1,3)</sup>、左近田中 直美<sup>2)</sup>、中西 章<sup>1)</sup>  
1) 独立行政法人 国立長寿医療研究センター、2) 大阪府立公衆衛生研究所、3) Institut de la Vision Paris

一般口演

16:00 ~ 17:00

カリシ、アストロ (2)

座長：小林 慎一 (愛知県衛生研究所生物学部)  
濱野 雅子 (岡山県環境保健センター保健科学部)

**02-5-23** 食品検体のノロウイルス検査のためのパンソルピン・トラップ法の開発と拡大適用

斎藤 博之<sup>1)</sup>、東方 美保<sup>2)</sup>、岡 智一郎<sup>3)</sup>、片山 和彦<sup>3)</sup>、田中 智之<sup>4)</sup>、野田 衛<sup>5)</sup>  
1) 秋田県健康環境センター、2) 福井県衛生環境研究センター、3) 国立感染症研究所、4) 堺市衛生研究所、5) 国立医薬品食品衛生研究所

**02-5-24** High-resolution melting analysis を用いたヒトアストロウイルスの簡易遺伝子型識別法の開発

端 昭彦<sup>1)</sup>、北島 正章<sup>1)</sup>、片山 浩之<sup>1)</sup>、宇田川 悦子<sup>2)</sup>  
1) 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻、2) 国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室

**02-5-25** ネコカリシウイルスの新規リバーシジェネティクス系の構築

岡 智一郎<sup>1)</sup>、高木 弘隆<sup>2)</sup>、遠矢 幸伸<sup>3)</sup>、村上 耕介<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、片山 和彦<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第2部、2) 国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室、3) 日本大学 生物資源科学部 獣医学科 獣医微生物学研究室

**02-5-26** ネコカリシウイルスのプロアントシアニンに対する感受性

吉仲 由之、山岡 昇司  
東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科 ウイルス制御

## シンポジウム8

17:45~20:00

## ウイルスによる細胞増殖制御機構

座長：渡邊 俊樹 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)  
清野 透 (国立がん研究センター研究所ウイルス部)

- S8-1 高リスク型ヒトパピローマウイルスによる発がんの分子機構：E6の機能的役割  
温川 恭至  
国立がん研究センター研究所ウイルス部
- S8-2 EB ウイルス non-coding RNA (EBER) による自然免疫活性化と発がん  
岩切 大  
北海道大学遺伝子病制御研究所
- S8-3 EBV 再活性化の分子メカニズム  
村田 貴之  
愛知県がんセンター研究所腫瘍ウイルス学部
- S8-4 HTLV-1 Rex による宿主細胞 RNA 品質管理機構の攪乱  
中野 和民  
東京大学大学院新領域創成科学研究科
- S8-5 HTLV-1 bZIP factor による T 細胞発がん機構  
佐藤 賢文  
京都大学ウイルス研究所

## 第6会場(5F 会議室6)

## 一般口演

9:00~10:15

## HTLV (1)

座長：藤井 雅寛 (新潟大学大学院医歯学総合研究科)  
藤澤 順一 (関西医科大学医学部)

- O2-6-01 HTLV-1 HBZ タンパク質による mTOR シグナルの活性制御機構  
向井 理紗、大島 隆幸  
徳島文理大学大学院 香川薬学研究科
- O2-6-02 DAPLE, a novel HBZ-binding protein, regulates Wnt signaling pathway in ATL cells.  
馬 広勇<sup>1)</sup>、Fan Jun<sup>1)</sup>、柳川 伸一<sup>2)</sup>、松岡 雅雄<sup>1)</sup>  
1) 京都大学 ウィルス研究所 附属エイズ研究施設 ウィルス制御研究領域、2) 京都大学 ウィルス研究所 がん遺伝子研究分野
- O2-6-03 ATL 細胞におけるエピジェネティックな異常は、miR-31 発現低下を介して NF- $\kappa$ B の恒常的活性化に寄与する  
山岸 誠<sup>1,2)</sup>、中野 和民<sup>1)</sup>、三宅 在子<sup>1,3)</sup>、加賀美 弥生<sup>1)</sup>、包 明久<sup>1)</sup>、宇都宮 興<sup>4)</sup>、山口 一成<sup>5)</sup>、内丸 薫<sup>6)</sup>、小川 誠治<sup>7)</sup>、渡邊 俊樹<sup>1)</sup>  
1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科、2) エイズ予防財団 リサーチレジデント、3) 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部、4) 今村病院分院 血液内科、5) 国立感染症研究所 血液安全性研究部、6) 東大医科学研究所附属病院 血液内科、7) 東京大学 医学部附属病院
- O2-6-04 HTLV-1 Tax の新規結合蛋白による酸化ストレス応答の制御  
藤井 雅寛、樋口 雅也、高橋 雅彦  
新潟大学 医歯学総合研究科 ウィルス学分野
- O2-6-05 OX40 リガンドを介する感染性 HTLV-I の産生促進  
高良 あずさ<sup>1)</sup>、田中 礼子<sup>1)</sup>、齊藤 峰輝<sup>1)</sup>、神奈木 真理<sup>2)</sup>、田中 勇悦<sup>1)</sup>  
1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座、2) 東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 免疫治療学分野

## 一般口演

10:15～11:30

## HTLV (2)

座長：大杉 剛生(熊本大学生命資源研究・支援センター)  
松岡 雅雄(京都大学ウイルス研究所)

## O2-6-06 ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) 外被蛋白質 Gp46 による高カルシウム血症の発症機序について

相良 康子<sup>1)</sup>、相良 康弘<sup>2)</sup>、井上 由紀子<sup>1)</sup>、後藤 信代<sup>1)</sup>、清川 博之<sup>1)</sup>  
1)福岡県赤十字血液センター 研究部、2)中村学園大学 人間発達学部

## O2-6-07 HTLV-1 bZIP factor による慢性炎症惹起機構

田口 奈々絵、佐藤 賢文、Miyazato Paola、吉田 美香、松岡 雅雄  
京都大学 ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域

## O2-6-08 ヒト T 細胞白血病ウイルス (HTLV-1) tax トランスジェニックマウスにおける関節炎の解析

大杉 剛生<sup>1)</sup>、熊坂 利夫<sup>2)</sup>  
1)熊本大学 生命資源研究・支援センター、2)日赤医療センター 病理部

## O2-6-09 HTLV-1 感染ヒト化マウスを用いた感染 T 細胞選択過程の解析

田中 正和<sup>1)</sup>、苟 潤澤<sup>1)</sup>、手塚 健太<sup>1)</sup>、三輪 正直<sup>2)</sup>、竹之内 徳博<sup>1)</sup>、藤澤 順一<sup>1)</sup>  
1)関西医科大学 微生物学、2)長浜バイオ大学 バイオサイエンス

## O2-6-10 HTLV-1 経口感染ラットを用いた Tax ペプチドパルス骨髄由来樹状細胞による Tax 特異的 CD8 陽性 T 細胞の賦活化

曾 娜、長谷川 温彦、玉井 洋太郎、清水 由紀子、高森 絢子、金原 秀一、増田 貴夫、神奈木 真理  
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 免疫治療学分野

## 一般口演

13:00～14:00

## ラブド、フィロ (1)

座長：西園 晃(大分大学医学部)  
野田 岳志(東京大学医科学研究所)

## O2-6-11 エボラウイルスは糖タンパク質 (GP) 依存的にマクロピノサイトーシスを介して宿主細胞へ侵入する

南保 明日香<sup>1)</sup>、今井 正樹<sup>2)</sup>、渡辺 真治<sup>3)</sup>、野田 岳志<sup>4)</sup>、高橋 慧<sup>4)</sup>、Gabriele Neumann<sup>2)</sup>、Peter Halfmann<sup>2)</sup>、河岡 義裕<sup>2,3,4)</sup>  
1)北海道大学大学院薬学研究院、2)ウィスコンシン大学マディソン校、3)戦略的創造研究推進事業総括実施型研究 (ERATO)、4)東京大学医科学研究所感染・免疫部門ウイルス感染分野

## O2-6-12 エボラウイルスの sGP 蛋白質は構造蛋白質として感染に関与する

岩佐 彩香<sup>1)</sup>、下島 昌幸<sup>2)</sup>、河岡 義裕<sup>1)</sup>  
1)東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、2)山口大学 農学部 獣医微生物学教室

## O2-6-13 エボラウイルス表面糖タンパク質 GP による BST-2/Tetherin 活性の阻害

黒崎 陽平、安田 二郎  
科学警察研究所 法科学第一部 生物第五研究室

## O2-6-14 フィロウイルス種特異抗体検出 ELISA 法の開発

中山 絵里<sup>1)</sup>、横山 文香<sup>1)</sup>、宮本 洋子<sup>1)</sup>、岸田 典子<sup>2)</sup>、松野 啓太<sup>1)</sup>、五十嵐 学<sup>1)</sup>、Marzi Andrea<sup>3)</sup>、Feldmann Heinz<sup>3)</sup>、伊藤 公人<sup>1)</sup>、高田 礼人<sup>1)</sup>  
1)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門、2)国立感染症研 インフルエンザウイルス研究センター、3)Laboratory of Virology, NIAID, NIH

## 一般口演

14:00～15:00

## ラブド、フィロ(2)

座長：伊藤 直人(岐阜大学応用生物科学部)  
高田 礼人(北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター)

- 02-6-15** 狂犬病ウイルス街上市毒のMNA細胞での連続継代による末梢感染性減弱変異株の樹立  
山田 健太郎<sup>1)</sup>、野口 賀津子<sup>2)</sup>、松本 昂<sup>2)</sup>、三井 孝広<sup>2)</sup>、アハメド カムルディン<sup>1)</sup>、西園 晃<sup>1,2)</sup>  
1)大分大学 全学研究推進機構、2)大分大学 医学部 微生物学講座
- 02-6-16** 狂犬病ウイルスP蛋白質の核外輸送シグナルはインターフェロン抵抗性及び病原性に重要である  
伊藤 直人<sup>1,2)</sup>、正谷 達磨<sup>2)</sup>、中川 敬介<sup>2)</sup>、山岡 理子<sup>2)</sup>、安部 昌子<sup>2)</sup>、杉山 誠<sup>1,2)</sup>  
1)岐阜大学 応用生物科学部 獣医学講座 人獣共通感染症学研究室、2)岐阜大学 大学院 連合獣医学研究科
- 02-6-17** 狂犬病ウイルスN蛋白質の病原性決定基の違いがマウス脳内におけるウイルス感染動態及びインターフェロン応答に及ぼす影響  
正谷 達磨<sup>1)</sup>、伊藤 直人<sup>1,2)</sup>、中川 敬介<sup>1)</sup>、山岡 理子<sup>1)</sup>、安部 昌子<sup>1)</sup>、杉山 誠<sup>1,2)</sup>  
1)岐阜大学大学院 連合獣医学研究科、2)岐阜大学 応用生物科学部 人獣共通感染症学研究室
- 02-6-18** マウスを用いた継代で見られたブラジル狂犬病ウイルスゲノムの選択  
佐藤 豪<sup>1)</sup>、井上 智<sup>1)</sup>、Ito Fumio<sup>2)</sup>、Silva Maria<sup>3)</sup>、伊藤 琢也<sup>4)</sup>、酒井 健夫<sup>4)</sup>、山田 章雄<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 獣医科学部 第二室、2)サンパウロ州立大学、3)カンピーナグランデ連合大学、  
4)日本大学 生物資源科学部 動物医科学研究センター

## 一般口演

15:00～16:00

## ピコルナ(1)

座長：吾郷 昌信(長崎県環境保健研究センター)  
有田峰太郎(国立感染症研究所ウイルス第二部)

- 02-6-19** コクサッキー A16型ウイルスの白血球系細胞株における増殖の解析  
西村 順裕、脇田 隆字、清水 博之  
国立感染症研究所 ウイルス第二部
- 02-6-20** タイラーウイルス抗アポトーシス蛋白L\*のミトコンドリア移行  
姫田 敏樹、大桑 孝子、村木 靖、大原 義朗  
金沢医科大学 医学部 微生物学部門
- 02-6-21** 運動神経初代培養細胞の分離培養系におけるポリオウイルス感染  
大岡 静衣<sup>1,2)</sup>、金田 祥平<sup>3)</sup>、藤井 輝夫<sup>3)</sup>、五十嵐 博子<sup>1)</sup>、野本 明男<sup>1,4)</sup>  
1)東京大学 大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 野本特任教授室、  
2)国立がん研究センター研究所 がん性幹細胞研究プロジェクト、  
3)東京大学 生産技術研究所 マイクロメカトロニクス国際研究センター、4)微生物化学研究所
- 02-6-22** NLRP3インフラマゾームによるEMCV認識機構の解析  
伊藤 美菜子、一戸 猛志、柳 雄介  
九州大学大学院 医学研究院 ウイルス学

## 一般口演

16:00～17:00

## ピコルナ(2)

座長：大岡 静衣(国立がん研究センター研究所がん性幹細胞研究プロジェクト)  
小池 智(東京都医学研究機構東京臨床医学総合研究所)

- 02-6-23** 重症呼吸器感染症におけるライノウイルス流行パターンと株間による重症化の比較  
藤 直子<sup>1)</sup>、鈴木 陽<sup>1)</sup>、玉記 雷太<sup>2)</sup>、齊藤 麻理子<sup>2)</sup>、押谷 仁<sup>1)</sup>  
1)東北大学大学院 医学系研究科、2)東北-RITM 新興・再興感染症コラボレーションリサーチセンター

- O2-6-24** フィリピンにおける小児重症呼吸器疾患患者のエンテロウイルス68感染  
今村 忠嗣<sup>1)</sup>、藤 直子<sup>1)</sup>、玉記 雷太<sup>2)</sup>、齊藤 麻理子<sup>2)</sup>、鈴木 陽<sup>1)</sup>、押谷 仁<sup>1)</sup>  
1) 東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野、2) 東北-RITM 新興・再興感染症コラボレーションリサーチセンター
- O2-6-25** ヒトライノウイルスの高感度検出同定法  
吾郷 昌信<sup>1,2)</sup>、山口 顕徳<sup>1)</sup>、平野 学<sup>1)</sup>、吉川 亮<sup>1,2)</sup>、西村 順裕<sup>3)</sup>、清水 博之<sup>3)</sup>  
1) 長崎県環境保健研究センター、2) 長崎大学熱帯医学研究所ウイルス分野、3) 国立感染症研究所ウイルス二部
- O2-6-26** 2つの作用点を持つ新規抗エンテロウイルス化合物の解析  
有田 峰太郎<sup>1)</sup>、武部 豊<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、清水 博之<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部 第二室、2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

## ポスター会場(3F 大展示室)

## ポスター発表

17:00~17:45

- P2-001** Novel Live cell imaging revealed the involvement of intracellular organelles transporting systems in viral envelop induced cell fusion  
鈴木 康弘<sup>1)</sup>、Chandra Nath Roy<sup>1,2)</sup>、権田 幸祐<sup>3)</sup>、大内 憲明<sup>3)</sup>  
1) 東北大学 大学院医学系研究科 感染病態学講座、2) 財団法人エイズ予防財団、  
3) 東北大学 大学院医学系研究科 ナノ医科学寄付講座
- P2-002** 細胞骨格蛋白 cytokeratin8/18が respiratory syncytial virus (RSV) の複製に与える影響について  
白戸 憲也<sup>1)</sup>、川瀬 みゆき<sup>1)</sup>、氏家 誠<sup>2)</sup>、松山 州徳<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所ウイルス第3部第4室、2) 日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科獣医感染症学教室
- P2-003** イメージング技術を用いた麻疹ウイルス L タンパク質の細胞内動態の解析  
中津 祐一郎<sup>1,3)</sup>、鈴木 忠樹<sup>2)</sup>、馬 学旻<sup>1)</sup>、関 文緒<sup>1)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>1)</sup>、柳 雄介<sup>3)</sup>、竹田 誠<sup>1,3)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第三部、2) 国立感染症研究所 感染病理部、3) 九州大学大学院 医学研究院 ウイルス学
- P2-004** ウイルスの増殖と多核巨細胞形成におけるプロテインカイネーシスの働き  
幸脇 貴久、木下 聖次郎、山田 睦子、伊藤 康彦、伊藤 守弘  
中部大学 応用生物学研究科 応用生物学専攻
- P2-005** ムンプスウイルスの臓器・組織親和性を規定する因子の同定  
木下 聖次郎<sup>1)</sup>、伊藤 守弘<sup>1)</sup>、庵原 俊昭<sup>2)</sup>、幸脇 貴久<sup>1)</sup>、鶴留 雅人<sup>3)</sup>、伊藤 康彦<sup>1)</sup>  
1) 中部大学応用生物学研究科応用生物学専攻、2) 国立病院機構三重病院小児科、3) 三重大学医学部微生物学講座
- P2-006** ハムスター動物モデルを用いた亜急性硬化性全脳炎(SSPE)感染機序の検討  
阿部 優作、橋本 浩一、細矢 光亮  
福島県立医科大学 医学部 小児科学講座
- P2-007** 血球由来細胞樹立麻疹ウイルス持続感染株の解析  
中村 俊之、鎌田 征和、佐藤 宏樹、米田 美佐子、甲斐 知恵子  
東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設部門
- P2-008** Tetherin によるニパウイルス virus-like particle 産生阻害  
加藤 昌彦<sup>1)</sup>、安田 二郎<sup>2)</sup>、小見(古谷) 美央<sup>1)</sup>、米田 美佐子<sup>1)</sup>、甲斐 知恵子<sup>1)</sup>  
1) 東京大学医科学研究所 実験動物研究施設、2) 科学警察研究所 法科学第一部
- P2-009** 環境化学物質テトラプロモビスフェノール A の周産期暴露による RS ウイルス感染病態への影響  
渡辺 渡<sup>1)</sup>、吉田 裕樹<sup>2)</sup>、紺野 克彦<sup>2)</sup>、広瀬 明彦<sup>3)</sup>、黒川 昌彦<sup>2)</sup>  
1) 九州保健福祉大学 薬学部 微生物学教室、2) 九州保健福祉大学 薬学部 生化学第二講座、  
3) 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 総合評価室
- P2-010** UGRP1 プロモーター領域の遺伝子多型および発現と RSV 感染重症化に関する検討  
橋本 浩一<sup>1)</sup>、阿部 優作<sup>1)</sup>、錫谷 達夫<sup>2)</sup>、細矢 光亮<sup>1)</sup>  
1) 福島県立医科大学 医学部 小児科学講座、2) 福島県立医科大学 医学部 微生物学講座

- P2-011** モンゴル国内で流行するムンプスウイルスの分子系統学的解析  
木所 稔<sup>1)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>1)</sup>、Tuul Renchin<sup>2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第三部、2) National Centre for Communicable Diseases of Mongolia
- P2-012** イヌジステンパーウイルスの野生動物から大型ネコ科動物への伝播  
下島 昌幸<sup>1)</sup>、長尾 裕美子<sup>1)</sup>、西尾 陽平<sup>1)</sup>、下田 宙<sup>1)</sup>、田丸 精治<sup>1)</sup>、佐藤 梓<sup>2)</sup>、池辺 祐介<sup>2)</sup>、宇根 有美<sup>3)</sup>、前田 健<sup>1)</sup>  
1) 山口大学 農学部 獣医学科、2) 秋吉台自然動物公園、3) 麻布大学 獣医学部 獣医学科
- P2-013** カニクイザルで致死感染を起こしたイヌジステンパーウイルスのサル及びイヌでの病原性の解析  
酒井 宏治<sup>1)</sup>、田丸 精治<sup>2)</sup>、前田 健<sup>2)</sup>、永田 典代<sup>3)</sup>、網 康至<sup>1)</sup>、岩田 奈織子<sup>3)</sup>、鈴木 忠樹<sup>3)</sup>、水谷 哲也<sup>4)</sup>、福士 秀悦<sup>4)</sup>、須崎 百合子<sup>1)</sup>、緒方 もも子<sup>4)</sup>、長谷川 秀樹<sup>3)</sup>、西條 政幸<sup>4)</sup>、山田 靖子<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>4)</sup>、森川 茂<sup>4)</sup>  
1) 国立感染症研究所 動物管理室、2) 山口大学農学部獣医微生物学、3) 国立感染症研究所 感染病理部、4) 国立感染症研究所 ウイルス第一部
- P2-014** 糖鎖結合性に基づくインフルエンザウイルス株の類型化と予測  
隅田 泰生<sup>1,2)</sup>、張 旭<sup>1,2)</sup>、青山 和枝<sup>2)</sup>、若尾 雅広<sup>1)</sup>、森川 佐依子<sup>3)</sup>、廣井 聡<sup>3)</sup>、加瀬 哲男<sup>3)</sup>、斎藤 秀<sup>4)</sup>  
1) 鹿児島大学 大学院理工学研究科 化学生命・化学工学専攻、2) 株式会社 スティックバイオテック、3) 大阪府立公衆衛生研究所、4) インフォコム 株式会社
- P2-015** ヒトパラインフルエンザウイルス1型のプラークアッセイ法の確立  
福島 圭穂<sup>1,2)</sup>、高橋 忠伸<sup>1,2)</sup>、紅林 佑希<sup>1,2)</sup>、滝本 徹<sup>3)</sup>、鈴木 隆<sup>1,2)</sup>  
1) 静岡県立大学 薬学部 生化学講座、2) 静岡県立大学 グローバルCOE、3) ロチェスター大学メディカルセンター 免疫・微生物分野
- P2-016** Sero-diagnosis of Nipah virus infection by using recombinant Nipah virus nucleocapsid protein expressed by baculovirus system  
余 福勲、岡本 健太、早坂 大輔、井上 真吾、長谷部 太、森田 公一  
長崎大学熱帯医学研究所ウイルス学
- P2-017** 分泌型アルカリフォスファターゼ発現 VSV シュードタイプを利用したニパウイルス多検体中和試験法の確立  
加来 義浩<sup>1)</sup>、野口 章<sup>1)</sup>、奥谷 晶子<sup>1)</sup>、堀田 こずえ<sup>1)</sup>、福士 秀悦<sup>2)</sup>、井上 智<sup>1)</sup>、山田 章雄<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 獣医科学部、2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部
- P2-018** 温度感受性変異の利用によるセンダイウイルスベクターの導入細胞からの除去技術の開発  
伴 浩志<sup>1)</sup>、飯田 章博<sup>1)</sup>、房木 ノエミ<sup>1,2)</sup>、弘中 孝史<sup>1)</sup>、上田 泰次<sup>1)</sup>、井上 誠<sup>1)</sup>、長谷川 護<sup>1)</sup>  
1) ディナベック株式会社、2) 科学技術振興機構 さきがけ研究21
- P2-019** 組換え麻疹ウイルスを用いた乳癌治療法開発の基礎的研究  
杉山 貴紹<sup>1)</sup>、米田 美佐子<sup>1)</sup>、倉石 武<sup>2)</sup>、服部 正策<sup>2)</sup>、井上 優介<sup>3)</sup>、佐藤 宏樹<sup>1)</sup>、甲斐 知恵子<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所実験動物研究施設、2) 東京大学 医科学研究所 奄美病害動物研究施設、3) 東京大学 医科学研究所付属病院 放射線科
- P2-020** RS ウイルスの外殻タンパクを発現するキメラ麻疹ウイルスの免疫能の検討  
澤田 成史<sup>1)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>2)</sup>、中山 哲夫<sup>1)</sup>  
1) 北里大学 生命科学研究所 ウイルス感染制御1室、2) 国立感染研ウイルス第3部
- P2-021** ニワトリ気道上の鳥インフルエンザウイルス結合蛋白質の検索  
井上 瑞江<sup>1)</sup>、高桑 弘樹<sup>1)</sup>、常國 良太<sup>1)</sup>、藪田 淑子<sup>1)</sup>、伊藤 壽啓<sup>3)</sup>、大槻 公一<sup>1)</sup>、中田 博<sup>2)</sup>  
1) 京都産業大学 鳥インフルエンザ研究センター、2) 京都産業大学 総合生命科学部 生命システム学科、3) 鳥取大学 農学部附属 鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター
- P2-022** 新規 HA エピトープに着目した A 型インフルエンザウイルスの細胞侵入過程の解析  
井上 雄嗣<sup>1)</sup>、瀨藤 律子<sup>1,2)</sup>、山下 明史<sup>1,3)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所、2) 財団法人 阪大微生物病研究会、3) 東北大学 大学院生命科学研究所
- P2-023** B 型インフルエンザウイルス RNA ポリメラーゼは A 型とは異なるキャップ構造認識能をもつ  
若井 ちとせ<sup>1)</sup>、水本 清久<sup>1,2)</sup>、永田 恭介<sup>1)</sup>  
1) 筑波大 大学院 人間総合科学研究科、2) 北里大 薬学部 生化学

- P2-024** インフルエンザウイルスポリメラーゼ PB1 サブユニットのプロモーター認識機構  
水口 萌子<sup>1)</sup>、川口 敦史<sup>1,2,3)</sup>、永田 恭介<sup>1)</sup>  
1)筑波大学大学院 人間総合科学研究科、2)北里大学大学院 感染制御学府、3)日本学術振興会
- P2-025** A型インフルエンザウイルス RNA ポリメラーゼサブユニットの亜型間での親和性解析  
— PA(H3N2)の親和性決定部位について—  
原 好勇、中園 陽子、柏木 孝仁、今村 宜寛、濱田 信之、渡邊 浩  
久留米大学 医学部 感染医学講座 臨床感染医学部門
- P2-026** C型インフルエンザウイルスのリバース・ジェネティクスの効率を上げる試み：  
ウイルス様粒子作製系を用いた解析  
村木 靖、大桑 孝子、姫田 敏樹、大原 義朗  
金沢医科大学 医学部 微生物学部門
- P2-027** インフルエンザウイルス子孫 vRNP 複合体の極性輸送を担う輸送小胞および宿主因子の探索  
百瀬 文隆、大倉 喬、森川 裕子  
北里大学 大学院 感染制御学府
- P2-028** C型インフルエンザウイルスの増殖における CM2 蛋白の糖鎖付加の意義  
大桑 孝子、村木 靖、姫田 敏樹、大原 義朗  
金沢医科大学 医学部 微生物学部門
- P2-029** H5N1 亜型高病原性鳥インフルエンザ表面抗原保有インフルエンザウイルスの内部遺伝子を  
組合せたウイルスの増殖性と感染鶏の生存性・遺伝子応答への影響  
内田 裕子<sup>1,2)</sup>、渡辺 千晶<sup>1)</sup>、竹前 喜洋<sup>1,2)</sup>、林 豪士<sup>1,2)</sup>、伊藤 壽啓<sup>3)</sup>、西藤 岳彦<sup>1,2)</sup>  
1) (独)農研機構 動物衛生研究所 人獣感染症研究チーム、  
2) (独)農研機構 動物衛生研究所 タイ-日本 人獣感染症共同研究センター、  
3) 鳥取大学 農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター
- P2-030** IL-4とそのアンタゴニストを用いたヘルパー T 細胞反応調節によるインフルエンザ感染と  
アレルギー反応  
塩釜 ゆみ子<sup>1,2)</sup>、松原 明弘<sup>1,2)</sup>、河岡 義裕<sup>3)</sup>、保富 康宏<sup>1,2)</sup>  
1) 独立行政法人 医薬基盤研究所 霊長類医学研究センター、2) 三重大学 大学院 医学系研究科 病態解明医学講座 免疫制御、  
3) 東京大学 医科学研究所 感染免疫部門 ウイルス感染分野
- P2-031** *Lactobacillus pentosus* S-PT84 株経口摂取によるインフルエンザワクチンアジュバント効果  
井田 正幸<sup>1)</sup>、高橋 和郎<sup>2)</sup>、出雲 貴幸<sup>1)</sup>、北川 義徳<sup>1)</sup>、木曾 良信<sup>1)</sup>  
1) サントリーウエルネス株式会社 健康科学研究所、2) 大阪府立公衆衛生研究所
- P2-032** NKT 細胞欠損マウスではインフルエンザウイルス感染に対しより感受性を示す  
石川 裕樹<sup>1)</sup>、杵掛 悦子<sup>1)</sup>、福井 利江<sup>1)</sup>、畑 明宏<sup>2)</sup>、田中 和生<sup>2)</sup>、野田 敏司<sup>3)</sup>、松本 哲哉<sup>1)</sup>  
1) 東京医科大学 微生物学講座、2) 昭和大学 医学部 微生物学講座、3) 東海大学 医学部 基礎医学系 生体防御学領域
- P2-033** ウシ後期初乳投与による仔マウスの免疫賦活作用並びにインフルエンザウイルス防御機能の検討  
内田 健志<sup>1)</sup>、蛭田 直幸<sup>2)</sup>、山口 博史<sup>1)</sup>、為定 誠<sup>1)</sup>、富裕 孝<sup>1)</sup>、保井 久子<sup>2)</sup>  
1) 小林製薬株式会社 中央研究所 研究部 免疫研究グループ、  
2) 信州大学大学院 農学研究科 機能性食料開発学専攻 食料機能開発学
- P2-034** Pandemic (H1N1) 2009 インフルエンザウイルスはマンノース結合レクチン (MBL) に抵抗性である  
大内 正信<sup>1)</sup>、徳永 博俊<sup>2)</sup>  
1) 川崎医科大学 微生物学教室、2) 川崎医科大学 血液内科学教室
- P2-035** 新型インフルエンザウイルスワクチン接種時のココア飲用による免疫賦活効果  
亀井 優徳<sup>1)</sup>、高橋 伸彰<sup>1)</sup>、高橋 俊雄<sup>1)</sup>、間藤 卓<sup>2)</sup>、西村 公志<sup>3)</sup>、高橋 和郎<sup>3)</sup>  
1) 森永製菓株式会社、2) 埼玉医科大学、3) 大阪府立公衆衛生研究所
- P2-036** 免疫抑制マウスを用いた A 型インフルエンザウイルス肺感染モデルに対するペラムビルの  
治療効果の検討  
吉田 立、北野 光崇、児玉 誠、佐藤 彰彦  
シオノギ製薬株式会社 創薬・疾患研究所 感染症部門

- P2-037 H7 亜型高病原性鳥インフルエンザウイルス感染鶏の病態変化と伝播力**  
鈴木 耕太郎<sup>1,4)</sup>、岡田 浩尚<sup>2,4)</sup>、伊藤 寿浩<sup>2,4)</sup>、久保 正法<sup>3)</sup>、多田 達哉<sup>1,4)</sup>、塚本 健司<sup>1,4)</sup>  
1) 農研機構 動物衛生研究所 人獣感染症研究チーム、2) 産業技術総合研究所 集積マイクロシステム研究センター、  
3) 動物衛生研究所 動物疾病対策センター疾病診断室、4) JST CREST
- P2-038 新型 H1N1 インフルエンザウイルス中和エピトープ領域の多様性獲得**  
山下 明史<sup>1)</sup>、瀨瀬 律子<sup>2)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>  
1) 東北大学大学院 生命科学研究所、2) 大阪大学微生物病研究所
- P2-039 鳥インフルエンザウイルスの鶏病原性に関する PB2 および NP 遺伝子**  
多田 達哉<sup>1,3)</sup>、鈴木 耕太郎<sup>1,3)</sup>、桜井 優<sup>1)</sup>、岡田 浩尚<sup>2,3)</sup>、伊藤 寿浩<sup>2,3)</sup>、塚本 健司<sup>1,3)</sup>  
1) 動物衛生研究所 人獣感染症研究チーム、2) 産業技術総合研究所 集積マイクロシステム研究センター、3) JST CREST
- P2-040 ハノイ市郊外で飼育されるアヒルおよびブタより分離された A 型インフルエンザウイルスの遺伝子解析**  
堀田 こずえ<sup>1,2)</sup>、高桑 弘樹<sup>3)</sup>、村瀬 敏之<sup>4)</sup>、小野 悦郎<sup>5)</sup>、伊藤 壽啓<sup>4)</sup>、大槻 公一<sup>3)</sup>、山城 哲<sup>1,2)</sup>  
1) 長崎大学 熱帯医学研究所、2) 長崎大学ベトナム熱帯病・新興感染症研究拠点、  
3) 京都産業大学 鳥インフルエンザ研究センター、4) 鳥取大学農学部農学部 獣医学科、5) 九州大学大学院医学研究院
- P2-041 新型インフルエンザの不顕性感染に関する血清学的研究**  
廣井 聡<sup>1)</sup>、森川 佐依子<sup>1)</sup>、具 芳明<sup>5)</sup>、古宮 伸洋<sup>5)</sup>、宮川 広実<sup>1)</sup>、西村 公志<sup>1)</sup>、赤阪 進<sup>2)</sup>、宮園 将哉<sup>3)</sup>、  
神谷 元<sup>4)</sup>、八幡 裕一郎<sup>4)</sup>、安井 良則<sup>4)</sup>、加瀬 哲男<sup>1)</sup>、高橋 和郎<sup>1)</sup>  
1) 大阪府立公衆衛生研究所 感染症部、2) 大阪府立公衆衛生研究所 企画総務部、3) 大阪府 健康医療部、  
4) 国立感染症研究所 感染症情報センター、5) 国立感染症研究所 実地疫学専門家養成コース
- P2-042 国内のペット犬におけるインフルエンザウイルス感染**  
堀本 泰介<sup>1,2)</sup>、山尾 僚子<sup>2)</sup>、前田 健<sup>3)</sup>、大川 朝子<sup>1)</sup>、岩附 研子<sup>2)</sup>、加藤 健太郎<sup>1)</sup>、明石 博臣<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>2)</sup>  
1) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医微生物学、2) 東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、  
3) 山口大学 農学部 獣医微生物学
- P2-043 2008-2010年のインドネシアにおけるヒトインフルエンザウイルスの発生状況**  
山岡 政興<sup>1)</sup>、Teridah E Ginting<sup>1)</sup>、牧野 晶子<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>2)</sup>、新矢 恭子<sup>1)</sup>  
1) 神戸大学 大学院 医学研究科 感染症センター、2) 東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野
- P2-044 Molecular Epidemiology of Seasonal Influenza and Impact of Pandemic Swine Influenza in Central Vietnam**  
吉田 レイミント<sup>1)</sup>、Le Minh Nhat<sup>1,2)</sup>、Yoshino Hiroshi<sup>1)</sup>、Suzuki Motoi<sup>1)</sup>、Nguyen Hien Anh<sup>2)</sup>、  
Vu Thiem Dinh<sup>2,3)</sup>、Le Tho Huu<sup>3)</sup>、Hiroyuki Moriuchi<sup>1)</sup>、Dang Duc Anh<sup>2)</sup>、Ariyoshi Koya<sup>1)</sup>  
1) 長崎大学熱帯医学研究所、2) National Institute of Hygiene and Epidemiology、3) Khanh Hoa Health Service, Vietnam
- P2-045 Impact of Multiple Viral Co-infection on Acute Respiratory Infection and Disease Severity in Vietnamese Children**  
吉田 レイミント<sup>1)</sup>、Suzuki Motoi<sup>1)</sup>、Yoshino Hiroshi<sup>1)</sup>、Nguyen Hien Anh<sup>2)</sup>、Vu Thiem Dinh<sup>2)</sup>、  
Le Tho Huu<sup>3)</sup>、Moriuchi Hiroyuki<sup>1)</sup>、Dang Duc Anh<sup>2)</sup>、Ariyoshi Koya<sup>1)</sup>  
1) 長崎大学熱帯医学研究所、2) National Institute of Hygiene and Epidemiology、3) Khanh Hoa Health Service, Vietnam
- P2-046 ベトナムの家禽から分離された鳥インフルエンザウイルスの性状解析**  
野村 直樹<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、遠藤 真由美<sup>1)</sup>、吉田 裕美<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>1,2)</sup>  
1) 北海道大学 獣医学研究科 微生物、2) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
- P2-047 モンゴルの野生水禽から分離された H5N1 高病原性鳥インフルエンザウイルスの性状**  
山本 直樹<sup>1)</sup>、遠藤 真由美<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、吉田 裕美<sup>1)</sup>、佐藤 由佳<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、Damdinjav Batchluun<sup>2)</sup>、  
Ruuragchaa Sodnomdarjaa<sup>2)</sup>、喜田 宏<sup>1,3)</sup>  
1) 北海道大学 大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2) モンゴル国立中央獣医学研究所、  
3) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
- P2-048 2009/10 シーズンのインフルエンザ流行株と平成 22 年度のワクチン株**  
岸田 典子<sup>1)</sup>、徐 紅<sup>1)</sup>、高下 恵美<sup>1)</sup>、藤崎 誠一郎<sup>1)</sup>、菅原 裕美<sup>1)</sup>、伊東 玲子<sup>1)</sup>、土井 輝子<sup>1)</sup>、江島 美穂<sup>1)</sup>、  
金 南希<sup>1)</sup>、本村 和嗣<sup>2)</sup>、佐藤 彩<sup>1)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>、網 康至<sup>3)</sup>、須崎 百合子<sup>3)</sup>、小口 晃央<sup>4)</sup>、山崎 秀司<sup>4)</sup>、  
藤田 信之<sup>4)</sup>、小淵 正次<sup>1)</sup>、氏家 誠<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、小田切 孝人<sup>1)</sup>、全国地方衛生研究所  
1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、  
3) 国立感染症研究所 動物管理室、4) 独立行政法人製品評価技術基盤機構

- P2-049** 同一患者の咽頭および糞便検体から分離された AH1pdm インフルエンザウイルスの解析  
川上 千春<sup>1)</sup>、宇宿 秀三<sup>1)</sup>、七種 美和子<sup>1)</sup>、熊崎 真琴<sup>1)</sup>、Nongluk Sriwilajaroen<sup>2,3)</sup>、鈴木 康夫<sup>3)</sup>  
1) 横浜市衛生研究所 検査研究課、2) Faculty of Medicine, Thammasat University, Thailand、3) 中部大学・生命健康科学部
- P2-050** 医療従事者における新型インフルエンザ不顕性感染  
小田切 崇、鈴木 陽、神垣 太郎、押谷 仁  
東北大学大学院 医学系研究科 微生物学分野
- P2-051** インフルエンザウイルスを対象としたウイルスゲノム配列の変化予測  
岩崎 裕貴、阿部 貴志、和田 健之介、伊藤 正恵、池村 淑道  
長浜バイオ大学
- P2-052** オセルタミビル耐性株と感受性株が同時に検出された新型インフルエンザウイルス A (H1N1/2009) の変異解析  
濱田 信之<sup>1)</sup>、原 好勇<sup>1)</sup>、柏木 孝仁<sup>1)</sup>、今村 宜寛<sup>1)</sup>、中園 陽子<sup>1)</sup>、千々和 勝己<sup>2)</sup>  
1) 久留米大学 医学部 感染医学講座 臨床感染医学部門、2) 福岡県保健環境研究所
- P2-053** 2009 パンデミックインフルエンザウイルス (H1N1pdm) 感染患者の HA 遺伝子における遺伝子多様性の解析  
安木 (上田) 真世<sup>1,2)</sup>、楊 成松<sup>1,2)</sup>、中村 昇太<sup>3,4)</sup>、大道寺 智<sup>2)</sup>、渡邊 洋平<sup>1)</sup>、額 綱 律子<sup>1,5)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,6)</sup>、安永 照雄<sup>3)</sup>、飯田 哲也<sup>2,4)</sup>、堀井 俊宏<sup>2,4,7)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>、高橋 和郎<sup>8)</sup>、中屋 隆明<sup>2,4)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) 大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター、3) 大阪大学 微生物病研究所 附属遺伝情報実験センター、4) 大阪大学 微生物病研究所 感染症メタゲノム解析分野、5) 財団法人 阪大微生物研究会、6) 株式会社ベネシス 安全管理部、7) 大阪大学 微生物病研究所 分子原虫学分野、8) 大阪府立公衆衛生研究所
- P2-054** RT-LAMP によるインフルエンザウイルス遺伝子の検出とスクリーニング法としての有用性評価  
吉田 裕美<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、遠藤 真由美<sup>1)</sup>、本島 昌幸<sup>1)</sup>、吉野 史<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、副島 隆浩<sup>2)</sup>、仙波 昌平<sup>2)</sup>、神田 秀俊<sup>2)</sup>、櫻井 健二<sup>3)</sup>、喜田 宏<sup>1,4)</sup>  
1) 北海道大学 獣医学研究科 微生物学教室、2) 栄研化学株式会社、3) 国際獣疫事務局 アジア太平洋地域事務所、4) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
- P2-055** 新型インフルエンザ特異的マウス単クローン抗体の作出および簡易テストキットへの応用およびその評価  
佐々木 正大<sup>1)</sup>、水池 里佳<sup>1)</sup>、馬場 宏一<sup>2)</sup>、岩本 久彦<sup>3)</sup>、芝井 勇亮<sup>3)</sup>、小坂 美恵子<sup>4)</sup>、額 綱 律子<sup>1)</sup>、楊 成松<sup>1)</sup>、ドゥ アナリワ<sup>1)</sup>、辻川 宗男<sup>5)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,6)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) ばば小児科、3) 田中貴金属工業株式会社 メディカル部、4) アルフレッサファーマ株式会社 診断薬研究開発部、5) 株式会社ベネシス 大阪研究所、6) 株式会社ベネシス 安全管理部
- P2-056** Ligase Chain Reaction (LCR) 法を用いた簡便なオセルタミビル耐性鑑別法の開発  
田中 智之<sup>1)</sup>、斎藤 博之<sup>2)</sup>、新聞 敬行<sup>3)</sup>、倉田 毅<sup>4)</sup>、皆川 洋子<sup>5)</sup>、高橋 和郎<sup>6)</sup>、調 恒明<sup>7)</sup>、平良 勝也<sup>8)</sup>  
1) 堺市衛生研究所、2) 秋田県健康環境センター、3) 東京都健康安全研究センター、4) 富山県衛生研究所、5) 愛知県衛生研究所、6) 大阪府立公衆衛生研究所、7) 山口県環境保健センター、8) 沖縄県衛生環境研究所
- P2-057** Real-Time RT-PCR によるパンデミックインフルエンザ (H1N1) 2009 サーベイランス検体中ウイルス量の検討  
伊藤 正寛<sup>1)</sup>、杉江 真理子<sup>1)</sup>、吉岡 政純<sup>1)</sup>、近野 真由美<sup>1)</sup>、安武 廣<sup>1)</sup>、石川 和弘<sup>1)</sup>、奴久妻 聡一<sup>2)</sup>、矢野 拓弥<sup>3)</sup>、庵原 俊昭<sup>4)</sup>  
1) 京都市 衛生環境研究所、2) 神戸市 環境保健研究所、3) 三重県 保健環境研究所、4) 国立病院機構 三重病院
- P2-058** A/H1N1pdm タミフル耐性株の迅速検出法の開発  
中内 美名<sup>1)</sup>、高山 郁代<sup>1)</sup>、高下 恵美<sup>1)</sup>、江島 美穂<sup>1)</sup>、藤崎 誠一郎<sup>1)</sup>、金 南希<sup>1)</sup>、氏家 誠<sup>1)</sup>、小淵 正次<sup>1)</sup>、大場 邦弘<sup>2)</sup>、許斐 奈美<sup>3)</sup>、小田切 孝人<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、影山 努<sup>1)</sup>、全国 地方衛生研究所<sup>4)</sup>  
1) 国立感染症研究所・インフルエンザウイルス研究センター、2) 公立昭和病院・小児科、3) 日本大学・医学部 (高橋医院)、4) 全国地方衛生研究所
- P2-059** 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N1) 特異モノクローナル抗体とイムノクロマト簡易検出法への応用  
宮川 英二<sup>1)</sup>、内田 好昭<sup>1)</sup>、藤井 信之<sup>1)</sup>、小垣 弘之<sup>1)</sup>、白川 貴志<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>2)</sup>、喜田 宏<sup>2,3)</sup>  
1) 富士レボロ株式会社 研究開発部門、2) 富士レボロ株式会社 研究開発部門、3) 北海道大学 獣医学研究科微生物、4) 北海道大学 人獣共有感染症リサーチセンター

- P2-060** インフルエンザ迅速診断キットのH1N1豚由来パンデミックウイルス抗原検出感度の検討  
吉永 貴治<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>2)</sup>、皆川 英孝<sup>1)</sup>、三田村 敬子<sup>3)</sup>、市川 正孝<sup>4)</sup>、山崎 雅彦<sup>5)</sup>、清水 英明<sup>6)</sup>、川上 千春<sup>7)</sup>、小川 知子<sup>8)</sup>、岡松 正敏<sup>2)</sup>、迫田 義博<sup>2)</sup>、喜田 宏<sup>2,9)</sup>  
1) 富士レピオ株式会社 開発部門、2) 北海道大学大学院獣医学研究科微生物学教室、3) 永寿総合病院小児科、4) 市川こどもクリニック、5) 座間小児科、6) 川崎市衛生研究所、7) 横浜市衛生研究所、8) 千葉県衛生研究所、9) 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター
- P2-061** 鳥インフルエンザウイルスのHA 遺伝子を幅広く検出するリアルタイム PCR 法  
塚本 健司<sup>1,2)</sup>、野口 大吾<sup>1)</sup>、宍戸 牧子<sup>1)</sup>、多田 達哉<sup>1,2)</sup>、鈴木 耕太郎<sup>1,2)</sup>  
1) 農研機構 動物衛生研究所 人獣感染症研究チーム、2) JST CREST
- P2-062** 新型インフルエンザウイルス RNA 定量化の試み  
吉岡 政純<sup>1)</sup>、伊藤 正寛<sup>1)</sup>、近野 真由美<sup>1)</sup>、杉江 真理子<sup>1)</sup>、木澤 正人<sup>1)</sup>、安武 廣<sup>1)</sup>、石川 和弘<sup>1)</sup>、松井 祐佐公<sup>2)</sup>、奴久妻 聡一<sup>3)</sup>、田中 敏嗣<sup>3)</sup>  
1) 京都市衛生環境研究所、2) 京都市保健福祉局、3) 神戸市環境保健研究所
- P2-063** Direct RT-LAMP 法を用いたインフルエンザウイルス A/H1N1pdm 検出法の開発  
影山 努<sup>1)</sup>、中内 美名<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、吉川 哲史<sup>2)</sup>、中井 英剛<sup>2)</sup>、菅田 健<sup>2)</sup>、吉川 明子<sup>2)</sup>、浅野 喜造<sup>2)</sup>、井平 勝<sup>3)</sup>  
1) 国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター、2) 藤田保健衛生大学医学部小児科、3) 藤田保健衛生大学医療科学部臨床工学科
- P2-064** 抗インフルエンザウイルス薬と漢方薬の併用療法による早期ウイルス駆逐効果の検討  
扇谷 えり子<sup>1)</sup>、喜多 正和<sup>1)</sup>、松田 修<sup>1)</sup>、今西 二郎<sup>2)</sup>  
1) 京都府立医科大学 医学研究科 免疫・微生物学、2) 明治国際医療大学 統合医療学
- P2-065** インフルエンザ臨床分離株に対するグアバ茶の効果  
福本 修一<sup>1)</sup>、Nongluk Sriwilaijaroen<sup>2,3)</sup>、平松 宏明<sup>3)</sup>、鈴木 康夫<sup>3)</sup>  
1) ポッカコーポレーション、2) Faculty of Medicine, Thammasat University, Thailand、3) 中部大学 生命健康科学部 生命医科学科
- P2-066** 高病原性鳥インフルエンザウイルス H5N1 に対して中和活性を有するヒト単クローン性 Fab 抗体の単離に関する研究  
上地 玄一郎<sup>1,2)</sup>、Le Thi Quynh Mai<sup>2,3)</sup>、小野 悦郎<sup>1)</sup>、山城 哲<sup>2,5)</sup>  
1) 長崎大学 熱帯医学研究所 病原体解析部門、2) 長崎大学ベトナム熱帯病・新興感染症研究拠点、3) ベトナム国立衛生疫学研究所、4) 九州大学大学院医学研究院、5) 熱帯医学研究所アジア・アフリカ感染症研究施設
- P2-067** 抗インフルエンザ薬ペラミビル(ラピアクタ)のインフルエンザウイルス感染マウスに対する薬物動態パラメーターの解析  
児玉 誠、吉田 立、北野 光崇、佐藤 彰彦  
塩野義製薬株式会社創薬疾患研究所
- P2-068** 季節性インフルエンザウイルスに対するヒト型単クローン中和抗体のマウスにおける感染防御効果  
瀨瀬 律子<sup>1,4)</sup>、井上 雄嗣<sup>1)</sup>、久原 基樹<sup>2)</sup>、佐々木 正大<sup>1)</sup>、安木 真世<sup>1)</sup>、井手野 祥次<sup>3)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,3)</sup>、奥野 良信<sup>4)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) 株式会社 医学微生物学研究所、3) 株式会社 ベネシス、4) 財団法人 阪大微生物病研究会
- P2-069** 既存薬剤のインフルエンザ治療効果  
福岡 万佑子<sup>1,2)</sup>、漆崎 友彦<sup>3)</sup>、竹村 知明<sup>3)</sup>、武藤(細川) 淳二<sup>2)</sup>、桑田 一夫<sup>2)</sup>  
1) 岐阜大学 連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻、2) 岐阜大学 人獣感染防御研究センター、3) アビ株式会社 長良川リサーチセンター
- P2-070** 季節性 B 型インフルエンザウイルス感染カニクイザルに対するペラミビルの治療効果  
北野 光崇<sup>1,2)</sup>、伊藤 靖<sup>2)</sup>、児玉 誠<sup>1)</sup>、吉田 立<sup>1)</sup>、石垣 宏仁<sup>2)</sup>、仲山 美沙子<sup>2)</sup>、佐藤 彰彦<sup>1)</sup>、小笠原 一誠<sup>2)</sup>  
1) 塩野義製薬株式会社 創薬・疾患研究所、2) 滋賀医科大学 病理学講座 疾患制御病理学部門
- P2-071** 高濃度次亜塩素酸電解水「パーフェクトペリオ」によるウイルスの不活化作用  
吉仲 由之<sup>1)</sup>、カイルール マティン<sup>2,3)</sup>、小柳 岳大<sup>2)</sup>、田上 順次<sup>2)</sup>、山岡 昇司<sup>1)</sup>  
1) 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 ウイルス制御、2) 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 う蝕制御学、3) (株)パーフェクトペリオ

- P2-072** シャクヤクの花弁抽出液の抗インフルエンザウイルス効果について  
柳川 容子、田中 和生  
昭和大学 医学部 微生物学
- P2-073** 実験的空中浮遊インフルエンザウイルスの回収・定量系の開発とその応用  
西村 秀一<sup>1)</sup>、阪田 総一郎<sup>2)</sup>  
1) 国立病院機構仙台医療センター 臨床研究部 ウイルスセンター、2) 高砂熱学工業株式会社 設計部
- P2-074** 浮遊(エアロゾル)インフルエンザの感染性とその不活化  
吉田 与志博<sup>1)</sup>、大黒 徹<sup>1)</sup>、武本 眞清<sup>1)</sup>、倉本 崇<sup>2)</sup>、白木 公康<sup>1)</sup>  
1) 富山大学 医学部 ウイルス学、2) 富山大学 医学部 小児科学
- P2-075** RT-PCR 法とプラークアッセイ法による空中浮遊インフルエンザウイルスの不活化性能の評価  
仲田 幸博<sup>1)</sup>、杉田 直記<sup>1)</sup>、清水 一史<sup>2)</sup>  
1) ミドリ安全株式会社 環境機器事業本部 技術開発部、2) 日本大学 医学部
- P2-076** 酸化チタン光触媒によるインフルエンザウイルスの感染価低減効果とその機構解明  
中野 竜一<sup>1,2)</sup>、石黒 斉<sup>1,3)</sup>、姚 燕燕<sup>1,3)</sup>、梶岡 実雄<sup>1,2)</sup>、窪田 吉信<sup>1,3)</sup>  
1) 財団法人神奈川科学技術アカデミー 重点研究室 光触媒グループ、2) 財団法人北里環境科学センター、  
3) 横浜国立大学大学院 医学研究科 泌尿器病態学
- P2-077** インフルエンザウイルスによるパンデミックを予防する鶏卵抗体の開発  
堀江 健二<sup>1,2)</sup>、扇谷 えり子<sup>1)</sup>、中屋 隆明<sup>3)</sup>、鄭 東赫<sup>4)</sup>、尹 崇燮<sup>2)</sup>、金 武祚<sup>2)</sup>、松田 修<sup>1)</sup>、喜多 正和<sup>1)</sup>、  
今西 二郎<sup>5)</sup>  
1) 京都府立医科大学 免疫・微生物学、2) 株式会社ファーマフーズ、3) 阪大微研 感染症国際研究センター、  
4) 株式会社バイオインディスト、5) 明治国際医療大学 統合医療学
- P2-078** 小児科病棟スタッフにおける新型インフルエンザワクチン接種前後での抗体価の推移  
吉岡 幹朗<sup>1)</sup>、小関 直子<sup>2)</sup>、梁詒 紀子<sup>1)</sup>、縄手 満<sup>1)</sup>、鹿野 高明<sup>1)</sup>、高橋 豊<sup>1)</sup>、石黒 信久<sup>3)</sup>、矢野 公一<sup>4)</sup>  
1) KKR 札幌医療センター、2) 市立札幌病院 小児科、3) 北海道大学医学部附属病院感染制御部、  
4) 札幌市衛生研究所(現：札幌市保健所)
- P2-079** 経鼻インフルエンザワクチンにおける抗原性の異なる株による追加免疫時の免疫応答の解析  
伊藤 良<sup>1,3)</sup>、相内 章<sup>1,2)</sup>、浅沼 秀樹<sup>2)</sup>、鈴木 忠樹<sup>1)</sup>、千葉 丈<sup>3)</sup>、田村 慎一<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>、  
長谷川 秀樹<sup>1,2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、  
3) 東京理科大学 大学院 基礎工学研究科 生物工学専攻
- P2-080** 日本の2009年 H1N1 新型インフルエンザウイルス感染症剖検例の病理  
中島 典子<sup>1)</sup>、佐藤 由子<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>1)</sup>、長谷川 秀樹<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 国立感染症研究所 インフルエンザ研究センター
- P2-081** 新型インフルエンザ関連死亡例の検討  
西口 智子<sup>1)</sup>、内野 清子<sup>1)</sup>、三好 龍也<sup>1)</sup>、佐多 徹太郎<sup>2)</sup>、田中 智之<sup>1)</sup>  
1) 堺市衛生研究所、2) 国立感染症研究所感染病理部

## 3日目 11月9日(火)

## 第1会場(1F ホール)

## 一般口演

9:00~10:15

## オルソミクソ(9)

座長: 佐藤 彰彦(塩野義製薬株式会社創薬・疾患研究所)  
山本 典生(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)

## 03-1-01 新型インフルエンザ感染マウスモデルにおけるヒト免疫グロブリン製剤の抗ウイルス効果

萩原 克郎<sup>1)</sup>、川見 祥代<sup>1)</sup>、加藤(森) ゆうこ<sup>1)</sup>、柚木 幹弘<sup>2)</sup>、高橋 和郎<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>4)</sup>

1) 酪農学園大学 獣医学部、2) 株式会社ベネシス、3) 大阪府立公衆衛生研究所、4) 大阪大学微生物病研究所

## 03-1-02 長時間作用型インフルエンザ薬 CS-8958 に対するウイルス低感受性化の in vitro 及び in vivo での検討

久保 淑、角田 正代、友澤 尚徳、山下 誠

第一三共株式会社 生物医学研究所

## 03-1-03 In vitro Anti-influenza virus activity of pentagalloylglucose (PGG) and its mode of action

劉 格<sup>1)</sup>、熊 盛<sup>1,2)</sup>、向陽飛<sup>2)</sup>、郭朝万<sup>1)</sup>、葛峰<sup>1)</sup>、張 穎君<sup>3)</sup>、王 一飛<sup>2)</sup>、北里 海雄<sup>1)</sup>

1) 長崎大学 医歯薬学総合 感染分子薬学、2) 暨南大生物医薬研究セ、3) 中国科学院昆明植物研究所

## 03-1-04 Antiviral effect of strictinin on influenza virus replication

Saha Repon Kumer<sup>1)</sup>、高橋 忠伸<sup>1)</sup>、紅林 佑希<sup>1)</sup>、福島 圭稜<sup>1)</sup>、鈴木 隆<sup>1,2)</sup>

1) 静岡県立大学 薬学部 生化学分野、2) 静岡県立大学グローバル COE

## 03-1-05 亜型間交差中和抗体 C179 の H5N1 高病原性鳥インフルエンザおよび 2009 年 H1N1 パンデミックウイルスに対する防御効果

坂部 沙織<sup>1)</sup>、岩附 研子<sup>1)</sup>、堀本 泰介<sup>1,2)</sup>、高野 量<sup>1)</sup>、額 律子<sup>3)</sup>、奥野 良信<sup>4)</sup>、河岡 義裕<sup>1,5,6)</sup>

1) 東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、2) 東京大学農学部獣医微生物学研究室、

3) 大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野、4) 財団法人阪大微生物病研究会観音寺研究所、

5) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター、6) ERATO 河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト

## 一般口演

10:15~11:30

## オルソミクソ(10)

座長: 板村 繁之(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)  
長谷川 秀樹(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)

## 03-1-06 経鼻粘膜投与型インフルエンザワクチンによるブースター効果と高病原性 H5N1 ウイルスの感染防御の検討

長谷川 秀樹<sup>1,2)</sup>、相内 章<sup>1,2)</sup>、網 康至<sup>3)</sup>、永田 典代<sup>2)</sup>、田村 慎一<sup>2)</sup>、谷本 武史<sup>4)</sup>、真鍋 貞夫<sup>4)</sup>、石川 豊数<sup>4)</sup>、宮崎 隆<sup>5)</sup>、小田切 孝人<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、倉田 毅<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター、2) 国立感染症研究所感染病理部、

3) 国立感染症研究所動物管理室、4) 財団法人阪大微生物病研究会、5) 東興薬品工業株式会社

## 03-1-07 H5N1 インフルエンザウイルス HA 組換えワクチニアウイルスの単回接種による感染防御能についての解析

宗片 圭祐<sup>1)</sup>、安井 文彦<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>2)</sup>、喜田 宏<sup>2)</sup>、柴田 伸一<sup>3)</sup>、村上 利夫<sup>3)</sup>、小原 道法<sup>1)</sup>

1) 東京都臨床医学総合研究所 感染制御プロジェクト、2) 北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室、

3) 化学及血清療法研究所

## 03-1-08 2009/10 季節性インフルエンザワクチンの経鼻投与による A/H1N1 pdm ウイルスの感染阻害効果の検討

相内 章<sup>1,2)</sup>、伊藤 良<sup>2)</sup>、浅沼 秀樹<sup>1)</sup>、鈴木 忠樹<sup>2)</sup>、谷本 武史<sup>3)</sup>、小田切 孝人<sup>1)</sup>、田村 慎一<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>2)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1,2)</sup>

1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2) 国立感染症研究所 感染病理部、

3) 一般財団法人 阪大微生物病研究会

**03-1-09 抗体担持エアフィルターを用いた高病原性鳥インフルエンザウイルス H5N1 感染防御の試み**

塚本 康浩<sup>1)</sup>、足立 和英<sup>1)</sup>、草野 隆之<sup>2)</sup>、上山 洋一郎<sup>2)</sup>

1) 京都府立大学 生命環境科学研究科、2) 富士フイルム R & D 統括本部 医薬品・ヘルスケア研究所

**03-1-10 インフルエンザ中和抗体発現プラスミドを用いた遺伝子治療による感染と重症化の阻止**

山崎 達也<sup>1)</sup>、二宮 大輔<sup>1)</sup>、長島 麻里亜<sup>1)</sup>、荒井 由佳<sup>1)</sup>、手嶋 保智<sup>1)</sup>、相内 章<sup>2,3)</sup>、長谷川 秀樹<sup>2,3)</sup>、藤本 陽<sup>1)</sup>、千葉 丈<sup>1)</sup>

1) 東京理科大 基礎工、2) 国立感染研インフルエンザウイルス研究センター、3) 国立感染研感染病理部

**シンポジウム9**

13:00～15:15

**ウイルストロピズムのダイナミクス**

座長：小池 智（東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所）  
高折 晃史（京都大学大学院医学研究科）

**S9-1 APOBEC3とレトロウイルスの種特異性**

高折 晃史

京都大学大学院医学研究科

**S9-2 TRIM5αと HIV/SIV の種特異性**

中山 英美

大阪大学微生物病研究所

**S9-3 トバモウイルスの複製阻害因子と宿主域**

石橋 和夫、石川 雅之

農業生物資源研究所植物微生物間相互作用研究ユニット

**S9-4 宿主プロテアーゼの関与する SARS コロナウイルスの組織指向性について**

松山 州徳

国立感染症研究所ウイルス第三部

**S9-5 麻疹ウイルスの上皮細胞感染機構**

竹田 誠

国立感染症研究所ウイルス第三部

**第2会場(4F 大会議室)**

**一般口演**

9:00～10:15

**レンチウイルス(9)**

座長：五十嵐樹彦（京都大学ウイルス研究所）

神奈木真理（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）

**03-2-01 HIV-1 感染細胞を傷害する NK レセプター陽性 T 細胞**

高橋 めぐみ、稲垣 真一郎、渡理 英二、高橋 秀実

日本医科大学 医学部 微生物免疫

**03-2-02 ビルマ産アカゲザルにおける MHC クラス I ハプロタイプの SIV 感染への影響の解析**

野村 拓志<sup>1)</sup>、山本 浩之<sup>1)</sup>、成瀬 妙子<sup>2)</sup>、木村 彰方<sup>2)</sup>、俣野 哲朗<sup>1)</sup>

1) 東京大学 医科学研究所 国際感染症研究センター、2) 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 難治病態研究部門 分子病態分野

**03-2-03 CD8 陽性細胞の SIV 複製抑制能と抗原特異的 CTL レベルの相関の解析**

岩本 南、石井 洋、山本 浩之、武内 寛明、俣野 哲朗

東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター



**03-2-04 多剤併用療法実施下のサルエイズモデルにおけるリンパ節内でのウイルス新規感染の可能性**  
堀池 麻里子<sup>1)</sup>、松山 めぐみ<sup>1)</sup>、安井 美加<sup>1)</sup>、佐藤 彰彦<sup>2)</sup>、小林 剛<sup>1)</sup>、三浦 智行<sup>1)</sup>、五十嵐 樹彦<sup>1)</sup>  
1) 京都大学 ウイルス研究所 霊長類モデル研究領域、2) 塩野義製薬 創薬・疾患研究所

**03-2-05 新規組換え技術による R5 指向性 clade C env をもつサル指向性 HIV-1 の創出**  
大附 寛幸、藤田 泰久、小林 剛、三浦 智行、五十嵐 樹彦  
京都大学 ウイルス研究所 霊長類モデル研究領域

一般口演

10:15～11:30

レンチウイルス(10)

座長：岡本 実佳(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)  
藤田美歌子(熊本大学薬学部)

**03-2-06 細胞膜透過性 MA 部分ペプチドライブラリーを用いた新規抗 HIV-1 ペプチドの探索と創出**  
村上 努<sup>1)</sup>、小森谷 真央<sup>2)</sup>、鈴木 慎太郎<sup>2)</sup>、橋本 知恵<sup>2)</sup>、鳴海 哲夫<sup>2)</sup>、野村 渉<sup>2)</sup>、山本 直樹<sup>3)</sup>、玉村 啓和<sup>2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 メディシナルケミストリー分野、  
3) 国立シンガポール大学 医学部

**03-2-07 新規 HIV-1 逆転写酵素 RNase H 活性阻害剤の開発**  
星野 忠次<sup>1)</sup>、柳田 浩志<sup>1)</sup>、松元 輝礁<sup>1)</sup>、尾湯 将一<sup>1)</sup>、高江州 善寿<sup>1)</sup>、浦野 恵美子<sup>2)</sup>、市川 玲子<sup>2)</sup>、  
村上 努<sup>2)</sup>、駒野 淳<sup>2)</sup>  
1) 千葉大学 薬学研究院、2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

**03-2-08 酵素活性を指標とした HIV プロテアーゼ薬剤耐性新規検査法の開発**  
正岡 崇志<sup>1,2)</sup>、杉浦 互<sup>1,3,4)</sup>、澤崎 達也<sup>5)</sup>、松永 智子<sup>6)</sup>、遠藤 弥重太<sup>5)</sup>、巽 正志<sup>3)</sup>、Robert Shafer<sup>7)</sup>、山  
本 直樹<sup>8)</sup>、梁 明秀<sup>6)</sup>  
1) 名古屋医療センター 臨床研究センター、2) エイズ予防財団リサーチレジデント、3) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、  
4) 名古屋大学 医学部 医学系研究科 免疫不全統御学、5) 無細胞生命科学工学研究センター 愛媛大学、  
6) 横浜市立大学 医学部 医学研究科分子生体防御学、  
7) Division of Infectious Diseases, Department of Medicine, Stanford University, USA、  
8) Department of Microbiology, Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore

**03-2-09 HIV-1 広域中和抗体誘導抗原の開発**  
高橋 秀宗<sup>1)</sup>、飛梅 実<sup>1)</sup>、金子 恵子<sup>1)</sup>、巽 正志<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 国立感染症研究所 エイズセンター

**03-2-10 HIV-1 defense vaccine により誘導される抗 gp140 抗体の交叉免疫誘導法の構築**  
八城 勢造<sup>1)</sup>、野崎 清輝<sup>1)</sup>、三隅 将吾<sup>2)</sup>、高橋 義博<sup>3)</sup>、増山 光明<sup>3)</sup>、杉本 幸彦<sup>2)</sup>、高宗 暢暁<sup>2)</sup>、庄司 省三<sup>2,4)</sup>  
1) 熊本大学大学院 薬学教育部 薬学生化学分野、2) 熊本大学大学院 生命科学研究部 薬学生化学分野、3) 株式会社 新日本科学、  
4) 熊本保健科学大学

シンポジウム 10

13:00～15:15

ウイルスの細胞侵入

座長：柳 雄介(九州大学大学院医学研究院)  
鶴留 雅人(三重大学大学院医学系研究科)

**S10-1 神経組織指向性αヘルペスウイルスのエントリーレセプター**  
末永 忠広  
大阪大学微生物病研究所

**S10-2 エンテロウイルス71 感染受容体とその機能**  
山吉 誠也  
東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所

**S10-3 フィロウィルスの細胞侵入機構**  
高田 礼人  
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター

**S10-4 HIV の細胞侵入におけるエンドサイトーシスと膜融合**

宮内 浩典  
国立感染症研究所エイズ研究センター

**S10-5 麻疹ウイルスと受容体 SLAM の相互作用と膜融合**

橋口 隆生  
九州大学大学院医学研究院

**第3会場(4F 会議室2・3・4)**

**一般口演**

9:00～10:15

**ヘルペス(6)**

座長：神田 輝(愛知県がんセンター研究所腫瘍ウイルス学部)  
林 一彦(鳥取大学医学部)

**03-3-01 EBV 感染細胞の免疫逃避における溶解感染の役割**

勝村 紘一、丸尾 聖爾、高田 賢藏  
北海道大学 遺伝子病制御研究所 癌ウイルス分野

**03-3-02 EB ウイルス核蛋白質 EBNA3C によるエピジェネティックな p16 (INK4A) の発現抑制機構**

丸尾 聖爾、高田 賢藏  
北海道大学 遺伝子病制御研究所 癌ウイルス分野

**03-3-03 演題取下げ**

**03-3-04 EBV 関連 T/NK リンパ腫におけるバルプロ酸の効果と作用機序**

岩田 誠子<sup>1)</sup>、牛島 洋子<sup>1)</sup>、伊藤 嘉規<sup>2)</sup>、川田 潤一<sup>3)</sup>、西山 幸廣<sup>1)</sup>、木村 宏<sup>1)</sup>  
1)名古屋大学大学院 医学研究科 ウイルス学、2)名古屋大学大学院 医学研究科 小児科、  
3)あいち小児保健医療総合センター 感染免疫科

**03-3-05 EBNA1 蛋白質の DNA 結合能を阻害する化合物の探索研究**

野口 耕司<sup>1)</sup>、安田 愛<sup>1)</sup>、片山 和浩<sup>1)</sup>、三橋 純子<sup>1)</sup>、蓑島 維文<sup>2)</sup>、坂東 俊和<sup>2)</sup>、杉山 弘<sup>2)</sup>、神田 輝<sup>3)</sup>、  
杉本 芳一<sup>1)</sup>  
1)慶應義塾大学 薬学部 化学療法学講座、2)京都大学大学院 理学研究科化学専攻 生物化学分科、  
3)愛知県がんセンター研究所 腫瘍ウイルス学部

**一般口演**

10:15～11:30

**ヘルペス(7)**

座長：福士 秀人(岐阜大学応用生物科学部)  
藤原 成悦(国立成育医療研究センター研究所母児感染研究部)

**03-3-06 Flow cytometric *in situ* hybridization 法によるウイルス感染細胞同定 / 定量法の EBV 関連 T/NK リンパ増殖性疾患への臨床応用**

河邊 慎司<sup>1)</sup>、伊藤 嘉規<sup>1)</sup>、後藤 研誠<sup>1)</sup>、岩田 誠子<sup>2)</sup>、西山 幸廣<sup>2)</sup>、木村 宏<sup>2)</sup>  
1)名古屋大学 大学院 医学系研究科 小児科学、2)名古屋大学 大学院 医学系研究科 ウイルス学

**03-3-07 ヒトリンパ組織を用いた Epstein-Barr Virus 感染モデルの確立とその応用**

後藤 研誠<sup>1)</sup>、伊藤 嘉規<sup>1)</sup>、丸尾 聖爾<sup>2)</sup>、高田 賢藏<sup>2)</sup>、岩田 誠子<sup>3)</sup>、五島 典<sup>3)</sup>、木村 宏<sup>3)</sup>  
1)名古屋大学 大学院 小児科、2)北海道大学 遺伝子病制御研究所 癌ウイルス分野、3)名古屋大学 大学院 ウイルス学

**03-3-08 ヒト化マウスを用いた EBV 関連血球貪食性リンパ組織球症モデルマウスの確立**

佐藤 佳<sup>1)</sup>、三沢 尚子<sup>2)</sup>、Nie Chuanyi<sup>2)</sup>、佐藤 賢文<sup>2)</sup>、松岡 雅雄<sup>2)</sup>、高橋 玲<sup>3)</sup>、伊藤 守<sup>4)</sup>、高田 賢藏<sup>5)</sup>、  
小柳 義夫<sup>2)</sup>  
1)京都大学 ウイルス研究所 新興ウイルス研究センター、2)京都大学 ウイルス研究所、  
3)京都大学 医学研究科 腫瘍生物学講座、4)実験動物中央研究所、5)北海道大学 遺伝子病制御研究所



03-3-09 EBウイルス関連血球貪食症候群モデルマウスの作製と解析

今留 謙一<sup>1,2)</sup>、矢島 美沙子<sup>1)</sup>、川野 布由子<sup>1)</sup>、市川 紗弓<sup>1,3)</sup>、清水 則夫<sup>3)</sup>、中村 浩幸<sup>1)</sup>、松田 剛<sup>1)</sup>、駒野 淳<sup>4)</sup>、山本 直樹<sup>5)</sup>、藤原 成悦<sup>1)</sup>

1) 国立成育医療研究センター研究所 母児感染研究部、2) 国立成育医療研究センター 臨床研究センター、3) 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ウイルス治療学、4) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、5) 国立シンガポール大学 微生物学教室

03-3-10 EBVの終生持続感染ウサギモデル

林 一彦<sup>1)</sup>、高島 一昭<sup>1)</sup>、金井 亨輔<sup>2)</sup>、長田 佳子<sup>1)</sup>、佐野 仁志<sup>1)</sup>、桑本 聡史<sup>1)</sup>、加藤 郁<sup>1)</sup>

1) 鳥取大学 医学部 分子病理学、2) 国立感染症研究所 ウイルス第1部

シンポジウム 11

13:00 ~ 15:15

実験用霊長類を用いたウイルス研究：基礎から応用まで

座長：明里 宏文(京都大学霊長類研究所)  
俣野 哲朗(東京大学医科学研究所)

S11-1 進化医科学的観点から見た霊長類モデル

木村 彰方  
東京医科歯科大学難治疾患研究所

S11-2 霊長類を用いたデング熱動物モデルの確立

倉根 一郎  
国立感染症研究所ウイルス第一部

S11-3 HIV-1 感染霊長類モデルの開発

明里 宏文  
京都大学霊長類研究所

S11-4 C型肝炎ウイルス JFH-1 株患者血清のチンパンジーへの感染実験

加藤 孝宣  
国立感染症研究所ウイルス第二部

S11-5 ウイルスベクターを用いたサル脳への遺伝子導入によるモデル動物の開発

高田 昌彦  
京都大学霊長類研究所

第4会場(4F 会議室5)

一般口演

9:00 ~ 10:15

バルボ、サーコ

座長：清野 透(国立がん研究センター研究所ウイルス部)  
森内 昌子(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

03-4-01 アデノ随伴ウイルスの部位特異的ゲノム組込み機構の解析

卜部 匡司、宮田 五月、大西 央、塚原 智典、水上 浩明、久米 晃啓、小澤 敬也  
自治医科大学 医学部 遺伝子治療研究部

03-4-02 AAVに対する中和抗体検査法の改良とカニクイザルコロニーにおける陽性率

水上 浩明、八木 洋也、塚原 智典、卜部 匡司、久米 晃啓、小澤 敬也  
自治医科大学 分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部

03-4-03 パルボウイルス B19の細胞侵入：クラスリン非依存性・コレステロール非依存性エンドサイトーシス経路の可能性

石井 恵子、小槻 怜子、伊藤 貴子、廣木 慶子、遠藤 綾、川上 和義  
東北大学大学院 医学系研究科 感染分子病態解析学

**03-4-04 ヒューマンボカウイルス様粒子の作製およびその応用**

李 天成<sup>1)</sup>、方 荅<sup>1)</sup>、王 澤均<sup>1)</sup>、宋 士利<sup>1)</sup>、片岡 紀代<sup>2)</sup>、鈴木 哲朗<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 国立感染症研究所 病理部、  
3) 浜松医科大学医学部医学科感染症学講座感染機構解析分野

**03-4-05 TT ウイルスの胎内感染：ベトナム出生コホートにおける検討**

森内 昌子<sup>1)</sup>、宮川 雅美<sup>1,2)</sup>、西村 泰輔<sup>1,2)</sup>、本村 秀樹<sup>1,2)</sup>、吉野 弘<sup>3)</sup>、吉田 レイミント<sup>3)</sup>、有吉 紅也<sup>3)</sup>、  
Le Huu Tho<sup>4)</sup>、Dang Duc Anh<sup>5)</sup>、森内 浩幸<sup>1,2)</sup>

1) 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 感染免疫学、2) 長崎大学 病院 小児科、3) 長崎大学 熱帯医学研究所 臨床部門、  
4) カンホア省保健局、5) ベトナム国立衛生疫学研究所

**第5会場(5F 小ホール)**

**一般口演**

9:00～10:15

**肝炎ウイルス(7)**

座長：水落 利明(国立感染症研究所血液・安全性研究部)  
溝上 雅史(国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター)

**03-5-01 C型肝炎ウイルス NS4B と lipid droplet の相互作用**

田中 寅彦<sup>1)</sup>、黒田 和道<sup>2)</sup>、横島 誠<sup>1)</sup>、池田 正徳<sup>3)</sup>、加藤 宣之<sup>3)</sup>

1) 日本大学 医学部 生化学分野、2) 日本大学 医学部 微生物学分野、3) 岡山大学大学院 腫瘍ウイルス学分野

**03-5-02 新規脂質合成阻害剤による HBV 複製の抑制**

杉山 真也<sup>1)</sup>、田中 靖人<sup>2)</sup>、中西 真<sup>1)</sup>、溝上 雅史<sup>3)</sup>

1) 名古屋市立大学大学院 医学研究科 細胞生化学、2) 名古屋市立大学大学院 医学研究科 ウイルス学、  
3) 国立国際医療研究センター 肝炎免疫研究センター

**03-5-03 E型肝炎ウイルスの感染性を規定する宿主側因子の探索**

石井 孝司<sup>1)</sup>、吉崎 佐矢香<sup>1)</sup>、杉山 奈央<sup>1)</sup>、加藤 孝宣<sup>1)</sup>、李 天成<sup>1)</sup>、武田 直和<sup>1,2)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 大阪大学微生物病研究所 日本・タイ感染症共同研究センター

**03-5-04 E型肝炎ウイルスの ORF3 蛋白質に認められる PSAP モチーフのウイルス放出における機能解析**

長嶋 茂雄、高橋 雅春、田中 利典、吉 林台、西澤 勉、岡本 宏明

自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座 ウイルス学部門

**03-5-05 2010年春季に日本で多発した A型肝炎の分子疫学的解析**

石井 孝司<sup>1)</sup>、清原 知子<sup>1)</sup>、吉崎 佐矢香<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、島田 智恵<sup>2)</sup>、中村 奈緒美<sup>2)</sup>、多田 有希<sup>2)</sup>、  
野田 衛<sup>3)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 国立感染症研究所 感染症情報センター、  
3) 国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部

**一般口演**

10:15～11:15

**コロナ、アルテリ**

座長：永田 典代(国立感染症研究所感染病理部)  
前田 健(山口大学農学部)

**03-5-06 SARS-CoV の nsp1 タンパク質による翻訳阻害機構**

田中 智久<sup>1)</sup>、神谷 亘<sup>1)</sup>、松浦 善治<sup>2)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所 グローバル COE、2) 大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス

**03-5-07 細胞障害性 T 細胞を介さない貪食細胞-抗体相互作用による肺組織中 SARS コロナウイルスの排除**

安井 文彦<sup>1)</sup>、北島 正大<sup>2)</sup>、米田 美佐子<sup>3)</sup>、西脇 徹<sup>4)</sup>、松島 綱治<sup>4)</sup>、甲斐 知恵子<sup>3)</sup>、小原 道法<sup>1)</sup>

1) 東京都臨床医学総合研究所 感染制御プロジェクト、2) 熊本大学大学院生命科学研究部 免疫学分野、  
3) 東京大学医科学研究所 実験動物研究施設部、4) 東京大学大学院医学系研究科分子予防医学教室



**03-5-08 神経病原性マウス肝炎ウイルス MHV による感染後初期での急速な脾臓への感染の広がり  
と感染細胞の同定**

柏崎 広美<sup>1)</sup>、田口 文広<sup>2)</sup>、渡辺 里仁<sup>1)</sup>

1) 創価大学 工学部 生命情報工学科、2) 日本獣医生命科学大学獣医学部

**03-5-09 マウス肝炎ウイルス srr7 株感染後のマウス系統差による病変形成の違い**

福原 賢司

創価大学 工学部 生命情報工学科

**シンポジウム 12**

13:00 ~ 15:15

**ウイルスと免疫の攻防**

座長：滝口 雅文(熊本大学エイズ学研究センター)

前仲 勝実(北海道大学大学院薬学研究院)

**S12-1 RIG-I ファミリーによるウイルス感染認識メカニズム**

竹内 理

大阪大学 免疫学フロンティア研究センター

**S12-2 NLRP3インフラマゾームによるウイルス認識機構**

一戸 猛志

九州大学大学院医学研究院

**S12-3 モルビリウイルス属ワクチンの有効性の構造基盤**

前仲 勝実

北海道大学大学院薬学研究院

**S12-4 中和抗体による感染防御機構：サルエイズモデルにおける解析**

山本 浩之

東京大学医科学研究所

**S12-5 HIV-1 特異的細胞傷害性 T 細胞による HIV-1 逃避変異体選択**

端本 昌夫

熊本大学エイズ学研究センター

**第6会場(5F 会議室6)**

**一般口演**

9:00 ~ 10:15

**カリシ、アストロ(3)**

座長：片山 和彦(国立感染症研究所ウイルス第二部)

野田 衛(国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部)

**03-6-01 国内の下水および河川水からの Genogroup IV ノロウイルスの検出および遺伝子解析**

北島 正章<sup>1)</sup>、岡 智一郎<sup>2)</sup>、原本 英司<sup>3)</sup>、武田 直和<sup>4)</sup>、片山 和彦<sup>2)</sup>、片山 浩之<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻、2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、3) 山梨大学大学院 医学工学総合研究部、4) 大阪大学微生物病研究所 日本・タイ感染症共同研究センター

**03-6-02 Emergence of a New Norovirus GII. 6 Variant among Infants and Children with Acute Gastroenteritis in Shizuoka, Japan during 2008-2009**

Chan-it Wisoot<sup>1)</sup>、横山 勝<sup>2)</sup>、Thongprachum Aksara<sup>1)</sup>、Khamrin Pattara<sup>3)</sup>、小林 正明<sup>4)</sup>、沖津 祥子<sup>3)</sup>、牛島 廣治<sup>3)</sup>

1) 東京大学 大学院 医学系研究科 発達医学教室、2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、3) 藍野大学 藍野健康科学センター、4) 小林小児科

- 03-6-03** 愛媛県において2009/2010シーズンに検出されたノロウイルス GII/4の分子疫学的解析  
青木 紀子<sup>1)</sup>、青木 里美<sup>1)</sup>、山下 育孝<sup>1)</sup>、土井 光徳<sup>1)</sup>、野田 衛<sup>2)</sup>  
1) 愛媛県立衛生環境研究所、2) 国立医薬品食品衛生研究所
- 03-6-04** 愛媛県で検出されたノロウイルス GII/6の遺伝子解析  
山下 育孝<sup>1)</sup>、青木 紀子<sup>1)</sup>、青木 里美<sup>1)</sup>、土井 光徳<sup>1)</sup>、野田 衛<sup>2)</sup>  
1) 愛媛県立衛生環境研究所、2) 国立医薬品食品衛生研究所
- 03-6-05** Norovirus surveillance among viral gastroenteritis cases in Kolkata, India : genetic diversity of Region C of capsid gene fragment  
Krishnan Triveni<sup>1,2)</sup>、Nataraju Seegekote Mariyappa<sup>2)</sup>、Kumar Rahul<sup>2)</sup>、Pativada Madhu Sudhan<sup>2)</sup>、Ganesh Balasubramanian<sup>2)</sup>、小林 宣道<sup>1)</sup>  
1) 札幌医科大学 医学部 衛生学、2) インド国立コレラ腸管感染症研究所 (岡山大学インド感染症共同研究センター)

## 一般口演

10:15 ~ 11:30

## カリシ、アストロ(4)

座長：田中 智之(堺市衛生研究所)

本村 和嗣(国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター)

- 03-6-06** ノロウイルスのカキ中腸腺への蓄積および浄化処理による除去・不活化についての検討  
真砂 佳史<sup>1)</sup>、奥村 千恵<sup>1)</sup>、植木 洋<sup>2)</sup>、大村 達夫<sup>1)</sup>  
1) 東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻、2) 宮城県 保健環境センター
- 03-6-07** Norovirus の感染経路に関する基礎的検討  
一水槽にウイルス液を滴下した際のウイルスを含む粒子の飛散について  
森 功次<sup>1)</sup>、大貫 文<sup>2)</sup>、狩野 文雄<sup>2)</sup>、秋場 哲哉<sup>1)</sup>、永野 美由紀<sup>1)</sup>、赤松 紀子<sup>1)</sup>、江村 早苗<sup>1)</sup>、田中 達也<sup>1)</sup>、林 志直<sup>1)</sup>、保坂 三継<sup>2)</sup>、甲斐 明美<sup>1)</sup>  
1) 東京都健康安全研究センター 微生物部、2) 東京都健康安全研究センター 環境保健部
- 03-6-08** Complete genome sequence and phylogenetic analysis of three Japanese Sapovirus isolates  
Dey Shuvra<sup>1)</sup>、石田 眞一<sup>2)</sup>、沖津 祥子<sup>1)</sup>、牛島 廣治<sup>1)</sup>  
1) 藍野大学 藍野健康科学センター、2) 沖縄セントラル病院 内科
- 03-6-09** モンゴル国の急性胃腸炎患者から検出された胃腸炎ウイルス  
實方 剛<sup>1)</sup>、中野 俊也<sup>2)</sup>、谷口 孝喜<sup>3)</sup>、油井 晶子<sup>3)</sup>、入谷 展弘<sup>4)</sup>、Hurelbaatar Nyamdavaa<sup>5)</sup>、Batbaatar Gunchin<sup>5)</sup>、Batsuren Chojjyants<sup>5)</sup>、Gotov Chojjyants<sup>5)</sup>  
1) 鳥取大学 農学部 獣医感染症学、2) 鳥取大学 医学部 医療環境学、3) 藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学、4) 大阪府立環境科学研究所、5) モンゴル健康科学大学
- 03-6-10** 日本国内における急性胃腸炎患者からのピコビルナウイルスの検出  
山崎 謙治、中田 恵子  
大阪府立公衆衛生研究所 感染症部

## ポスター会場(3F 大展示室・展示室3・4・5)

## ポスター発表

15:30~16:15

- P3-001** 街上毒狂犬病ウイルス N および P 抗原の細胞内局在の解析  
飛梅 実、黒澤 明日香、佐藤 由子、佐多 徹太郎  
国立感染症研究所 感染病理部
- P3-002** 狂犬病ウイルス(CVS-11株)を末梢感染させた C57BL/6J マウスの脳脊髄における免疫関連遺伝子のマイクロアレイ解析  
杉浦 尚子<sup>1,2)</sup>、宇田 晶彦<sup>1)</sup>、小嶋 大亮<sup>3)</sup>、野口 章<sup>1)</sup>、奥谷 晶子<sup>1)</sup>、加来 義浩<sup>1)</sup>、朴 天鎬<sup>3)</sup>、山田 章雄<sup>1,2)</sup>、井上 智<sup>1,2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 獣医科学部、2) 岐阜大学 連合獣医学研究科、3) 北里大学 獣医畜産学研究科
- P3-003** BHK 細胞における狂犬病ウイルス増殖に及ぼす牛胎児血清の影響について  
河合 明彦  
(財)生産開発科学研究所 分子微生物研究室
- P3-004** スリランカにおける狂犬病ウイルスの全ゲノム配列の決定とそれに基づく分子疫学的解析  
松本 昂<sup>1)</sup>、Kamruddin Ahmed<sup>2)</sup>、Omala Wimalaratne<sup>3)</sup>、山田 健太郎<sup>2)</sup>、Susilakanthi Nanayakkara<sup>3)</sup>、Devika Perera<sup>3)</sup>、西園 晃<sup>1,2)</sup>  
1) 大分大学医学部微生物学講座、2) 大分大学全学研究推進機構、3) Rabies Laboratory, Medical Research Institute, Sri Lanka
- P3-005** 免疫不全マウスを用いたハンタウイルス感染症病態モデルの検討  
駒 貴明<sup>1)</sup>、吉松 組子<sup>1)</sup>、永田 典代<sup>2)</sup>、清水 健太<sup>1)</sup>、安田 俊平<sup>1)</sup>、有川 二郎<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学大学院 医学研究科 微生物学講座 病原微生物学分野、2) 国立感染症研究所感染病理部第二室
- P3-006** アルゼンチン出血熱の実験室診断法の患者血清を用いた評価  
伊波 興一朗<sup>1)</sup>、中内 美奈<sup>1)</sup>、谷口 怜<sup>1,2)</sup>、福土 秀悦<sup>1)</sup>、水谷 哲也<sup>1)</sup>、緒方 もも子<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>、久和 茂<sup>2)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>1,2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、2) 東京大学大学院農学生命科学研究科
- P3-007** リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス核蛋白の単クローン抗体を用いた診断法の開発  
木下 一美<sup>1)</sup>、酒井 宏治<sup>2)</sup>、永田 典代<sup>3)</sup>、王 麗欣<sup>1)</sup>、伊藤(高山) 睦代<sup>1)</sup>、中道 一生<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、2) 同動物管理室、3) 同感染病理部
- P3-008** 1985~2008年に国内で分離されたブルータングウイルスのゲノム分節2および6の遺伝学的解析  
白藤 浩明、梁瀬 徹、山川 睦  
動物衛生研究所 九州支所
- P3-009** 2008年から2009年にかけてアフリカ・ケニア共和国キアンブ地域で検出されたヒト A 群ロタウイルスの VP7、VP4、NSP4 遺伝子型の分布  
荻野 倫子<sup>1)</sup>、ニャンガオ ジェームズ<sup>2)</sup>、スカ ソラ<sup>3)</sup>、マランガ ロバート<sup>3)</sup>、ブンディ マーティン<sup>3)</sup>、アバカル マジュマ<sup>3)</sup>、アジェル ビクター<sup>3)</sup>、カラマ モハメド<sup>4)</sup>、嶋田 雅暁<sup>1,3)</sup>、谷口 孝喜<sup>5)</sup>、一瀬 休生<sup>1,3)</sup>  
1) 長崎大学 熱帯医学研究所 環境医学部門 生態疫学分野、2) ケニア医学研究所 ウイルス研究センター、3) 長崎大学 熱帯医学研究所 ケニア拠点、4) ケニア医学研究所 公衆衛生センター、5) 藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス寄生虫教室
- P3-010** A 群ロタウイルスの感染環における野生イノシシの関与  
安部 昌子<sup>1)</sup>、伊藤 直人<sup>1,2)</sup>、正谷 達磨<sup>1)</sup>、中川 敬介<sup>1)</sup>、山岡 理子<sup>1)</sup>、杉山 誠<sup>1,2)</sup>  
1) 岐阜大学 連合獣医学研究科、2) 岐阜大学 応用生物科学部 人獣共通感染症学研究室
- P3-011** 全遺伝子配列に基づく C 群ヒトロタウイルスの遺伝学的多様性の解析  
山本 大<sup>1)</sup>、Ghosh Souvik<sup>1)</sup>、小林 宣道<sup>1)</sup>、葛谷 光隆<sup>2)</sup>、Wang Yuan-Hong<sup>3)</sup>、Naik Trailokya<sup>4)</sup>、Paul Shyamal<sup>5)</sup>  
1) 札幌医科大学 医学部 衛生学講座、2) 岡山県環境保健センター、3) 武漢市疾病対策予防センター、4) インド国立コレラ腸管感染症研究所、5) マイメンシン医科大学
- P3-012** 2004~2007年シーズンの香港におけるロタウイルス感染の分子疫学検討  
三井 マルセロ孝広<sup>1)</sup>、アハメド カムルディン<sup>2)</sup>、西園 晃<sup>1,2)</sup>、Chan Paul<sup>3)</sup>  
1) 大分大学 医学部 微生物学講座、2) 大分大学全学研究推進機構、3) 香港中文大学

- P3-013** 札幌市におけるロタウイルス G1P [8] 株 NSP4 遺伝子の分子疫学的解析  
辰巳 正純<sup>1)</sup>、堤 裕幸<sup>1)</sup>、長岡 由修<sup>2)</sup>  
1) 札幌医科大学 医学部 小児科学講座、2) 八雲総合病院
- P3-014** 岡山県における P [8] サブタイプ b 型 A 群ロタウイルスの流行状況について  
葛谷 光隆、濱野 雅子、木田 浩司、藤井 理津志  
岡山県環境保健センター ウイルス科
- P3-015** 一養豚場で繰り返し流行発生したブタ A 群ロタウイルス病における G/P combination の変化  
宮崎 綾子<sup>1)</sup>、久我 和史<sup>3)</sup>、服部 奈千子<sup>1)</sup>、高木 道浩<sup>1)</sup>、井関 博<sup>1)</sup>、鈴木 亨<sup>1)</sup>、河本 麻理子<sup>2)</sup>、勝田 賢<sup>2)</sup>、恒光 裕<sup>1,3)</sup>  
1) 動物衛生研究所 ウイルス病研究チーム、2) 動物衛生研究所 環境・常在性疾病研究チーム、3) 岐阜大学大学院 連合獣医学研究科
- P3-016** 三重県下における A 群ロタウイルスの G タイプおよび P タイプの分布状況  
油井 晶子<sup>1)</sup>、神谷 元<sup>2)</sup>、中野 貴司<sup>3)</sup>、谷口 孝喜<sup>1)</sup>  
1) 藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学、2) 国立感染症研究所 感染症情報センター、3) 川崎医科大学川崎病院 小児科
- P3-017** カイコ細胞質多角体病ウイルス感染系を利用した抗ウイルス薬の探索方法の確立  
藤幸 知子、安川 淳一郎、浜本 洋、関水 和久  
東京大学 大学院薬学系研究科 微生物薬品化学教室
- P3-018** ロタウイルス感染と中枢神経障害の関係について：1 症例の検討から  
前野 芳正、油井 晶子、河本 聡志、谷口 孝喜  
藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学
- P3-019** ワクチニアウイルス株間の交差免疫誘導能を評価する動物モデルの検討  
永井 千草<sup>1)</sup>、新村 靖彦<sup>1)</sup>、佐藤 梓<sup>1)</sup>、金原 知美<sup>1)</sup>、松井 元<sup>1)</sup>、丸野 真一<sup>1)</sup>、横手 公幸<sup>1)</sup>、志垣 隆通<sup>1)</sup>、大隈 邦夫<sup>1)</sup>、宮本 誠二<sup>1)</sup>、橋爪 壮<sup>2)</sup>  
1) 一般財団法人 化学及血清療法研究所、2) 千葉大学
- P3-020** HSV-1 のエンベロープ蛋白質 gB ペプチドおよびペア型レセプター PILR  $\alpha$  の複合体結晶構造解析  
尾瀬 農之<sup>1)</sup>、山口 宗親<sup>2)</sup>、WAN Jing<sup>3)</sup>、黒木 喜美子<sup>1,2)</sup>、田畑 栄一<sup>2)</sup>、真板 宣夫<sup>2)</sup>、中村 聖子<sup>2)</sup>、梶川 瑞穂<sup>2)</sup>、白鳥 行大<sup>3)</sup>、佐藤 毅史<sup>3)</sup>、荒瀬 尚<sup>3,4,5)</sup>、前仲 勝実<sup>1,2,5)</sup>  
1) 北海道大学 大学院薬学研究院 創薬科学部門、2) 九州大学 生体防御医学研究所、3) 大阪大学 微生物病研究所、4) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター、5) CREST
- P3-021** 単純ヘルペスウイルス 1 型 UL14 タンパク質の機能低下型変異ウイルスにおける主要テグメント VP16 の局在変化  
太田 茜、山内 洋平、武藤 義文、木村 宏、西山 幸廣  
名古屋大学大学院 医学系研究科 分子総合医学専攻 微生物免疫学講座 ウイルス学分野
- P3-022** HSV 内耳感染モデルにおけるアポトーシス誘導と内耳機能障害についての検討  
江崎 伸一<sup>1,2)</sup>、五島 典<sup>2)</sup>、木村 宏<sup>2)</sup>、村上 信五<sup>1)</sup>、西山 幸廣<sup>2)</sup>  
1) 名古屋市立大学大学院医学研究科 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科、2) 名古屋大学 大学院医学系研究科 ウイルス学
- P3-023** HSV-1 VP22 の新規機能の解析  
田中 道子<sup>1)</sup>、加藤 哲久<sup>2)</sup>、井出 隆広<sup>2)</sup>、佐合 健<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>、川口 寧<sup>2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 東大医科研 感染症国際研究センター 感染制御部門 ウイルス学分野
- P3-024** 単純ヘルペスウイルス (HSV) 感染による INSM1 の発現変化とその役割  
鎌倉 真紀、牛島 洋子、五島 典、木村 宏、西山 幸廣  
名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学教室
- P3-025** 単純ヘルペスウイルス 1 型のインターフェロン回避機構誘導因子の解析  
佐藤 友香<sup>1)</sup>、石岡 賢<sup>1)</sup>、生田 和史<sup>1)</sup>、石橋 啓<sup>2)</sup>、橋本 浩一<sup>3)</sup>、錫谷 達夫<sup>1)</sup>  
1) 福島県立医科大学 医学部 微生物学講座、2) 福島県立医科大学 医学部 泌尿器科学講座、3) 福島県立医科大学 医学部 小児科学講座
- P3-026** HSV-2 の経腔感染の波及経路と薬物による感染防御  
関野 佳久、入江 宏  
帝京大学 医学部 解剖学講座

- P3-027 Qprobe を用いた定量的 HSV LAMP 法の開発**  
井平 勝<sup>1)</sup>、榎本 喜彦<sup>2)</sup>、杉山 博子<sup>2)</sup>、東本 祐紀<sup>2)</sup>、鈴木 竜太<sup>3)</sup>、中井 英剛<sup>4)</sup>、菅田 健<sup>4)</sup>、浅野 喜造<sup>5)</sup>、吉川 哲史<sup>4)</sup>  
1) 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床工学科、2) 藤田保健衛生大学病院 臨床検査部、3) 藤田保健衛生大学病院 薬剤部、4) 藤田保健衛生大学医学部 小児科、5) 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター
- P3-028 卵巣癌、特に腹膜播種病変を標的とした、変異型単純ヘルペスウイルス療法の効果増強の試み**  
藤原 多子<sup>1)</sup>、五島 典<sup>2)</sup>、駱 晨虹<sup>2)</sup>、鎌倉 真紀<sup>2)</sup>、木村 宏<sup>2)</sup>、西山 幸廣<sup>2)</sup>  
1) 名古屋大学 医学部 産婦人科、2) 名古屋大学 医学部 ウイルス学
- P3-029 カフェ酸の抗インフルエンザウイルス作用についての解析**  
魚崎 操<sup>1)</sup>、辻本 和子<sup>1)</sup>、西出 充徳<sup>1,2)</sup>、池田 敬子<sup>1,3)</sup>、小山 一<sup>1)</sup>、山崎 尚<sup>1)</sup>  
1) 和歌山県立医科大学 大学院 医学研究科 ウイルス学分野、2) 和歌山信愛女子短期大学、3) 和歌山県立医科大学 保健看護学部 成人看護
- P3-030 ココイルアルギニンエチルエステルの抗ウイルス作用についての解析**  
山崎 尚<sup>1)</sup>、池田 敬子<sup>1,2)</sup>、辻本 和子<sup>1)</sup>、魚崎 操<sup>1)</sup>、西出 充徳<sup>1)</sup>、小山 一<sup>1)</sup>  
1) 和歌山県立医科大学 大学院 医学研究科 ウイルス学分野、2) 和歌山県立医科大学 保健看護学部 成人看護
- P3-031 亜塩素酸水の示した抗インフルエンザウイルス作用についての解析**  
池田 敬子<sup>1,2)</sup>、山崎 尚<sup>1)</sup>、辻本 和子<sup>1)</sup>、魚崎 操<sup>1)</sup>、西出 充徳<sup>1)</sup>、小山 一<sup>1)</sup>  
1) 和歌山県立医科大学 大学院 医学研究科 ウイルス学分野、2) 和歌山県立医科大学 保健看護学部 成人看護
- P3-032 単純ヘルペスウイルス1型感染に対するプロポリスの病態改善効果の解析**  
吉田 裕樹<sup>1,2,3,4,5)</sup>、甲斐 久博<sup>2)</sup>、堤 重敏<sup>3)</sup>、安川 憲<sup>4)</sup>、渡辺 渡<sup>1)</sup>、松野 康二<sup>2)</sup>、白木 公康<sup>5)</sup>、黒川 昌彦<sup>1)</sup>  
1) 九州保健福祉大学 薬学部 生化学第2講座、2) 九州保健福祉大学 薬学部 衛生薬学講座、3) 株式会社 アマゾンフード、4) 日本大学 薬学部、5) 富山大学 医学部 ウイルス学教室
- P3-033 ウイルスの酸不活化に及ぼす有機酸の影響**  
西出 充徳<sup>1,2)</sup>、魚崎 操<sup>1)</sup>、辻本 和子<sup>1)</sup>、池田 敬子<sup>1,3)</sup>、山崎 尚<sup>1)</sup>、小山 一<sup>1)</sup>  
1) 和歌山県立医科大学 大学院 医学研究科 ウイルス学分野、2) 和歌山信愛女子短期大学、3) 和歌山県立医科大学 保健看護学部 成人看護
- P3-034 マウス悪性黒色腫モデルにおける HSV-1 HF10 による腫瘍溶解ウイルス療法により誘導される抗腫瘍反応の検討**  
渡辺 大輔<sup>1)</sup>、五島 典<sup>2)</sup>、石田 奈津子<sup>1)</sup>、西山 幸廣<sup>2)</sup>  
1) 愛知医科大学 皮膚科学、2) 名古屋大学大学院 医学研究科 ウイルス学
- P3-035 マウス固形腫瘍の腫瘍溶解ウイルス療法により誘導される抗腫瘍反応の検討**  
五島 典<sup>1)</sup>、駱 晨虹<sup>3)</sup>、江崎 伸一<sup>4)</sup>、藤原 多子<sup>2)</sup>、鎌倉 真紀<sup>1)</sup>、渡辺 大輔<sup>5)</sup>、木村 宏<sup>1)</sup>、西山 幸廣<sup>1)</sup>  
1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学、2) 産婦人科学教室、3) エムズサイエンス、4) 名古屋市立大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科、5) 愛知医科大学皮膚科学教室
- P3-036 変異型単純ヘルペスウイルス1型 RH2 の遺伝子解析と腫瘍内増殖様式**  
高橋 元、新谷 素子、飯井 孝年、由良 義明  
大阪大学大学院歯学研究所顎口腔病態制御学講座口腔外科学第二教室
- P3-037 LCL を使った上皮細胞への EBV 感染モデル**  
小林 了、角田 修次、江原 友子、松本 哲哉  
東京医科大学 医学部 微生物学講座
- P3-038 EB ウイルス LMP1 の発現を制御する細胞性因子のスクリーニング**  
野田 千恵子<sup>1,2)</sup>、村田 貴之<sup>1)</sup>、鶴見 達也<sup>1,2)</sup>  
1) 愛知県がんセンター研究所 腫瘍ウイルス学部、2) 名古屋市立大学大学院 薬学研究科
- P3-039 Epstein-Barr ウイルス replication compartment の構造解析**  
杉本 温子<sup>1,2)</sup>、西山 幸廣<sup>2)</sup>、鶴見 達也<sup>1)</sup>  
1) 愛知県がんセンター研究所 腫瘍ウイルス学部、2) 名古屋大学大学院医学研究科 ウイルス学
- P3-040 バセドウ病手術症例における EBER1 陽性リンパ球の検出**  
長田 佳子<sup>1)</sup>、石黒 清介<sup>2)</sup>、金井 亨輔<sup>3)</sup>、杉原 弘貢<sup>1)</sup>、加藤 郁<sup>1)</sup>、佐野 仁志<sup>1)</sup>、林 一彦<sup>1)</sup>  
1) 鳥取大学 医学部 分子病理学、2) 鳥取大学 医学部 乳腺・内分泌外科、3) 国立感染症研究所 ウイルス第1部

- P3-041** P3HR-1 株産生 EBV の経鼻投与における EB ウイルス感染ウサギの解析  
佐野 仁志<sup>1)</sup>、金井 亨輔<sup>1,2)</sup>、加藤 郁<sup>1)</sup>、長田 佳子<sup>1)</sup>、林 一彦<sup>1)</sup>  
1)鳥取大学 医学部 基盤病態医学講座 分子病理学分野、2)国立感染症研究所ウイルス第一部
- P3-042** Human herpesvirus-6 encoded glycoprotein Q1 gene is essential for virus growth  
湯 華民<sup>1)</sup>、河端 暁子<sup>1,2)</sup>、小柳津 裕子<sup>1,2)</sup>、前木 孝洋<sup>1,2)</sup>、山西 弘一<sup>3)</sup>、森 康子<sup>1,2)</sup>  
1) (独)医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト、2)神戸大学大学院医学研究科臨床ウイルス学分野、3) (独)医薬基盤研究所
- P3-043** 自発的再活性化が亢進した KSHV 感染細胞株の解析  
菅野 隆行、佐多 徹太郎、片野 晴隆  
国立感染症研究所 感染病理部
- P3-044** 組み換え human herpesvirus 6B (HHV-6B) のヒトゲノム DNA への integration 機構の解析  
清水 昭宏、小林 伸行、近藤 一博  
東京慈恵会医科大学 ウイルス学講座
- P3-045** 悪性リンパ腫組織における HHV-6 存在様式の検討  
榎本 喜彦<sup>1)</sup>、杉山 博子<sup>1)</sup>、井平 勝<sup>2)</sup>、吉川 哲史<sup>3)</sup>  
1)藤田保健衛生大学病院 臨床検査部、2)藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床工学、3)藤田保健衛生大学 医学部 小児科
- P3-046** ヒトヘルペスウイルス6 (HHV-6) がコードするテグメントタンパク U14 と細胞周期の関連性  
小柳津 裕子<sup>1,2,3)</sup>、忠垣 憲次郎<sup>2)</sup>、Tang Huamin<sup>2)</sup>、黒田 和道<sup>4)</sup>、水口 裕之<sup>5)</sup>、山西 弘一<sup>6)</sup>、森 康子<sup>1,2)</sup>  
1)神戸大学大学院医学研究科微生物感染症学講座臨床ウイルス学分野、2)医薬基盤研究所感染制御プロジェクト、  
3)大阪大学大学院医学系研究科・医学部小児科学、4)日本大学医学部病態病理学系微生物学分野、  
5)大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野、6)医薬基盤研究所
- P3-047** サイトカインによる KSHV の再活性化誘導  
東 知寿香<sup>1)</sup>、山田 浩二<sup>2)</sup>、藤室 雅弘<sup>1)</sup>  
1)山梨大学 医学工学総合研究部 分子細胞生物、2)北海道大学 大学院薬学研究院 生化学
- P3-048** ヒトヘルペスウイルス8がコードする miRNA の血清診断への応用  
福本 瞳<sup>1,2)</sup>、坂本 康太<sup>1)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 感染病理部、2)陸上自衛隊開発実験団 部隊医学実験隊
- P3-049** PML 法を用いた HCMV の上皮細胞間感染の評価系の確立  
佐々木 純<sup>1)</sup>、上野 智規<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>2)</sup>、後藤 希代子<sup>1,2)</sup>  
1)株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所、2)国立感染症研究所 感染病理部
- P3-050** ヒトサイトメガロウイルス UL136 領域に見出された新規遺伝子産物  
廖 華南<sup>1)</sup>、Jung-Hyun Lee<sup>1)</sup>、井上 直樹<sup>2)</sup>、宮戸 健二<sup>3)</sup>、藤原 成悦<sup>1)</sup>、中村 浩幸<sup>1)</sup>  
1)国立成育医療研究センター研究所 母児感染研究部、2)国立感染症研究所 ウイルス第一部、  
3)国立成育医療研究センター研究所 生殖・細胞医療研究部
- P3-051** ヒトサイトメガロウイルス前初期プロモーターからの遺伝子発現に対する糖質の促進効果：  
二糖と paclitaxel の相加効果、並びに糖鎖の促進効果  
木村 美幸、荒尾 雄二郎  
岡山大学 大学院保健学研究科 検査技術科学分野
- P3-052** マクロファージ前駆細胞を用いた MCMV 再活性化モデル作成の検討 1  
畑 明宏<sup>1)</sup>、野田 敏司<sup>2)</sup>、石川 裕樹<sup>3)</sup>、幸田 力<sup>1)</sup>、柳川 容子<sup>1)</sup>、田中 和生<sup>1)</sup>  
1)昭和大学医学部微生物学教室、2)東海大学 医学部 基礎医学系、3)東京医科大学 医学部 微生物学教室
- P3-053** スタチン系薬剤によるヒトサイトメガロウイルス MIE 遺伝子発現抑制作用の解析  
ZHENG XIN<sup>1)</sup>、定成 秀貴<sup>2)</sup>、松原 京子<sup>1)</sup>、村山 次哉<sup>1)</sup>  
1)北陸大学 薬学部 生体防御薬学分野、2)北陸大学 教育能力開発センター
- P3-054** Tricin, 4', 5,7-trihydroxy-3', 5', -dimethoxyflavone、による抗ヒトサイトメガロウイルス作用の解析  
李 瑩<sup>1,3)</sup>、高橋 孝<sup>2)</sup>、土田 裕三<sup>3)</sup>、定成 秀貴<sup>4)</sup>、山田 理恵<sup>1)</sup>、村山 次哉<sup>1)</sup>  
1)北陸大学 薬学部 生体防御薬学分野、2)北里大院感染制御科、3)鳳凰堂、4)北陸大学 教育能力開発センター
- P3-055** リアルタイム PCR 法を用いたサイトメガロウイルスの型別定量判別法  
生田 和史<sup>1)</sup>、石岡 賢<sup>1)</sup>、佐藤 友香<sup>1)</sup>、金子 久俊<sup>1)</sup>、古谷野 伸<sup>2)</sup>、井上 直樹<sup>3)</sup>、錫谷 達夫<sup>1)</sup>  
1)福島県立医科大学 医学部 微生物学講座、2)旭川医科大学 小児科、3)国立感染症研究所 ウイルス第一部

- P3-056** PML法を用いたヒトサイトメガロウイルスの phenotypic 薬剤感受性試験法の確立と臨床血液検体への応用  
上野 智規<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>2)</sup>、山本 久史<sup>3)</sup>、大島 久美<sup>4)</sup>、谷口 修一<sup>3)</sup>、神田 善伸<sup>4)</sup>、桐山 智美<sup>1)</sup>、佐多 徹太郎<sup>2)</sup>、後藤 希代子<sup>1,2)</sup>  
1) 株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所、2) 国立感染症研究所 感染病理部、3) 虎の門病院 血液内科、4) 自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科
- P3-057** 水痘帯状疱疹ウイルス感染における glycoprotein B の糖鎖修飾の役割  
有澤 史倫<sup>1)</sup>、末永 忠広<sup>1,2)</sup>、森 康子<sup>3,4)</sup>、荒瀬 尚<sup>1,2,5)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 免疫化学分野、2) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫化学研究室、3) 独立行政法人 医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト、4) 神戸大学大学院 医学研究科 微生物感染症学講座 臨床ウイルス学分野、5) JST CREST
- P3-058** 水痘・帯状疱疹ウイルス glycoprotein H に対する中和抗体による、細胞内ウイルスの感染性消失過程の解析  
武本 眞清<sup>1)</sup>、大黒 徹<sup>1)</sup>、吉田 与志博<sup>1)</sup>、浅野 喜造<sup>2)</sup>、白木 公康<sup>1)</sup>  
1) 富山大学 医学部 ウイルス学、2) 藤田保健衛生大学 医学部 小児科学
- P3-059** 水痘帯状疱疹ウイルス ORF44 と ORF49 における詳細な相互作用解析  
定岡 知彦<sup>1,2)</sup>、林 麻佑子<sup>1,2)</sup>、山西 弘一<sup>3)</sup>、森 康子<sup>1,2)</sup>  
1) 神戸大学 大学院 医学研究科 感染症センター 臨床ウイルス学、2) 医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト、3) 医薬基盤研究所
- P3-060** オーエスキー病ウイルス感染時における CRF-R1 の動態について  
田中 聖一、万年 和明  
大分大学 全学研究推進機構
- P3-061** Intracerebral vaccination against PRV showed efficient protection by inducing antibody secreting cells in CNS and lymphoid organs in mouse  
李 賢敬、寸田 祐嗣、梅村 孝司  
北海道大学大学院獣医学研究科 比較病理学教室
- P3-062** アデノウイルス感染がもたらす宿主細胞の Stress granules と P-Bodies の変化  
黒嶋 雄志<sup>1,2)</sup>、安田 元昭<sup>3)</sup>、北村 哲也<sup>1)</sup>、北川 よしまさ<sup>2)</sup>、石川 誠<sup>4)</sup>、進藤 正信<sup>1)</sup>、東野 史裕<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学大学院 歯学研究科 口腔病理病態学教室、2) 北海道大学大学院 歯学研究科 口腔診断内科学教室、3) 北海道大学大学院 歯学研究科 口腔分子微生物学教室、4) 北海道大学病院 高次口腔医療センター
- P3-063** コウモリから分離された新規アデノウイルスのゲノム配列の決定および系統学的解析  
水谷 哲也<sup>1)</sup>、酒井 宏治<sup>2)</sup>、本道 栄一<sup>4)</sup>、福士 秀悦<sup>1)</sup>、緒方 もも子<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>1)</sup>、前田 健<sup>3)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第1部、2) 国立感染症研究所 動物管理室、3) 山口大学 農学部、4) 名古屋大学 農学部
- P3-064** アデノウイルス 54 型と 53 型の福井県への侵淫状況  
中村 雅子<sup>1)</sup>、平野 映子<sup>1)</sup>、小和田 和誠<sup>1)</sup>、石畝 史<sup>1)</sup>、望月 典郎<sup>1)</sup>、藤本 嗣人<sup>2)</sup>、花岡 希<sup>2)</sup>、岡部 信彦<sup>2)</sup>  
1) 福井県衛生環境研究センター、2) 国立感染症研究所
- P3-065** 組換えファイバー蛋白質を用いた鶏の産卵低下症候群 (EDS) ワクチンの研究  
末永 清剛、清水 美幸、坂口 正士、中武 博、野崎 周英、城野 洋一郎、本田 隆  
化血研
- P3-066** ヒトパルボウイルス B19 の遺伝子の多様性、経年変化について  
和田 芳雅、要藤 裕孝、鈴木 将史、堤 裕孝  
札幌医科大学 医学部 小児科
- P3-067** ウイルス除去膜のウイルス除去能力評価に定量 PCR 法を用いる場合の問題  
辻川 宗男<sup>1)</sup>、大久保 祐士<sup>1)</sup>、田中 宏幸<sup>1)</sup>、佐々木 祐子<sup>1)</sup>、柚木 幹弘<sup>2,3)</sup>、生田 和良<sup>3)</sup>  
1) 株式会社ベネシス 大阪研究所、2) 株式会社ベネシス 安全管理部、3) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- P3-068** *In vitro* における Natalizumab の JC virus 感染への影響の検討  
鈴木 忠樹<sup>1)</sup>、山内 聡子<sup>2)</sup>、寸田 祐嗣<sup>3)</sup>、大場 靖子<sup>2)</sup>、木村 享史<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>、澤 洋文<sup>2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態診断部門、3) 北海道大学大学院 獣医学研究科 比較病理学教室

- P3-069**    **メルケル細胞ポリオームウイルス感染の有無によるメルケル細胞癌の形態学的相違の検討**  
 桑本 聡史<sup>1)</sup>、金井 亨輔<sup>1,4)</sup>、檜垣 裕美<sup>1,2)</sup>、岩崎 健<sup>1)</sup>、加藤 雅子<sup>1)</sup>、村上 一郎<sup>1)</sup>、堀江 靖<sup>3)</sup>、山元 修<sup>2)</sup>、  
 林 一彦<sup>1)</sup>  
 1) 鳥取大学 医学部 分子病理学、2) 鳥取大学 医学部 皮膚病態学、3) 鳥取大学 医学部 附属病院 病理部、  
 4) 国立感染症研究所 ウイルス第一部
- P3-070**    **野生齧歯動物からの新規ポリオームウイルスの検出**  
 大場 靖子<sup>1,2)</sup>、小林 進太郎<sup>1)</sup>、中村 一郎<sup>3)</sup>、石井 秋宏<sup>4)</sup>、木村 享史<sup>1)</sup>、澤 洋文<sup>1,2)</sup>  
 1) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門、2) 北海道大学 グローバル COE プログラム、  
 3) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際協力・教育部門、  
 4) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター ザンビア拠点
- P3-071**    **高リスク型共通中和抗体によるヒトパピローマウイルス (HPV) 感染抑制機構**  
 石井 克幸<sup>1)</sup>、田中 恵子<sup>2)</sup>、近藤 一成<sup>3)</sup>、竹内 隆正<sup>1)</sup>、森 清一郎<sup>1)</sup>、神田 忠仁<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、2) 国立感染症研究所 感染病理部、3) NTT 東日本関東病院 産婦人科
- P3-072**    **エストロゲン刺激による HPV 陽性細胞の増殖制御**  
 佐塚 文乃<sup>1,2,3)</sup>、梶谷 直子<sup>1,4)</sup>、酒井 博幸<sup>1)</sup>  
 1) 京都大学 ウイルス研究所 がん遺伝子、2) 京都大学 ウイルス研究所 振興ウイルス研究センター、3) 京都大学 遺伝子薬学、  
 4) 京都大学大学院 生命科学科 信号伝達動態学
- P3-073**    **HPV 18E4 の新規機能の探索**  
 梶谷 直子、佐塚 文乃、酒井 博幸  
 京都大学 ウイルス研究所 がん遺伝子研究分野
- P3-074**    **High-risk HPV types among female commercial sex workers in Northern Vietnam**  
 ホアン フェン<sup>1,2)</sup>、石崎 有澄美<sup>1)</sup>、グエン クオン<sup>1)</sup>、松下 香織<sup>1)</sup>、チャン ブオン<sup>1)</sup>、ファン フン<sup>1)</sup>、  
 リハナ ラファエル<sup>1)</sup>、畢 袖晴<sup>1)</sup>、市村 宏<sup>1)</sup>  
 1) 金沢大学大学院 医薬保健研究域医学系 ウイルス感染症制御学、2) ハノイ医科大学
- P3-075**    **日本とフィリピンにおける HPV16 および HPV52 流行株の E6・E7 遺伝子多様性**  
 松下 香織<sup>1)</sup>、石崎 有澄美<sup>1)</sup>、アグダマゲ ドロシー<sup>1)</sup>、笹川 寿之<sup>2)</sup>、リハナ ラファエル<sup>1)</sup>、ファン フン<sup>1)</sup>、  
 チャン ブオン<sup>1)</sup>、畢 袖晴<sup>1)</sup>、市村 宏<sup>1)</sup>  
 1) 金沢大学大学院 医薬保健研究域 医学系 ウイルス感染症制御学、2) 金沢医科大学 生殖周産期医学、  
 3) 金沢大学大学院 医薬保健研究域
- P3-076**    **ハイスルーブットディスアセンブリーアッセイの構築**  
 宮内 浩典<sup>1,2)</sup>、浦野 恵美子<sup>1)</sup>、駒野 淳<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) エイズ予防財団
- P3-077**    **カテプシン B は CD4 非依存性 HIV 感染感受性の重要な決定因子の一つである**  
 久保 嘉直<sup>1)</sup>、吉居 廣朗<sup>1)</sup>、神山 陽香<sup>1)</sup>、田中 勇悦<sup>2)</sup>、佐藤 裕徳<sup>1,3)</sup>、山本 直樹<sup>1,4)</sup>  
 1) 長崎大学 熱帯医学研究所 エイズ感染防御分野、2) 琉球大学 医学部 免疫学講座、  
 3) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、4) 国立シンガポール大学 医学 微生物学講座
- P3-078**    **HIV 侵入過程のビリオン動態の可視化**  
 前田 洋助、中野 雄介、遊佐 敬介、原田 信志  
 熊本大学 生命科学部 感染防御学分野
- P3-079**    **Tetherin の HIV-1 cell-cell transmission に及ぼす影響**  
 神山 陽香<sup>1,2)</sup>、岩尾 正倫<sup>2)</sup>、佐藤 裕徳<sup>1,3)</sup>、山本 直樹<sup>1,4)</sup>、久保 嘉直<sup>1)</sup>  
 1) 長崎大学 熱帯医学研究所 エイズ感染防御分野、2) 長崎大学院 生産科学研究科、  
 3) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、4) 国立シンガポール大学 医学部 微生物学講座
- P3-080**    **HIV-1 の gp120 V3 ループ変異による侵入阻害剤 Maraviroc 高度耐性の獲得**  
 遊佐 敬介<sup>1)</sup>、Yuan Yuzhe<sup>2)</sup>、前田 洋助<sup>2)</sup>、原田 信志<sup>2)</sup>  
 1) 国立医薬品食品衛生研究所、2) 熊本大学大学院 医学薬学研究部
- P3-081**    **HIV 感受性マウス作製に向けたヒト LEDGF トランスジェニックマウス (Tg) の作製**  
 多田 卓哉、岩倉 洋一郎  
 東京大学医科学研究所 システム疾患モデル研究センター 分子病態研究分野

- P3-082** ラット細胞における HIV 粒子放出への RNA 輸送因子 hCRM1 の効果  
深瀧 美佳<sup>1)</sup>、大橋 貴<sup>1)</sup>、木村 富紀<sup>2)</sup>、志田 壽利<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学 遺伝子病制御研究所 感染病態分野、2) 立命館大学 薬学部 病原微生物学研究室
- P3-083** RNA affinity tandem (RAT) purification を利用した HIV-1 RNA 結合因子の探索  
水谷 壮利<sup>1,2)</sup>、石坂 彩<sup>1)</sup>、伊庭 英夫<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 宿主寄生体学分野、2) 科学技術振興機構さきかけ
- P3-084** HIV-1 RT の T128A および Y146A 変異体は Gag-Pol プロセッシングに異常を示す  
西辻 裕紀、高久 洋  
千葉工業大学 工学研究科 生命環境科学専攻
- P3-085** HIV-1 の TRIM5 $\alpha$  感受性に影響するカプシド内の 1 アミノ酸置換  
黒石 歩、塩田 達雄、中山 英美  
大阪大学 微生物病研究所 ウイルス感染制御分野
- P3-086** HIV-1 Vpu による細胞表面 BST-2/tetherin の直接的な internalization  
徳永 研三<sup>1)</sup>、岩部 幸枝<sup>1)</sup>、藤田 英明<sup>2)</sup>、田中 嘉孝<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 九州大学大学院 薬学研究院 細胞生物薬学分野
- P3-087** 数理モデルによるウイルス感染力推定法の開発  
岩見 真吾<sup>1,2,3)</sup>、多田 哲子<sup>3)</sup>、五十嵐 樹彦<sup>3)</sup>、三浦 智行<sup>3)</sup>  
1) 科学技術振興機構 (JST) さきかけ、2) 東京大学大学院 数理科学研究科、3) 京都大学 ウイルス研究所
- P3-088** HIV 感染症における微生物間相互作用—酪酸産生常在菌による潜伏感染 HIV-1 の再活性化—  
今井 健一<sup>1)</sup>、岡本 尚<sup>2)</sup>、落合 邦康<sup>1)</sup>  
1) 日本大学 歯学部 細菌学、2) 名古屋市立大学 医学研究科 細胞分子生物学
- P3-089** Rac2 が発揮する抗 HIV-1 活性の分子機序  
博多 義之、河原 佐智代、宮澤 正顯  
近畿大学 医学部 免疫学
- P3-090** HSP70 は Vif による APOBEC3G のユビキチン化を阻害することで APOBEC3G の分解を抑制する  
杉山 隆一<sup>1)</sup>、西辻 裕紀<sup>1)</sup>、長沼 晴樹<sup>1)</sup>、小関 寛<sup>1)</sup>、古川 亜矢子<sup>2)</sup>、片平 正人<sup>2)</sup>、羽生 勇一郎<sup>3)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>  
1) 千葉工業大学 工学研究科 生命環境科学専攻、2) 京都大学 エネルギー理工学研究所 生体エネルギー分野、  
3) コロラド州立大学 微生物・免疫・病理学部
- P3-091** APOBEC3C における HIV-1 Vif に対する感受性を決定する領域の探索  
北村 紳悟<sup>1,2)</sup>、吉居 廣朗<sup>1,3)</sup>、前島 雅美<sup>1,3)</sup>、横幕 能行<sup>1)</sup>、杉浦 互<sup>1)</sup>、岩谷 靖雅<sup>1)</sup>  
1) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター、2) 名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻、  
3) 財団法人エイズ予防財団
- P3-092** Two N-linked glycosylation sites in Env gp120 differentially regulate the susceptibility of CRF01 AE viruses to the CD4BS antibody, b12  
Utachee Piraporn<sup>1)</sup>、中村 昇太<sup>1)</sup>、Isarangkura-na-ayuthaya Panasda<sup>2)</sup>、徳永 研三<sup>3)</sup>、  
Sawanpanyalert Pathom<sup>2)</sup>、生田 和良<sup>4)</sup>、Auwanit Wattana<sup>2)</sup>、亀岡 正典<sup>1)</sup>  
1) 阪大 微研 日本・タイ感染症共同研究センター、2) タイ保健省医科学局国立予防衛生研究所、3) 国立感染症 感染病理、  
4) 阪大 微研ウイルス免疫
- P3-093** サル免疫不全ウイルス全粒子を抗原とする ELISA 法を用いた液性免疫応答の解析  
中根 拓、山本 浩之、俣野 哲朗  
東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 微生物学分野
- P3-094** ファージ・ディスプレイ法による強力な抗 SIV 中和活性をもつモノクローナル抗体の作製  
桑田 岳夫  
熊本大学 大学院先端機構
- P3-095** Single-color flow cytometry を用いた HIV 外被糖蛋白 gp160 特異的細胞傷害性 T 細胞活性測定法の検討  
中川 洋子、渡理 英二、高橋 秀実  
日本医科大学 微生物学免疫学教室

- P3-096** DNA Vaccine Expressing HIV-1 gp120/immunoglobulin Fusion Protein Enhances Cellular Immunity  
 高田 勝<sup>1)</sup>、吉崎 慎二<sup>1)</sup>、奥田 研爾<sup>2)</sup>、梁 明秀<sup>1)</sup>  
 1) 横浜市立大学 医学部 微生物学、2) 長寿医学研究所
- P3-097** 糖鎖欠変異による SIV の低病原性化のメカニズム  
 佐藤 洋隆<sup>1)</sup>、杉本 智恵<sup>2)</sup>、渡辺 哲<sup>3)</sup>、齋藤 陽平<sup>4)</sup>、永井 美之<sup>5)</sup>、森 一泰<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) ツーレーン国立霊長類研究センター、  
 3) シンガポール国立大学ヨンローリン医学部微生物学、4) 医薬基盤研究所霊長類医学研究センター、  
 5) 理化学研究所感染症研究ネットワーク支援センター
- P3-098** リンパ球由来細胞株における *vif* 欠損 HIV に対する異なる感受性は Stat1 活性化状態に相関する  
 吉居 廣朗<sup>1,2)</sup>、北村 紳悟<sup>1)</sup>、前島 雅美<sup>1,2)</sup>、杉浦 互<sup>1)</sup>、岩谷 靖雅<sup>1)</sup>  
 1) 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部、2) 財団法人 エイズ予防財団
- P3-099** High systemic levels of IL-10 IL-22 and CRP in Indian patients are associated with low in vitro replication of HIV-1 subtype C viruses  
 ARIAS FERNANDO<sup>1)</sup>、西原 玲子<sup>2)</sup>、Bala Manju<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>4)</sup>  
 1) 大阪大学大学院医学系研究科、2) 大阪大学大学院医学系研究科、3) 大阪大学大学院医学系研究科、  
 4) 大阪大学大学院医学系研究科
- P3-100** HIV-1 感染モデルとしてのヒト化マウスの妥当性と X4 および R5 HIV-1 感染  
 石毛 真行<sup>1,2)</sup>、寺原 和孝<sup>1)</sup>、光木 裕也<sup>1,3)</sup>、渋谷 謙太郎<sup>1,3)</sup>、小林 和夫<sup>1)</sup>、岡田 誠治<sup>2)</sup>、横田(恒次) 恭子<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 免疫部、2) 熊本大学 エイズ学研究センター エイズ学3、3) 財団法人 エイズ予防財団
- P3-101** CRF01\_AE Gag 165 番目のリジン残基がプロテアーゼ阻害剤に対するウイルスの薬剤感受性を低下させる分子機構  
 亀岡 正典<sup>1)</sup>、Isarangkura-na-ayuthaya Panasda<sup>2)</sup>、亀岡 陽子<sup>1)</sup>、Sapsutthipas Sompong<sup>1)</sup>、  
 Soonthornsata Bongkot<sup>1)</sup>、中村 昇太<sup>1)</sup>、徳永 研三<sup>3)</sup>、Sawanpanyalert Pathom<sup>2)</sup>、生田 和良<sup>4)</sup>、  
 Auwanit Wattana<sup>2)</sup>  
 1) 大阪大学 微生物病研究所 日本・タイ感染症共同研究センター、2) タイ保健省 医科学局 国立予防衛生研究所、  
 3) 国立感染症研究所 感染病理部、4) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- P3-102** R5 HIV-1 感染を制御する組換え VSV の開発と OX40L 発現による効果増強  
 大隈 和<sup>1)</sup>、深川 耕次<sup>1,3)</sup>、高馬 卓也<sup>1,3)</sup>、田中 礼子<sup>2)</sup>、田中 勇悦<sup>2)</sup>、浜口 功<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部、2) 琉球大学大学院 医学研究科 免疫学講座、3) シスメックス株式会社
- P3-103** Strong inhibition of integrase (IN) strand transfer reaction by the novel integrase inhibitor (INI) S/GSK1349572  
 小山-金森 美紀子、関 貴弘、石田 佳代、秋久 恵里佳、小林 雅典、吉永 智一、佐藤 彰彦、藤原 民雄  
 シオノギ製薬株式会社 創薬・疾患研究所 感染症部門
- P3-104** 活性化 T 細胞免疫刺激分子 OX40 を介した HIV-1 感染抑制効果の検討  
 深川 耕次<sup>1,2)</sup>、高馬 卓也<sup>1,2)</sup>、田中 勇悦<sup>3)</sup>、岸 浩司<sup>2)</sup>、高浜 洋一<sup>2)</sup>、浜口 功<sup>1)</sup>、大隈 和<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部、2) シスメックス株式会社、3) 琉球大学大学院 医学研究科 免疫学講座
- P3-105** 麻疹ウイルスエンベロープをもちいた HIV-1 増殖抑制性レンチウイルスベクターの開発とその有効性  
 渋谷 謙太郎<sup>1,2)</sup>、光木 裕也<sup>1,2)</sup>、寺原 和孝<sup>1)</sup>、石毛 真行<sup>1)</sup>、柳 雄介<sup>3)</sup>、小林 和夫<sup>1)</sup>、横田(恒次) 恭子<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 免疫部、2) 財団法人 エイズ予防財団、3) 九州大学 大学院医学研究院 ウイルス学
- P3-106** 亜鉛フィンガー- LEDGF 融合タンパクを用いた LV ベクターの配列特異的挿入法の開発の試み  
 近藤 麻美<sup>1)</sup>、野村 渉<sup>2)</sup>、玉村 哲和<sup>2)</sup>、鈴木 陽一<sup>3)</sup>、梁 明秀<sup>1)</sup>  
 1) 横浜市立大学 医学部 微生物学教室、  
 2) 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 機能分子研究部門 メディシナルケミストリー分野、3) シンガポール大学
- P3-107** 特定の microRNA を長期間、高効率で阻害する Decoy RNA 発現レンチウイルスベクターの確立  
 原口 健、櫻井 浩平、伊庭 英夫  
 東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 宿主寄生体学分野
- P3-108** マクロファージにおける霊長類レンチウイルス出芽様式の超微形態学的解析  
 仲宗根 咲子、五十嵐 樹彦、三浦 智行、小林 剛、松山 めぐみ  
 京都大学 ウイルス研究所 霊長類モデル研究領域

- P3-109** Tax1 導入ネコ細胞株における、HTLV-I の持続感染の成立と合胞体形成  
森 隆久、清水 宣明、大上 厚志、田中 淳、星野 洪郎  
群馬大学大学院 医学系研究科 分子予防医学
- P3-110** HTLV-1 感染 T 細胞の浸潤能に与えるシアリダーゼの影響  
手塚 健太<sup>1)</sup>、田中 正和<sup>1)</sup>、三輪 正直<sup>2)</sup>、竹之内 徳博<sup>1)</sup>、藤澤 順一<sup>1)</sup>  
1) 関西医科大学 微生物学講座、2) 長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科
- P3-111** HBZ 発現は IFN- $\gamma$  産生を抑制し HSV-2 感染に対する細胞性免疫を障害する  
菅田 謙治、佐藤 賢文、松岡 雅雄  
京都大学 ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域
- P3-112** HTLV-1 関連脊髄症における OX40 陽性細胞の病因的意義とその制御  
齊藤 峰輝、田中 礼子、田中 勇悦  
琉球大学大学院 医学研究科 免疫学講座
- P3-113** HAM 患者 CD8 陽性 T 細胞における TSLC1 の発現抑制  
竹之内 徳博<sup>1)</sup>、恩額 日楽<sup>1)</sup>、手塚 健太<sup>1)</sup>、森下 和広<sup>3)</sup>、鶴岡 由範<sup>4)</sup>、黒澤 仁<sup>5)</sup>、中川 正法<sup>6)</sup>、日下 博文<sup>2)</sup>、藤澤 順一<sup>1)</sup>  
1) 関西医科大学 微生物学講座、2) 関西医科大学 神経内科、3) 宮崎大学 医学部 機能制御学講座、4) 株式会社 抗体研究所、5) 藤田保健衛生大学 総合医学研究所、6) 京都府立医科大学 神経内科
- P3-114** 成人 T 細胞白血病におけるケモカイン CCL19 遺伝子発現制御  
石川 千恵<sup>1,2)</sup>、森 直樹<sup>1)</sup>  
1) 琉球大学 大学院医学研究科 微生物学・腫瘍学講座、2) 琉球大学 亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構
- P3-115** 成人 T 細胞白血病発症者の末梢血より誘導した単球由来樹状細胞の機能解析  
長谷川 温彦<sup>1)</sup>、清水 由紀子<sup>1)</sup>、宇都宮 興<sup>2)</sup>、崔 日承<sup>3)</sup>、鶴池 直邦<sup>3)</sup>、岡村 純<sup>3)</sup>、高森 絢子<sup>1)</sup>、玉井 洋太郎<sup>1)</sup>、曾 娜<sup>1)</sup>、神奈木 真理<sup>1)</sup>  
1) 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 免疫治療学分野、2) 今村病院分院 血液内科、3) 九州がんセンター
- P3-116** 分子シャペロン阻害剤による Tax と Tax 結合蛋白質の機能相関性に対する抑制的影響  
池辺 詠美<sup>1)</sup>、川口 晶<sup>2,3)</sup>、田口 慎也<sup>1)</sup>、川嶋 太郎<sup>1)</sup>、田中 勇悦<sup>4)</sup>、堀 光雄<sup>5)</sup>、澤 洋文<sup>3)</sup>、西園 晃<sup>1)</sup>、長谷川 秀樹<sup>2)</sup>、伊波 英克<sup>1)</sup>  
1) 大分大学 医学部 微生物学講座、2) 国立感染症研究所 感染病理部、3) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門、4) 琉球大学 医学部 免疫学講座、5) 茨城県立中央病院 輸血部
- P3-117** 抗 ATL 活性を有する新規薬剤と cepharanthine との併用効果  
外山 政明、濱崎 隆之、岡本 実佳、馬場 昌範  
鹿児島大院 医歯学 難治ウイルス病態制御研究センター
- P3-118** HTLV-1 感染細胞の増殖を特異的に抑制する低分子化合物 (TMNAA) の作用機序解析  
濱崎 隆之、外山 政明、岡本 実佳、馬場 昌範  
鹿児島大院 医歯学 難治ウイルス病態制御研究センター
- P3-119** ネコ Tetherin/BST-2 による RD-114 ウイルスの産生抑制  
福岡 藍子<sup>1,3)</sup>、阿部 真澄<sup>1)</sup>、宮沢 孝幸<sup>2)</sup>、森川 裕子<sup>3)</sup>、安田 二郎<sup>1)</sup>  
1) 科学警察研究所 法科学第一部 生物第五研究室、2) 京都大学 ウイルス研究所、3) 北里大学 北里生命科学研究所 ウイルス感染制御学研究室 2
- P3-120** ネコ内在性レトロウイルスの異種感染  
吉川 禄助<sup>1,2)</sup>、下島 昌幸<sup>3)</sup>、前田 健<sup>3)</sup>、宮沢 孝幸<sup>1)</sup>  
1) 京都大学 ウイルス研究所 細胞生物学研究部門 信号伝達学研究分野、2) 京都大学大学院 人間・環境学研究科 相関環境学専攻、3) 山口大学 農学部 獣医学科 獣医微生物学教室
- P3-121** 前立腺がん患者由来検体を用いた新規レトロウイルス XMRV の臨床疫学的解析  
小島 良績<sup>1,2)</sup>、石黒 斉<sup>3,4)</sup>、松永 智子<sup>1)</sup>、上村 博司<sup>4)</sup>、窪田 吉信<sup>4)</sup>、梁 明秀<sup>1)</sup>  
1) 横浜市立大学大学院 医学研究科 分子生体防御学、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 財団法人神奈川科学技術アカデミー、4) 横浜市立大学大学院 医学研究科 泌尿器病態学
- P3-122** コアラ内在性レトロウイルスの解析  
星野 重樹、大畑 拓司、庄嶋 貴之、宮沢 孝幸  
京都大学 ウイルス研究所

- P3-123** コムギ無細胞タンパク質合成系を用いた新規ガンマレトロウイルス XMRV プロテアーゼの解析  
松永 智子<sup>1)</sup>、小島 良績<sup>1,2)</sup>、澤崎 達也<sup>3)</sup>、森下 了<sup>4)</sup>、佐久間 龍太<sup>5)</sup>、岩谷 靖雅<sup>6)</sup>、杉浦 互<sup>6)</sup>、山本 直樹<sup>7)</sup>、梁 明秀<sup>1)</sup>  
1) 横浜市立大学 医学部 微生物学、2) 財団法人エイズ予防財団、3) 愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター、4) 株式会社セルフサイエンス、5) 東京医科歯科大学ウイルス制御学、6) 名古屋医療センター臨床研究センター、7) シンガポール大学医学部微生物学
- P3-124** ゲノム-サブゲノム間相互作用による新規なウイルス遺伝子発現制御機構  
檜林 大樹、海道 真典、奥野 哲郎、三瀬 和之  
京都大学 大学院 農学研究科 応用生物科学専攻 植物病理学研究室
- P3-125** Red clover necrotic mosaic virus RNA 複製酵素成分タンパク質 p27 はウイルス RNA の初期複製段階において様々な役割を担っている  
兵頭 究<sup>1)</sup>、峯 彰<sup>1)</sup>、岩川 弘宙<sup>2)</sup>、海道 真典<sup>1)</sup>、三瀬 和之<sup>1)</sup>、奥野 哲郎<sup>1)</sup>  
1) 京都大学大学院 農学研究科 応用生物科学専攻 植物病理学、2) 東京大学 分子細胞生物学研究所
- P3-126** Molecular analysis of rice RNA dependent RNA polymerase 1 (OsRDR1) in RNA silencing and antiviral pathway  
西口 正通、Chen Hui、小林 括平、山岡 直人  
愛媛大学 農学部
- P3-127** RNA 干渉法を用いたイネ縞葉枯ウイルス抵抗性遺伝子組換えイネの開発  
清水 巧<sup>1)</sup>、長岡(中蘭) 栄子<sup>1)</sup>、一木(植原) 珠樹<sup>1)</sup>、笹谷 孝英<sup>1)</sup>、大村 敏博<sup>1)</sup>  
中央農業総合研究センター / PROBRAIN
- P3-128** ポティウイルスの HC-Pro が Cucumber mosaic virus のサイクリック性に及ぼす影響解析  
福澤 徳穂<sup>1)</sup>、一町田 紀子<sup>2)</sup>、石原 岳明<sup>2)</sup>、後藤 一法<sup>2)</sup>、増田 税<sup>3)</sup>、松村 健<sup>1)</sup>  
1) 産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 植物分子工学研究グループ、2) ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 作物生産研究室、3) 北海道大学大学院 農学研究院
- P3-129** プランクトンとウイルスはお互いを許し合うことで共存してきた  
長崎 慶三<sup>1)</sup>、外丸 裕司<sup>1)</sup>、水本 祐之<sup>2)</sup>  
1) 独立行政法人 水産総合研究センター、2) 高知大学 農学部
- P3-130** 納豆菌ファージの分子疫学  
梅根 健一、白石 淳  
福岡女子大学 人間環境学部 栄養健康科学科
- P3-131** 非パラレトロ RNA ウイルス由来の植物染色体遺伝子  
千葉 壮太郎、近藤 秀樹、谷 明生、最相 大輔、坂本 亘、兼松 聡子、鈴木 信弘  
1) 岡山大学資源植物科学研究所、2) 農研機構・果樹研究所リンゴ研究拠点
- P3-132** 非病原性リケッチア *Rickettsia montanensis* の増殖制御機構  
内山 恒夫<sup>1)</sup>、岸 真帆美<sup>1)</sup>、小川 基彦<sup>2)</sup>  
1) 徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学、2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部
- P3-133** 細胞内膜輸送系を介した RNA 非エンベロープウイルスの細胞外への放出  
森田 英嗣<sup>1,2)</sup>、藤田 尚信<sup>1)</sup>、牛島 廣治<sup>3)</sup>、松浦 善治<sup>4)</sup>、吉森 保<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 大学院医学系研究科 遺伝学、2) 大阪大学 微生物病研究所、3) 藍野大学 健康科学センター、4) 大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス
- P3-134** 哺乳類 APOBEC1 による内在性レトロエレメント制御機構の解析  
池田 輝政<sup>1)</sup>、Abd El Galil Khaled Hussein<sup>1)</sup>、徳永 研三<sup>2)</sup>、前田 和彦<sup>3)</sup>、佐多 徹太郎<sup>2)</sup>、阪口 薫雄<sup>3)</sup>、Heidman Thierry<sup>4)</sup>、小糸 厚<sup>1)</sup>  
1) 熊本大学生命科学研究部 感染制御、2) 国立感染症研究所 感染病理部、3) 熊本大学 生命科学研究部 免疫学、4) Unite des Retrovirus Endogenes et Elements Retroides des Eucaryotes Superieurs, Institute Gustave Roussy, France
- P3-135** Multiple oncogenic viruses identified in Ocular surface squamous neoplasia in HIV-1 patients  
村上 雅尚、今城 雅之、内山 淳平、松崎 茂展、大畑 雅典  
1) 高知大学 医学部 微生物学講座、2) 高知大学 医学部 微生物学講座
- P3-136** アレイ型シュガーチップを用いたウイルスの糖鎖結合性の探索  
張 旭<sup>1,2)</sup>、馬場 昌範<sup>3)</sup>、有馬 直道<sup>3)</sup>、岡本 実佳<sup>3)</sup>、若尾 雅広<sup>1)</sup>、隅田 泰生<sup>1,2)</sup>  
1) 鹿児島大 院理工、2) スティックスバイオテック、3) 鹿児島大 院医歯